

SB14 (第153図) II区D16・17グリッドに位置し、四方を方形周溝墓ST5・9・14~16に囲まれている。柱間は長辺3間、短辺1間で、長軸をN21°Wにとる。墓域内の空閑地に位置することから、建物域に分布する掘立柱建物とは性格を異にする可能性がある。

SB15 (第154図) III区L28グリッドに位置し、SB16と一部重複する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN84°Wにとる。SP466の土層断面には柱痕が認められる。また、SP464から弥生時代後期の土器が出土している。

SB16 (第154図) III・VIII区L28・29グリッドに位置し、SB15と一部重複する。長辺3間、短辺2間、長軸方向N86°Eとなる掘立柱建物として復元したが、両長辺の柱配置が著しく不均等であり、さらに北側柱列の掘形がほかに比べ浅いため、その認定に不安を残している。一方で、この建物を認めた場合、その北・西・南をコ字状に面する溝SD168・170・363・364を伴う可能性が高い。

SB17 (第155図) III区K27・28グリッド、SB15の南東に近接して位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN64°Eにとる。柱穴の多くから弥生時代後期の土器(第248図10)が出土している。

SB18 (第156図) III・IV区K26・27グリッドに位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN42°Eにとる。7基の柱穴で断面円形の柱根(第302図1~4)を検出した。

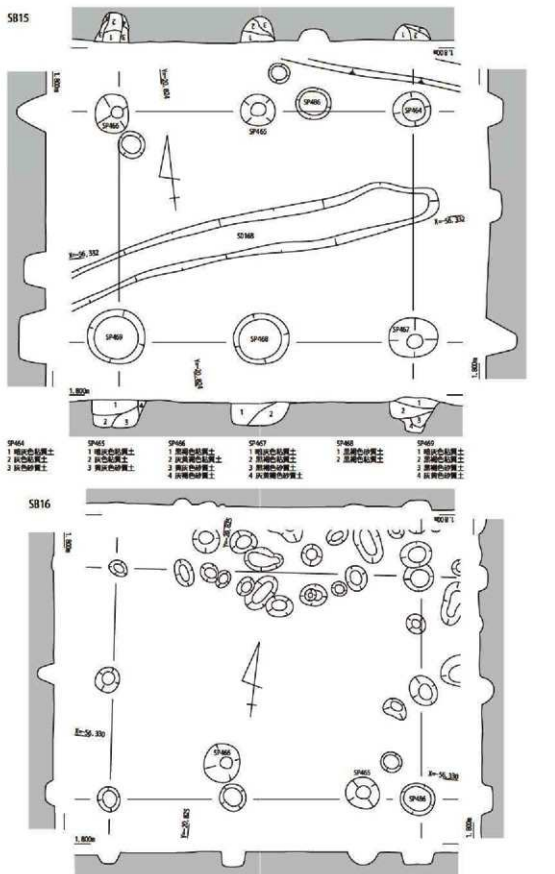
SB19 (第156図) IV区J・K25グリッドに位置する。各辺1間で、長軸をN4°Eにとる。すべての柱穴で柱根を検出した。いずれも断面略長方形の厚い板状を呈すいわゆる「五平柱」状(以下、五平状)の柱で、長辺に直交するように据えられていた。SP719・720・722(第303図1~3)の柱根で年輪年代が示され、最も新しいSP720の年代は37 B.C.(推定伐採年代4 A.D. + a)である。

SB20 (第155図) IV区I・J26・27グリッドに位置する。東西2間、南北1間でほぼ正方形の平面形を呈する。南北辺がわずかに長く、長軸方向はN28°Eとなる。SP723・724・726には柱根が遺存していた。いずれの柱根も断面五平状を呈し、東西辺に直交するように据えられていた。SP723・724の柱根(第303図4・5)で年輪年代が示されており、より新しいSP723の年代は43B.C.(推定伐採年代3 B.C. + a)である。

SB21 (第157図) IV区I27グリッドに位置する。長辺1間、北側短辺1間、南側短辺2間で、長軸をN13°Eにとる。北西隅の柱穴は土坑に切られ消失したとみられるが、残る三隅の柱穴には柱根が遺存していた。いずれも断面五平状で、長辺に直交する。

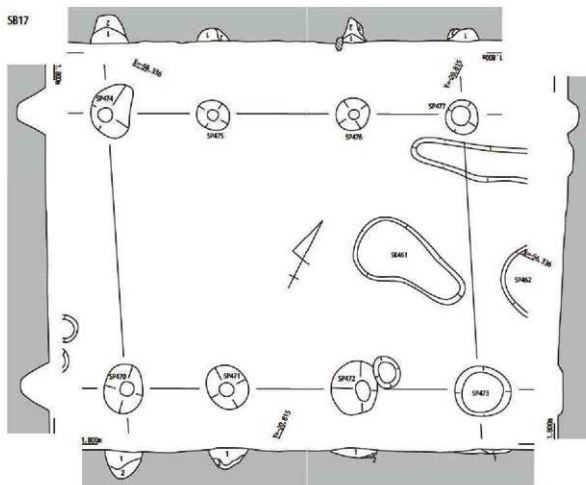
SB22 (第157図) IV区H26・27、I26グリッドに位置する。南北2間、東西1間で正方形に近い平面形を呈すが、東西軸がわずかに長く、方位はN71°Wである。西・南辺の柱穴4基には柱根が遺存していた。断面五平状もしくは板状で、長辺に直交する。SP690~692の柱根(第303図6~8)で年輪年代が示され、最も新しいSP691の年代は27B.C.(推定伐採年代14A.D. + a)である。

SB23 (第158図) IV区H27グリッド、SB22の北にほぼ直列して位置し、SB24と一部重複する。柱間は長辺3間、短辺2間で、長軸をN15°Eにとる。両長辺の柱間は中央が広く、特に西辺で顕著である。また、両短辺西側の柱間に各1基のピットが認められ、これが伴うとすれば、後述するSB25と同様の配置となる。各辺の柱穴計10基では柱根を検出した。両長辺に並ぶ各4本の柱根は断面五平状で、長辺に直交する。一方、両短辺中央の各1本は断面半円形で、弧面を外へ向けている。この異なる形状の柱の構成と配置もSB25と同じである。SP695の柱根(第303図9)については年輪年代33A.D.(推定伐採年代73A.D. + a)が示されている。遺物はSP699から弥生時代後期の土器が出土している。



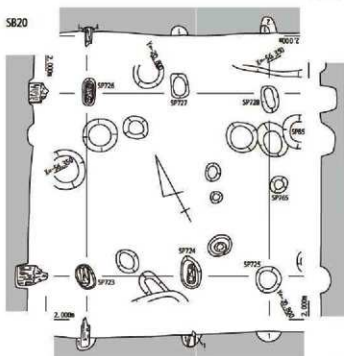
第154図 SB15・16実測図(縮尺1/50)

SB17



- | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------|------------------------------|------------------------------|--|------------------------------|
| SP478
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP471
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP472
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP473
1 褐色粘質土 | SP474
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP475
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土 | SP476
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土
3 灰褐色砂質土 | SP477
1 褐色粘質土
2 灰褐色砂質土 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------|------------------------------|------------------------------|--|------------------------------|

SB20

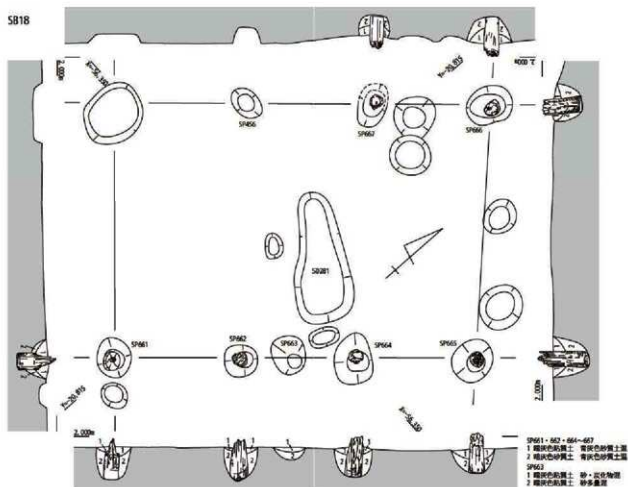


- | |
|-----------------------------|
| SP723
1 褐色粘質土 |
| SP724
1 褐色粘質土 |
| SP725
1 褐色粘質土 |
| SP726
1 褐色粘質土 |
| SP727
1 褐色粘質土 |
| SP728
1 褐色粘質土
2 褐色粘質土 |

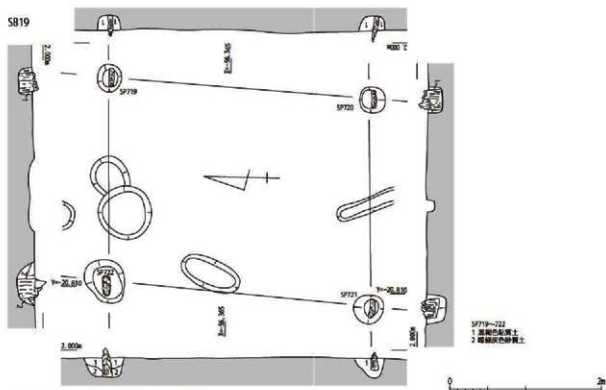
第155図 SB17・20実測図(縮尺1/50)



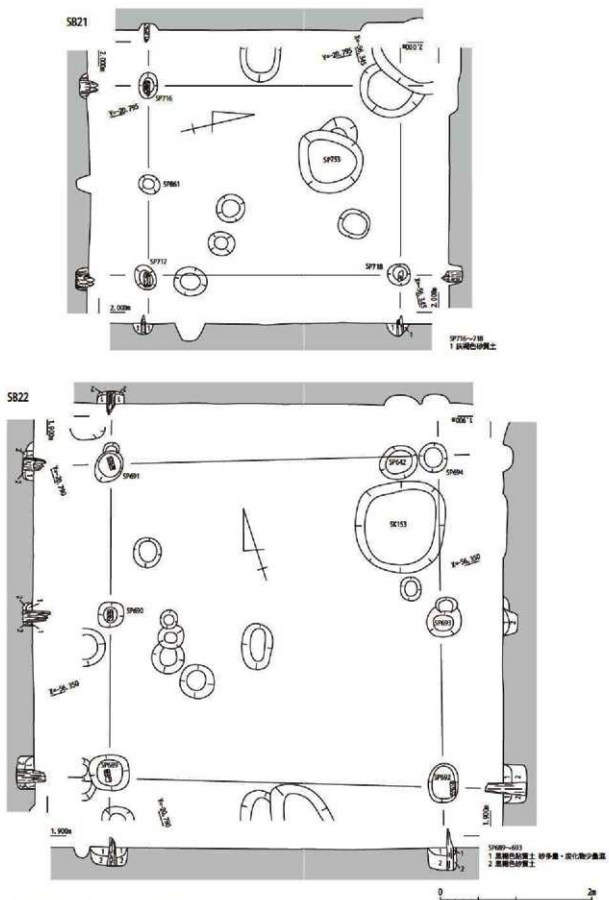
SB18



SB19

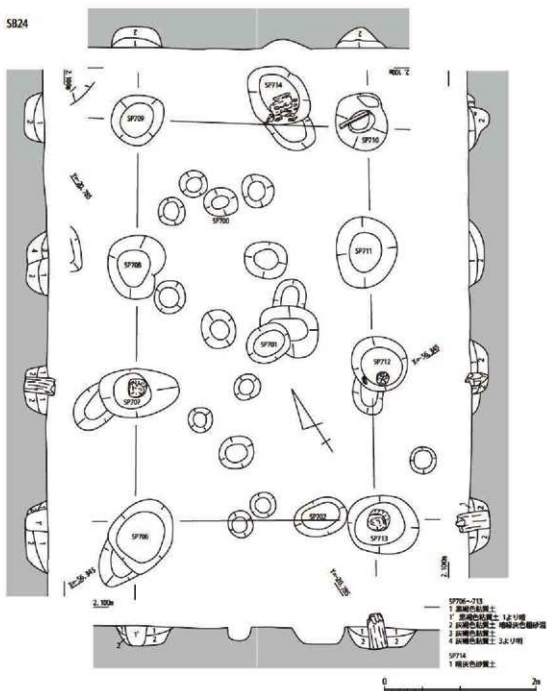


第156图 SB18・19实测图(縮尺1/50)



第157図 SB21・22実測図(縮尺1/50)

SB24



第159図 SB24実測図(縮尺1/50)

SB24 (第159図) IV区H27グリッドに位置し、SB23の北東に重複する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN33° Eにとる。SP707・712・713の3基で柱根を検出した。いずれも断面円形を呈するが、丸太ではなく、芯去り材を利用している。SP707・713の柱根(第302図6・7)で年輪年代が示され、より新しいSP707の年代は9B.C.(推定伐採年代32A.D.+a)である。遺物はSP706で弥生時代後期の土器が出土している。

SB25 (第160図) IV区G25、H25・26グリッドに位置する。明確なものとしては本遺跡で最大規模の獨立柱建物である。長軸をN15° Eにとり、特殊な柱配列をもつ。まず、長辺については、西列の3間のうち、中央の柱間が極端に広く、ほぼ均等な東列の柱間と対応しない。一方、短辺は北列・南列とも辺を2等分する位置に柱を設け、さらにその西側の柱間を2分割する柱を配している。また、このような側柱の配置を取り込む形で、北西隅と南西隅にそれぞれ方形の小区画が認められる。柱根は計11基の柱穴で遺存していた。両長辺に並ぶ各4本の柱根は断面五平状で、長辺に直交する。一方、両短辺中央の柱根は断面半円形で、弧面を外側へ向けている。北辺の西側柱間を分割している柱根も同様である。SP559・566・567・569・570の柱根(第303図10~14)で年輪年代が示され、最も新しいSP566の年代は113B.C.(推定伐採年代73B.C.+a)である。遺物はSP566で弥生時代後期の土器が出土している。

SB26 (第161図) IV区G25・26グリッド、SB25の北東に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN13° Eにとる。多くの柱穴の土層断面で腐朽した柱の痕跡が認められる。遺物はSP573・574で弥生時代後期の土器が出土している。

SB27 (第162図) IV区G26グリッド、SB26の北東に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN76° Wにとる。西辺はSB28の東辺の一部にはば重なる。SP588で弥生時代後期の土器が出土している。

SB28 (第163図) IV区G26グリッドに位置する。長辺4間、短辺1間である。長軸をN11° Eにとり、東辺に重複するSB27とはほぼ直交する。また、西側ではSB29と重複している。柱根は6基の柱穴で遺存しており、断面五平状のものと、円形のもの認められた(第304図)。断面五平状の柱は長辺に直交するように据えられたもので、下端が凸状に加工されている。断面円形の柱は長辺の中央に配されたもので、側面全周を巡る溝が作出されている。SP593の柱根(同図2)の年輪年代測定ではB.C.171(推定伐採年代131B.C.+a)の値が示されている。

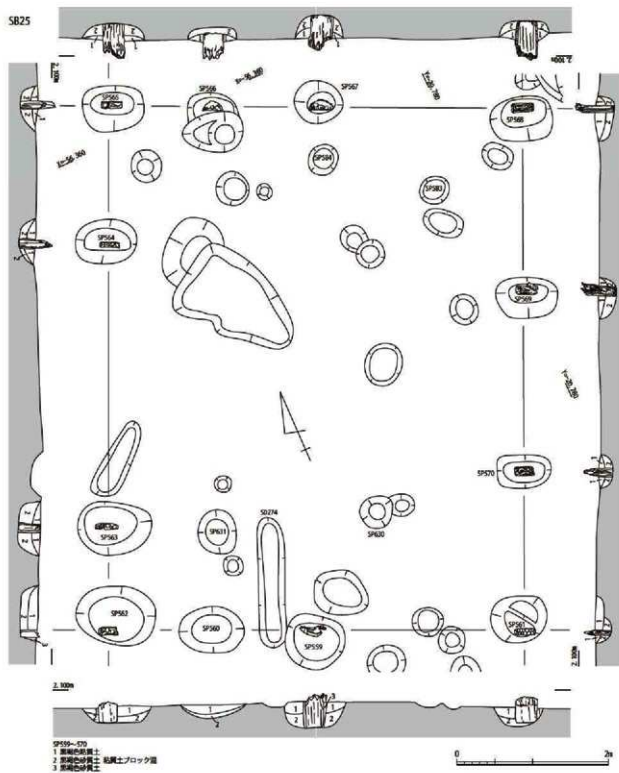
SB29 (第162図) IV区G・H26グリッドに位置し、SB28の西側に重複する。長辺1間、短辺2間で、長軸をN64° Wにとる。平面形は正方形に近い。

SB30 (第161図) IV区Z20・21、A21グリッド、方形周溝基ST22の東に位置する。柱間は各辺1間で、長軸をN73° Wにとる。平面形は正方形に近く、中央に位置するSP513もこれに伴う可能性がある。四隅の柱穴で柱根を検出した。いずれも断面円形ないし多角形を呈する(第302図8)。

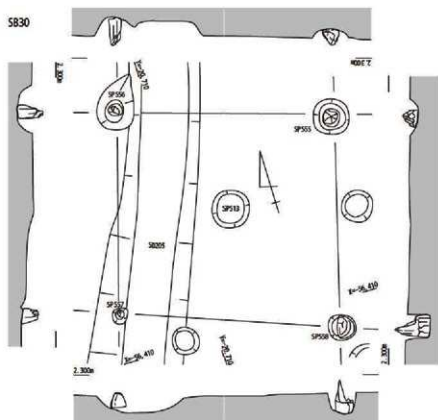
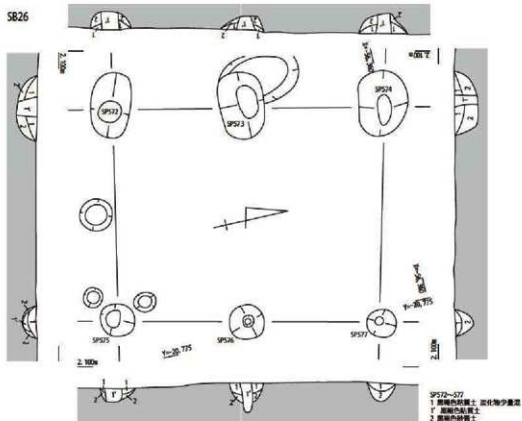
SB31 (第164図) IV区I・J28グリッド、周溝建物SH8の南に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN5° Wにとる。北西隅の柱穴SP788では柱根を検出した。断面五平状で長辺に直交するように据えられていた。

SB32 (第164図) IV区G26・27グリッド、SB28の北東に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN3° Eにとる。柱穴の土層断面では腐朽した柱の痕跡が認められる。

SB33 (第165図) IV区I27・28グリッド、SB23の北西、SH8の南に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN0° にとる。6基の柱穴すべてで柱根やその残片を検出した。形状がわかるものはいずれも断面円形を呈する。柱根の¹⁴C年代測定から構築時期は80~120A.D.の可能性が高いとされる。

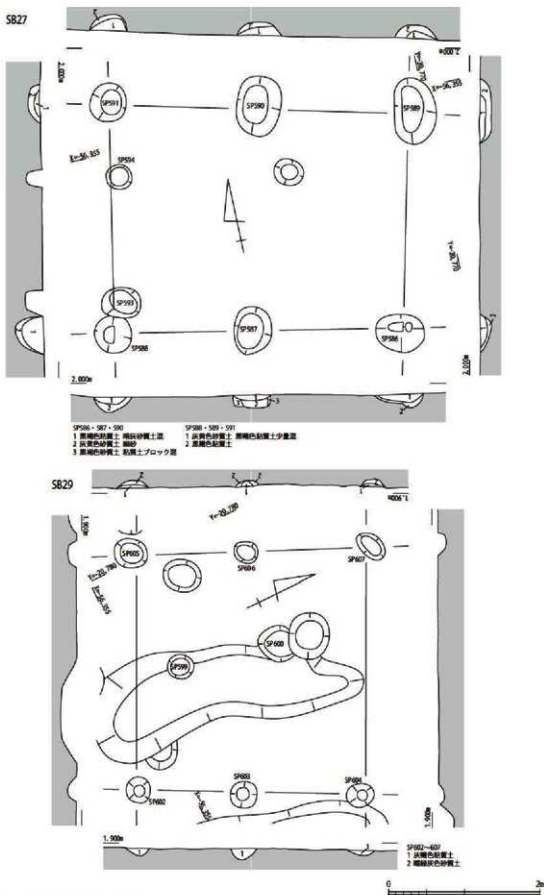


第160図 SB25実測図(縮尺1/50)

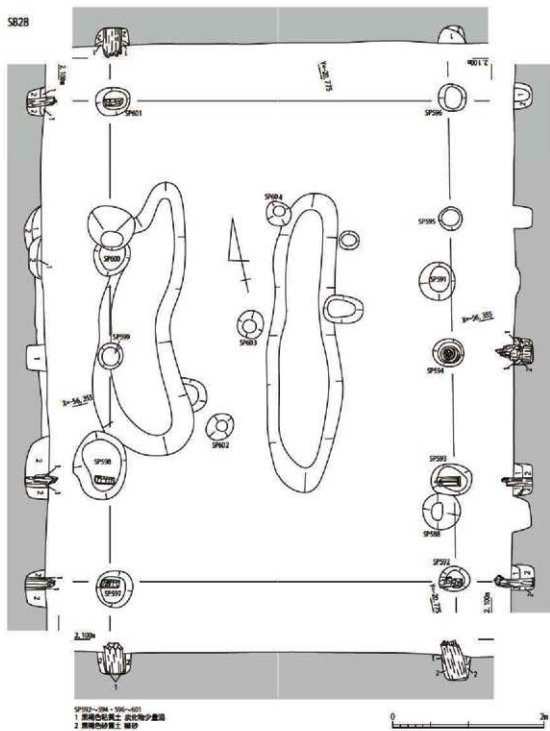


第161図 SB26・30実測図(縮尺1/50)



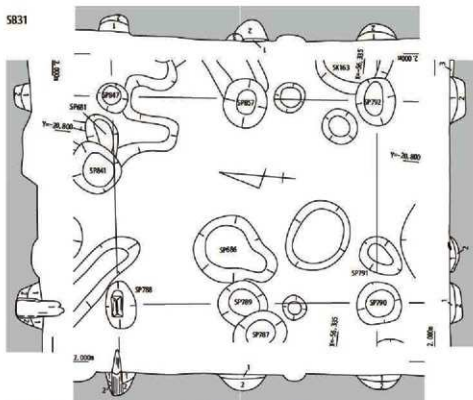


第162図 SB27・29実測図(縮尺1/50)



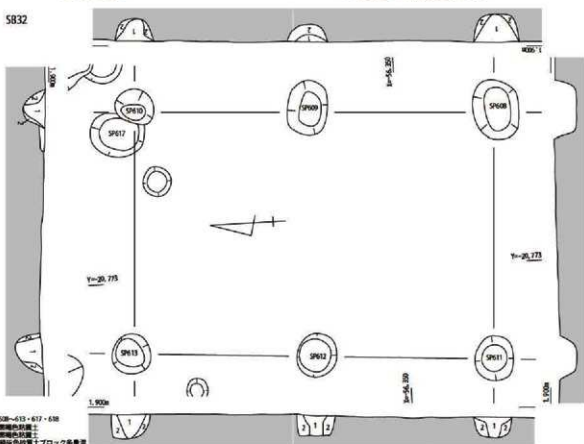
第163圖 SB28実測図(縮尺1/50)

SB31



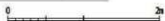
- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------------|
| SP790・792・SP793 | SP791 | SP798・799・947 | SP827 |
| 1 黒褐色砂質土・細砂 | 1 黒褐色粘質土・中砂・多量土 | 1 灰褐色粘質土・細砂・粘質土 | 1 黒褐色粘質土・細砂 |
| 2 黒褐色粘質土・細砂 | 2 黒褐色粘質土・中砂 | 2 灰褐色粘質土・細砂 | 2 黒褐色粘質土・細砂 |
| 3 黒褐色粘質土・中砂 | | | 3 黒褐色粘質土・細砂・青灰色粘質土・ブロック |

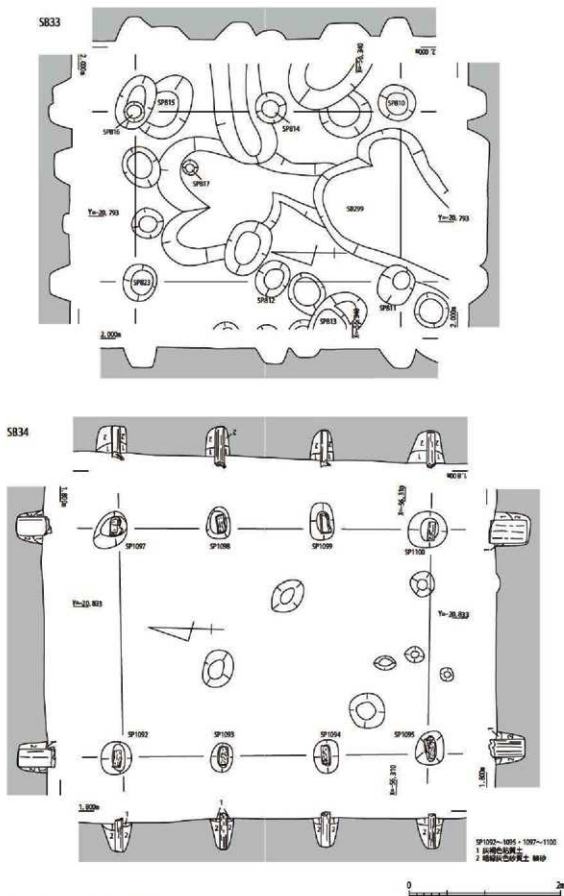
SB32



- | |
|-------------------|
| SP628-633・637・638 |
| 1 黒褐色粘質土 |
| 2 黒褐色粘質土 |
| 黒褐色粘質土・ブロック・多量土 |

第164図 SB31・32実測図(縮尺1/50)





第165図 SB33・34実測図(縮尺1/50)

SB34 (第165図) Ⅷ区M30・31グリッド、周溝建物SH10の南東に近接して位置する。SB37と重複する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN2°Wにとる。8基すべての柱穴で柱根を検出した。いずれも断面五平状の柱で(第305図)、長辺に直交するように据えられていた。SP1095の柱根(同図4)の年輪年代測定で、107B.C.(推定伐採年代67B.C.+a)の値が示されている。

SB35 (第166図) Ⅷ区O30グリッド、調査範囲の北西端で検出した。長辺3間、短辺1間で、長軸をN3°Eにとる。柱穴の土層断面には径10cm前後の腐朽した柱の痕跡を残すものがみられる。

SB36 (第166図) Ⅷ区M・N31グリッドに位置し、周溝建物SH10の南側に重複する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN77°Wにとる。SP1146では弥生時代後期の土器を検出した。SH10とはその周溝SD370を柱穴が切っていることから、後出するものと判断できる。

SB37 (第167図) Ⅷ区M30・31グリッドに位置し、SB34の南東に重複する。柱間は各辺1間で、長軸をN75°Wにとる。SP1159では礎板が出土しており、年輪年代測定で65B.C.(推定伐採年代25B.C.+a)の値が示されている。

SB38 (第167図) Ⅷ区K・L29・30グリッドに位置する。柱間は東側の長辺1間、西側の長辺2間、短辺1間で、長軸をN25°Eにとる。平面形は細長い方形で、やや歪んでいる。すべての柱穴で柱根を検出した。いずれも断面五平状で、長辺に直交するように据えられていた。

SB39 (第168図) Ⅷ区K30・31グリッドに位置する。柱間は各辺2間で、長軸をN16°Eにとる。5基の柱穴で柱根を検出した。SP1194~1196の柱根は断面五平状で、長辺に直交して据えられていた。一方、SP1197・1226の柱は断面円形の細い丸木材が用いられていた。遺物はSP1227から弥生時代後期の土器(第249図13)が出土している。

SB40 (第168図) Ⅷ区M30グリッド、SB34の南に位置する。柱間は長辺1間、短辺2間で、長軸をN10°Eにとる。5基の柱穴で柱根を検出した。細い丸木を用いており、端部を杖状に尖らせている。掘形や柱根の規模からすると、上屋をもたない構造物の可能性もある。

SB41 (第169図) Ⅱ区I16グリッド、墓域の西側を囲す溝SD75を挟んで方形周溝墓ST1と対称的な位置にある。南側でSB42が重複する。正方形に近い平面形を呈し、柱間は長辺2間、短辺1間で、長軸をN67°Wにとる。SP406・406・407・409では断面五平状の柱根が遺存していた。遺物はSP320から弥生時代後期の土器が出土している。

SB42 (第169図) Ⅱ区I15・16グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB41の南東に重複する。柱間は長辺2間、短辺1間である。長軸をN17°Eにとり、SB41とはおおよそ直交する。

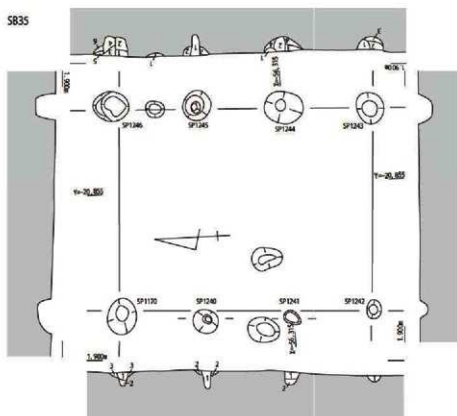
SB43 (第170図) Ⅱ区I15グリッド、溝SD75沿いの西側でSB42の南に近接して位置する。柱間は長辺2間、北側短辺1間、南側短辺2間である。長軸をN17°Eにとり、SB42と直列している。図示していないが、SP327・402・404では断面五平状の柱根が遺存していた。

SB44 (第170図) Ⅱ区I・J13・14グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB45の北東に重複する。柱間は長辺2間、短辺1間である。長軸をN12°Eにとり、SB42・43などとおおよそ揃う。

SB45 (第171図) Ⅱ区J13・14グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB44の大部分に重複する。柱間は長辺3間、短辺1間である。長軸をN15°Eにとり、SB42~44などとおおよそ揃う。遺物はSP277から弥生時代後期の土器が出土している。

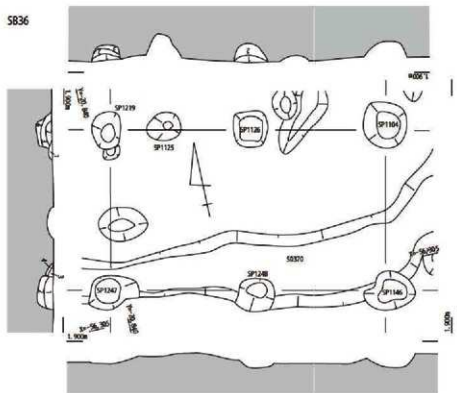
SB46 (第171図) Ⅱ区J12・13グリッド、溝SD75沿いの西側でSB45の南西に位置する。長辺2間、短辺1間で、正方形に近い平面形を呈す。長軸をN60°Wにとり、付近ではSB41とおおよそ揃う。

SB35



- SP120
1 黒褐色粘質土
2 灰白色粘質土
3 黒褐色粘質土 + 砂多量混
- SP121
1 オリーブ褐色粘質土 灰化地層
2 黒褐色粘質土
- SP122
1 黒褐色粘質土
- SP123
1 オリーブ褐色粘質土 灰化地層
2 黄灰色粘質土 砂質土ブロック混
3 灰白色粘質土
- SP124
1 黄灰色粘質土 灰質土ブロック混
2 オリーブ褐色粘質土 灰化地層
3 黒褐色粘質土
4 黒褐色粘質土 + 砂多量混
- SP125
1 オリーブ褐色粘質土 灰化地層
2 黒褐色粘質土
- SP126
1 黒褐色粘質土
2 灰オリーブ色砂質土 粘質土混
3 黒褐色粘質土
4 オリーブ褐色粘質土 灰化地層
5 黒褐色粘質土
6 灰オリーブ色砂質土 粘質土混

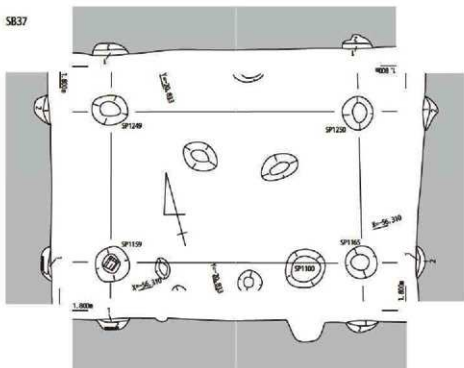
SB36



- SP112
1 黒色粘質土
2 黄灰色粘質土 砂質土ブロック混
- SP113-119
1 灰オリーブ色砂質土 粘質土混
2 黄灰色粘質土 砂質土ブロック混
3 オリーブ褐色粘質土 SP+地層
4 暗灰褐色粘質土 砂多量混
- SP120 - SP127
1 黒色粘質土
2 黄灰色粘質土 砂質土ブロック混
3 黒褐色粘質土 粘質土ブロック混
4 黒褐色粘質土

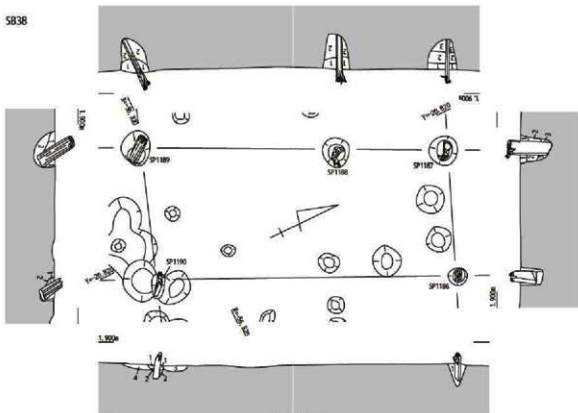
第166図 SB35・36実測図(縮尺1/50)

SB37



SP1159・1165・1249・1229
 1 灰褐色粘質土・砂少量混
 2 黒色粘質土・砂少量混

SB38



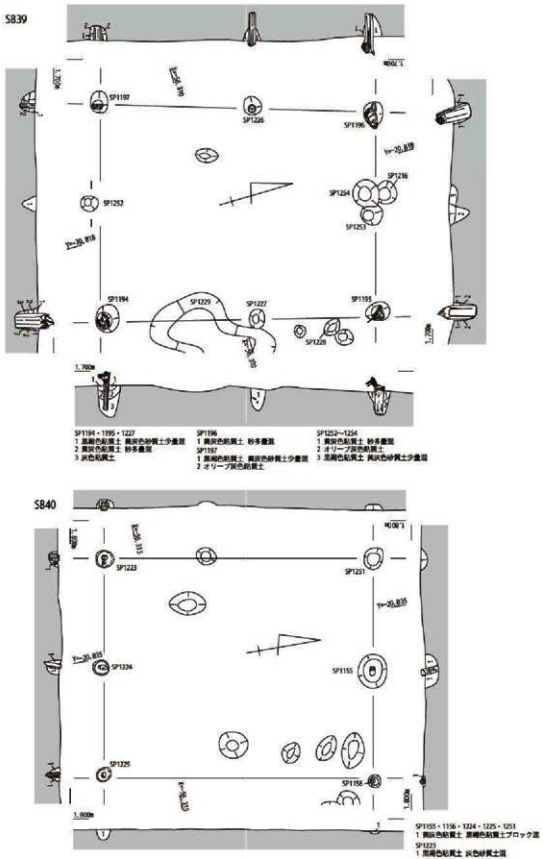
SP1184
 1 オリーブ褐色粘質土・砂少量混
 SP1187
 1 灰オリーブ色粘質土・砂少量・黒褐色粘土ブロック混
 2 黒褐色粘質土
 3 灰褐色粘質土
 3 灰褐色粘質土

SP1188～1190等
 1 黒褐色粘質土・黒褐色粘質土ブロック混
 2 灰オリーブ色粘質土
 3 灰褐色粘質土・黒褐色粘質土ブロック混
 4 黒褐色粘質土・砂少量混

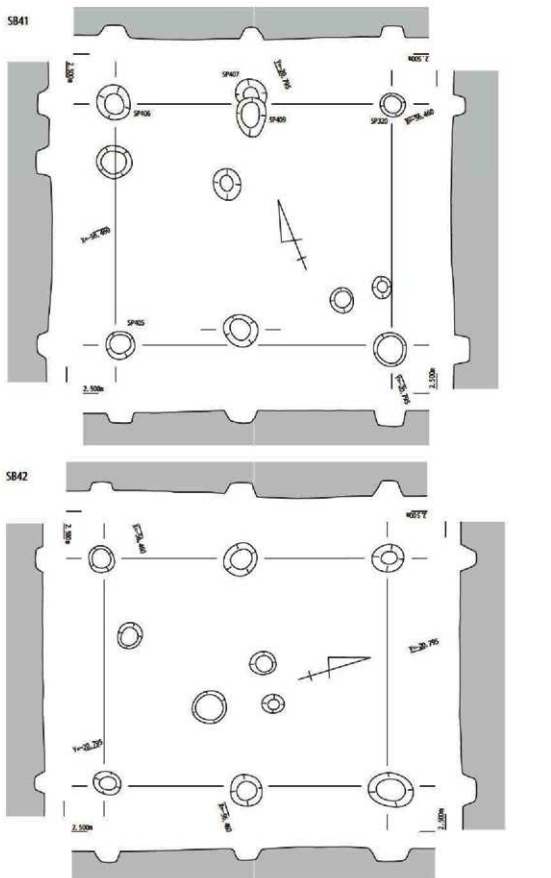
0 2m

第167図 SB37・38実測図(縮尺1/50)

第1節 遺構

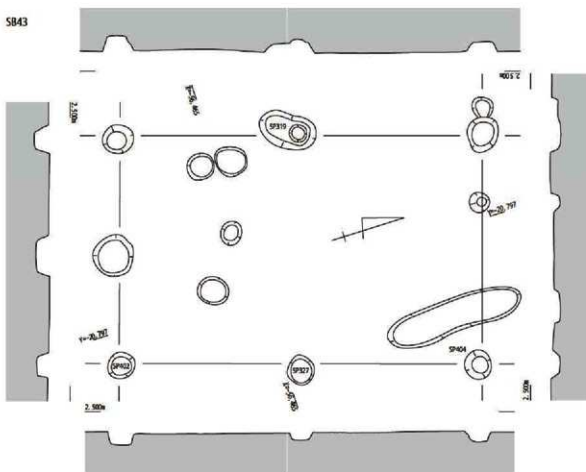


第168図 SB39・40実測図(縮尺1/50)

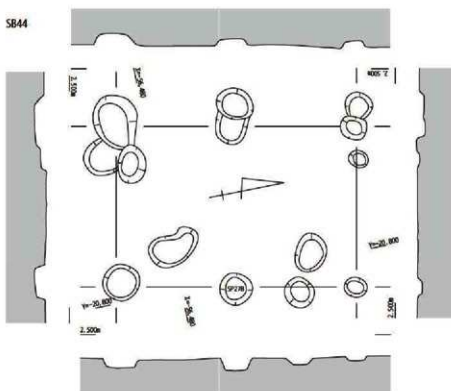


第169図 SB41・42実測図(縮尺1/50)

SB43



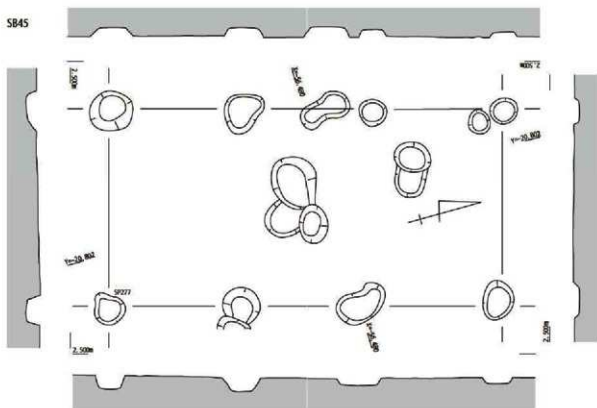
SB44



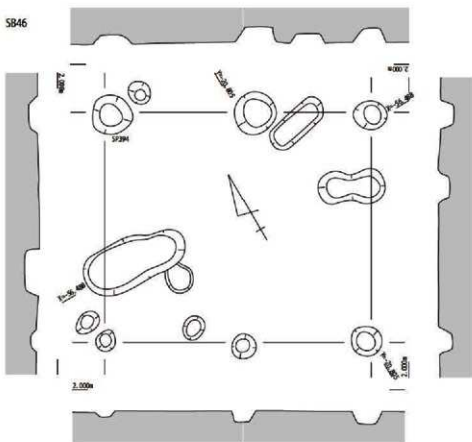
第170図 SB43・44実測図(縮尺1/50)



SB45



SB46



第171図 SB45・46実測図(縮尺1/50)

SB47 (第172図) Ⅲ区M・N28・29グリッドに位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN85° Eにとる。長軸方向は東方に位置するSB16とほぼ揃う。

SB48 (第172図) Ⅲ区L27グリッドに位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN80° Eにとる。長軸方向は付近ではSB16・47などとおおよそ揃う。SP479から弥生時代後期の土器が出土している。

SB49 (第173図) Ⅲ区L・M27グリッド、SB48の西に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN79° Eにとる。SB48とほぼ直列する。

SB50 (第173図) Ⅲ区L26グリッド、SB49の南に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN4° Eにとる。長軸方向は付近ではSB19・31・33・51などとおおよそ揃う。

SB51 (第174図) Ⅳ区J・K27グリッド、SB18の北東に接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN3° Eにとる。長軸方向は付近ではSB19・31・33・50などとおおよそ揃う。

SB52 (第174図) Ⅳ区I24グリッドに位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN25° Eにとる。長軸方向は付近ではSB25・53とほぼ揃う。

SB53 (第175図) Ⅳ区I23・24グリッド、SB52の南西に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、正方形に近い平面形を呈す。長軸をN28° Eにとり、付近ではSB25・52とほぼ揃う。遺物はSP736で弥生時代後期の土器が出土している。

SB54 (第175図) Ⅳ区I23・24グリッド、SB52の南東に位置し、SB53の北東に接する。西側長辺1間、東側長辺2間、短辺2間で、長軸をN57° Eにとる。SB53と平面図上SP730を共有しており、実際は先後関係があると考えられるが、明らかにできなかった。

SB55 (第176図) Ⅳ区H・I24グリッド、SB52～54の北東に近接して位置する。南東隅の柱穴が削平されたと想定し、南北2間、東西1間ではほぼ正方形のプランを認めた。南北方向の軸はN29° Eを測り、SB25・52・53とおおよそ揃う。

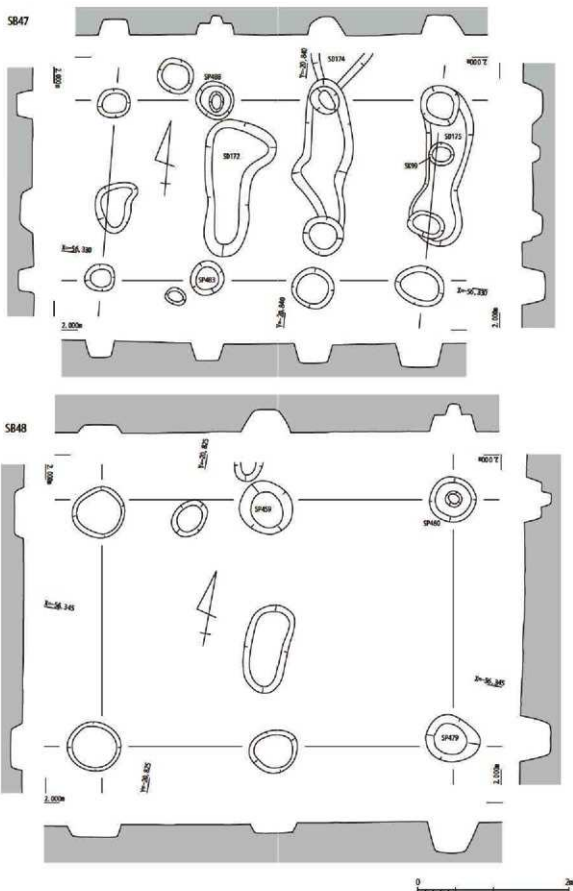
SB56 (第176図) Ⅳ区H26・27グリッド、SB22とSB29に東西を挟まれて位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN5° Wにとる。長軸方向は付近ではSB31～33とおおよそ揃う。SP614～616では礎板を検出した。遺物はSP615から弥生時代後期の土器が出土している。

SB57 (第177図) Ⅳ区H・I14グリッド、溝SD75沿いの東側にあり、方形周溝墓ST1・2の南西に位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN22° Eにとる。長軸方向はSD75の西側に展開するSB42～45などとおおよそ揃う。遺物はSP283から弥生時代後期の土器が出土している。

SB58 (第177図) Ⅳ区G27・28グリッド、SB24の北東に位置する。北隅の柱穴が擾乱によって消失したと想定し、長辺2間、短辺1間のプランを認めた。長軸方向はN43° Wである。SP657から弥生時代後期の土器が出土している。

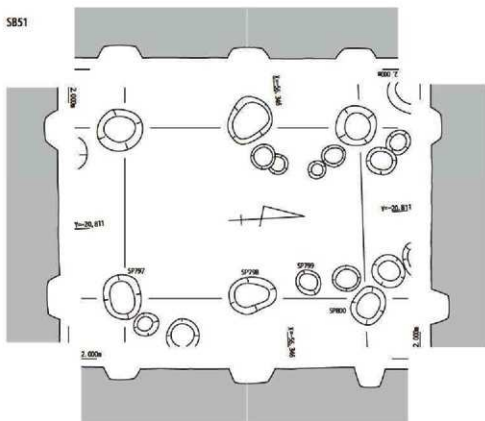
SB59 (第16図) Ⅳ区A・B23グリッド、墓域北半の東側に位置し、方形周溝墓ST25・61と重複する。長辺5間、短辺2間で、長軸をN85° Wにとる。遺構の重複により確認できない、あるいは検出深度の浅い柱穴が多いことから、その認定には不安を残している。遺物はSP533から弥生時代後期の土器が出土している。

SB60 (第178図) Ⅵ区J30グリッド、周溝建物SH8・9の間に位置する。長辺4間、短辺2間で、長軸をN76° Eにとる。両長辺の柱穴規模と配置をみると、比較的規模の大きい柱穴の間に規模の小さい柱穴が配されており、後者の柱は建物の構造において補助的な役割を担ったものとも推察される。

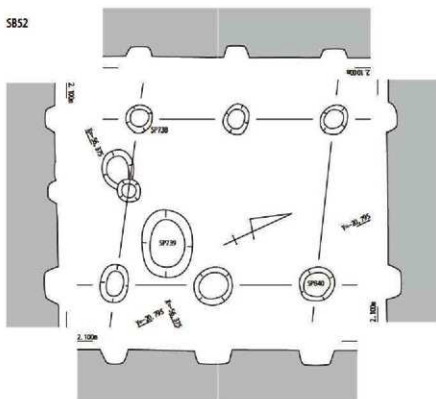


第172図 SB47・48実測図(縮尺1/50)

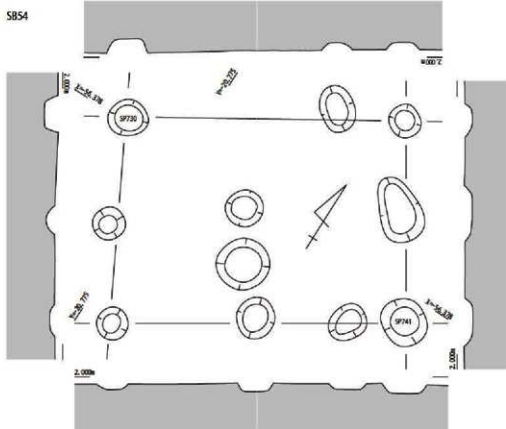
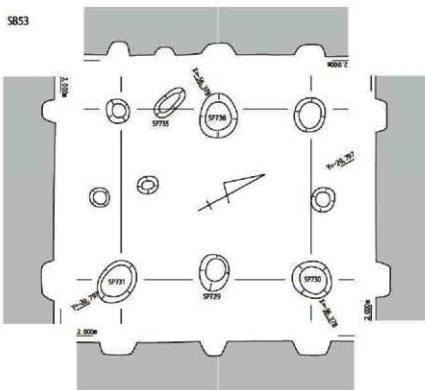
SB51



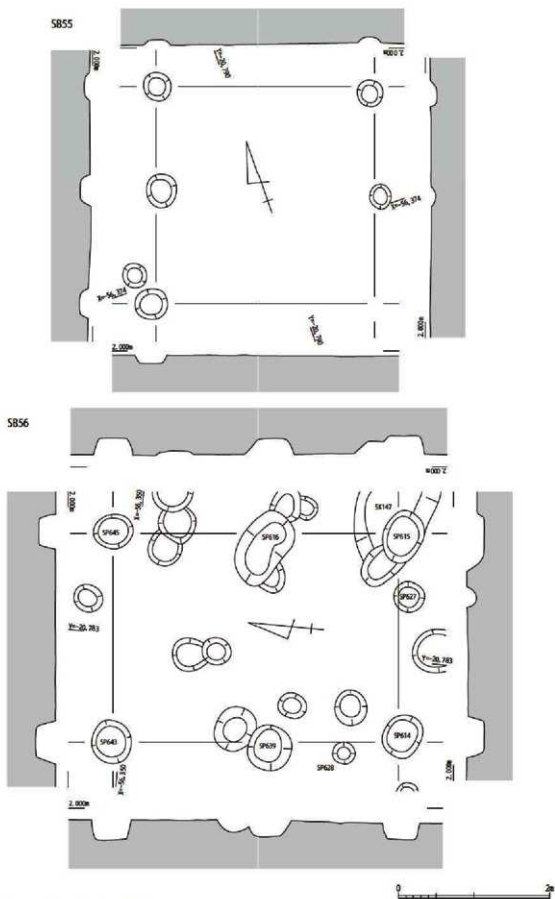
SB52



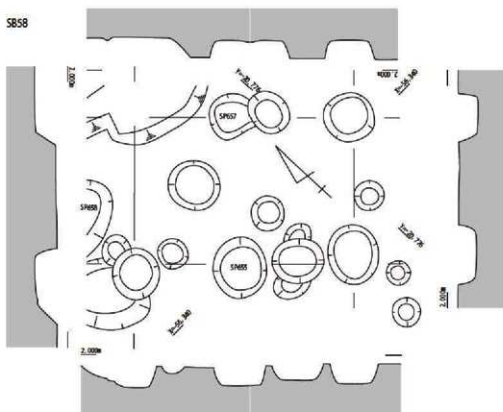
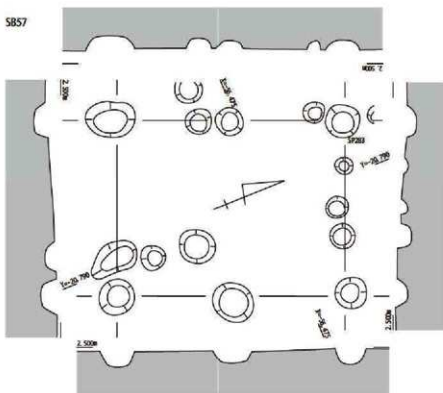
第174図 SB51・52実測図(縮尺1/50)



第175図 SB53・54実測図(縮尺1/50)



第176図 SB55・56実測図(縮尺1/50)



第177図 SB57・58実測図(縮尺1/50)

SB61 (第179図) VI区H30グリッド、方形周溝墓ST62の西に近接して位置し、周溝建物SH8の周溝SD331に重複する。柱間は各辺1間で、長軸をN21°Eにとる。南西隅を除く3基の柱穴で断面五平状の柱根が遺存していた。遺物はSP1043から弥生時代後期の土器が出土した。なお、北辺の西側延長線上からやや南にずれて位置するSP1061でも断面五平状の柱根を検出している。南辺の延長上においてもほぼ相対する位置にピットが認められ、これらが伴うとすれば、東西は2間(約3.7m)、長軸方向N71°Wの建物に復元できる。

SB62 (第178図) VI区F・G28・29グリッド、周溝建物SH5の東に近接して位置する。長辺2間、短辺1間で、長軸をN68°Eにとる。

SB63 (第179図) VI区I31グリッド、周溝建物SH8の北に位置する。柱間は各辺1間で、正方形に近い平面形を呈し、長軸をN2°Wにとる。SP1038から弥生時代後期の土器が出土している。

SB64 (第179図) VI区G29グリッド、方形周溝墓ST62の南に近接して位置し、周溝建物SH5の北側に重複する。柱間は各辺1間で、長軸をN28°Eにとる。西隅を除く3基の柱穴で柱根が遺存していた。柱根はいずれも丸太材を求心状に分割したもので、断面扇形を呈す(第306図)。設置方向については、樹皮側がおおよそ建物の外を向いている程度で、明確な規則性は認められない。

SB65 (第180図) II区I12グリッド、溝SD75沿いの東側にあたり、周溝建物SH1の西に位置する。長辺3間、短辺1間で、長軸をN10°Wにとる。

SB66 (第180図) VI区J30・31グリッド、周溝建物SH9の内側に位置する。東側長辺2間、西側長辺1間、短辺1間で、長軸をN10°Eにとる。SP976・992では断面円形の柱根が遺存していた。SH9との新旧関係を具体的に示すものはないが、柱根を残すことから後出の可能性が高い。一方、SH9に伴う柱穴では礎板のみが遺存し、柱は抜き取られたと考えられる。

SB67 (第181図) VI区I31グリッド、SB63の西に近接して位置する。北側長辺1間、南側長辺2間、短辺1間で、長軸をN83°Eにとる。南辺両端の柱穴SP968・969では断面五平状の柱根が遺存していた。また、南辺中央の柱穴SP1008では礎板(第307図9)を検出し、その下から弥生時代後期の土器(第249図8)が出土している。

SB68 (第181図) IV・VI区I・J28・29グリッド、周溝建物SH8内の南西際に位置する。柱間は各辺1間で、長軸をN88°Wにとる。北西隅を除く3基の柱穴SP795・782・930では断面円形の柱根が遺存していた。また、SP795がSH8の周溝SD289を切っており、SB68がSH8より新しいと判断できる。

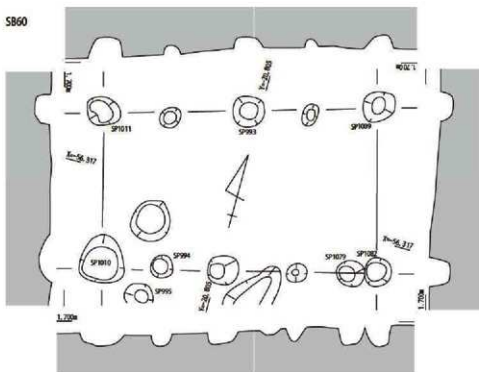
SB69 (第182図) II区I・J14グリッド、溝SD75沿いの西側に位置し、SB44・45の北に近接する。南北2間、東西1間で、正方形に近い平面形を呈す。南北辺が若干長く、長軸方向はN11°Eである。北辺両端の柱穴SP399・400では断面円形の柱根が遺存していた。

2) 柱列

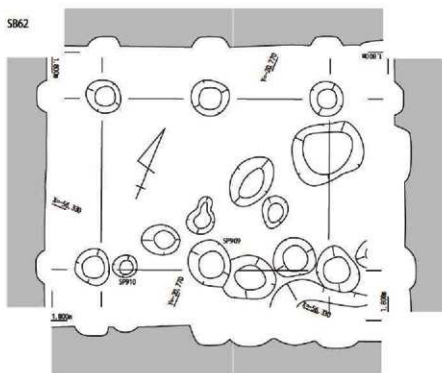
柱列1 (第182図) II区H16・17グリッド、方形周溝墓ST1の北に近接して位置する。N19°Eの方位で並ぶ4基のピットを基準とし、その両端から西方向へ並ぶピット4基を関連するものと捉えた。南列のピットSP398では断面円形を呈する大径の柱根が遺存しており、上屋をもつ建物の一部である可能性が高い。

柱列2 (第183図) III区N29、O28グリッド、SB47の西に位置する。4基のピットが等間隔に並んでおり、方位はN63°Eである。SP492・495では断面五平状の柱根が遺存していた。上屋をもつ建物の一部である可能性が高い。

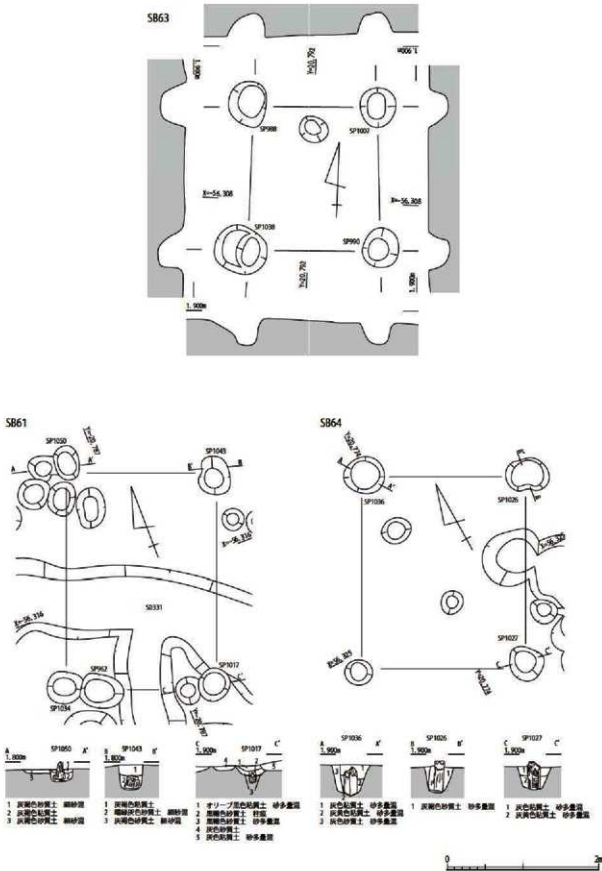
SB60



SB62

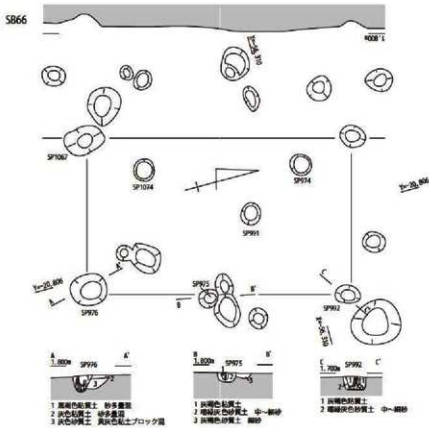
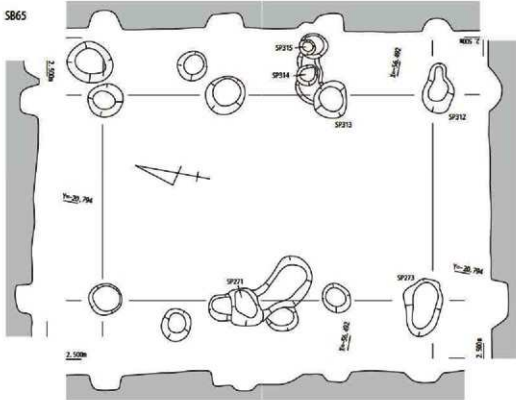


第178図 SB60・62実測図(縮尺1/50)

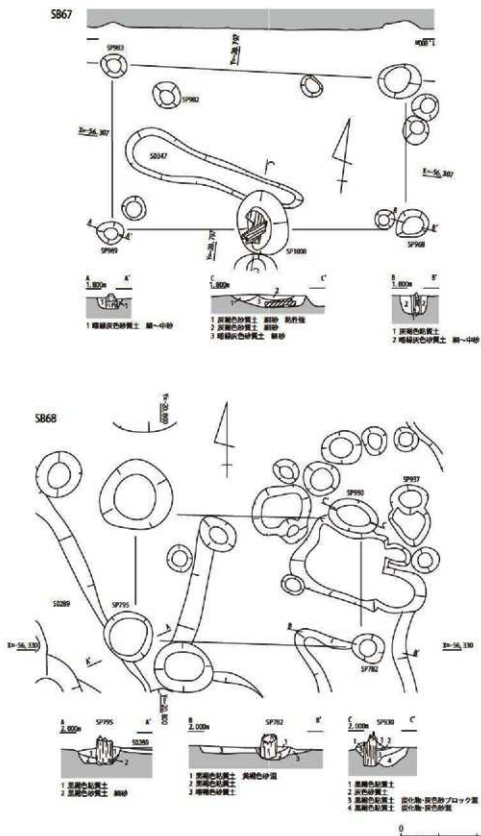


第179図 SB61・63・64実測図(縮尺1/50)

第1節 遺構

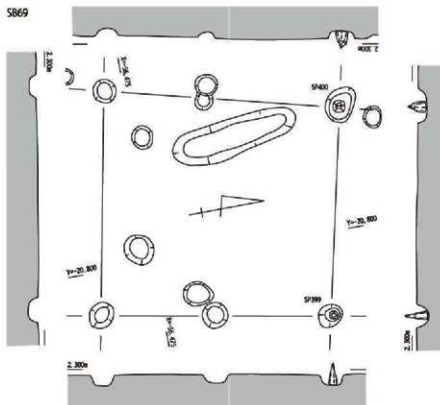


第180図 SB65・66実測図(縮尺1/50)

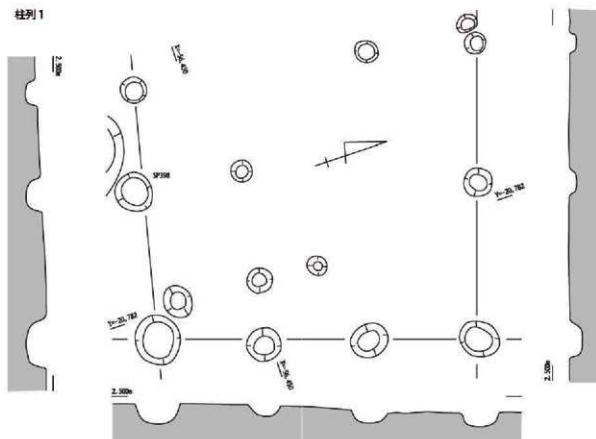


第181図 SB67・68実測図(縮尺1/50)

SB69

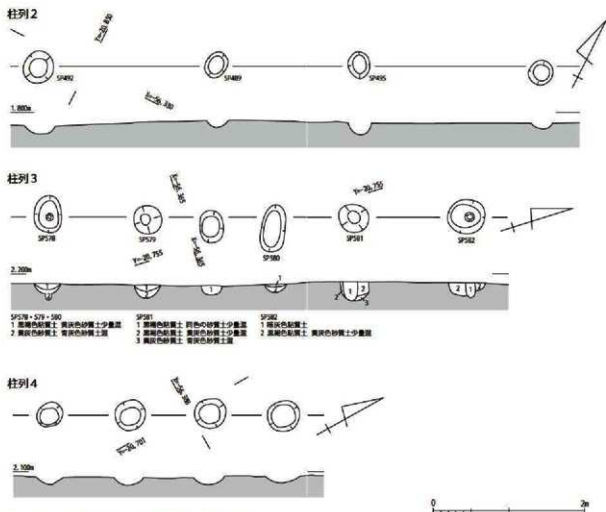


柱列1



第182図 SB69・柱列1実測図(縮尺1/50)





第183図 柱列2・3・4実測図(縮尺1/50)

柱列3 (第183図) IV区G25グリッドに位置し、SB26の東辺と並列する。6基のピットからなり、方位をN18° Eにとる。ピット間は両端が広く、中央3間が狭い。また、中央部のピット2基はほかと比べて浅い。SP581・582の土層断面には径の小さい柱痕が認められ、SP578底面の痕跡からみても、設置されたのは杭状の材であろう。横列の可能性が高いと考える。

柱列4 (第183図) IV区Z23グリッドに位置する。調査区東縁際で検出した4基のピットで、方位N30° Eに並ぶ。調査区外へ広がる掘立柱建物の一辺と推測される。

5 周溝建物

周溝建物と呼称するのは、おおよそ円形に巡る溝で区画された内部に多数のピットが認められる遺構であり、「平地(式)住居(建物)」と報告される場合が多い。すでに述べたように、本遺跡の主体をなす弥生時代の生活面は遺構確認面より上位に想定されることから、床面の垂直位置で建物を定義するのはそぐわないと考え、機能の面に言及できるだけの成果も得られなかったため、本書では単に遺構の特徴を表す呼称にとどめた。また、主柱配置については、区画内でバランスのとれた配置となるよう図上でピットを拾ったものであり、復元案の一つとして提示した。なかには、礎板が良好に遺存する事例も認められ、その配列はかなり蓋然性が高いものと考えている。なお、礎板の一部については年輪年代測定が実施され、伐採年代が明らかになったものもある(第5章第2節)。

今回確認した周溝建物は12基である。分布から大きく2つのグループに分かれ、墓域を挟んでSH1～4が南側、SH5～12が北西側に位置している。

SH1 (第184図) II区G・H12・13グリッド、方形周溝墓ST2・18の南西に位置する。平面形は東西方向にややつぶれた楕円形で、周溝内側の長軸約9m、短軸約8mを測る。周溝は西側で一部途切れている。6本の支柱配置を想定した。周溝区画内では、柱穴様を呈する多数のピットのほかに数基の土坑も認められるが、関連性は不明である。遺物は周溝から主に弥生時代後期の土器(第236図1～7)が出土している。

SH2 (第185図) II区F11、G10・11グリッド、SH1の南東に位置する。調査区外へ広がっており、半分程度を検出したものと考えられる。平面形は隅丸方形を呈するとみられ、周溝内側の調査区壁沿いで約8.6mを測る。周溝は西側で食い違い、途切れている。支柱配置は不明である。関連性は明らかでないがSP358から弥生時代後期の土器が出土している。

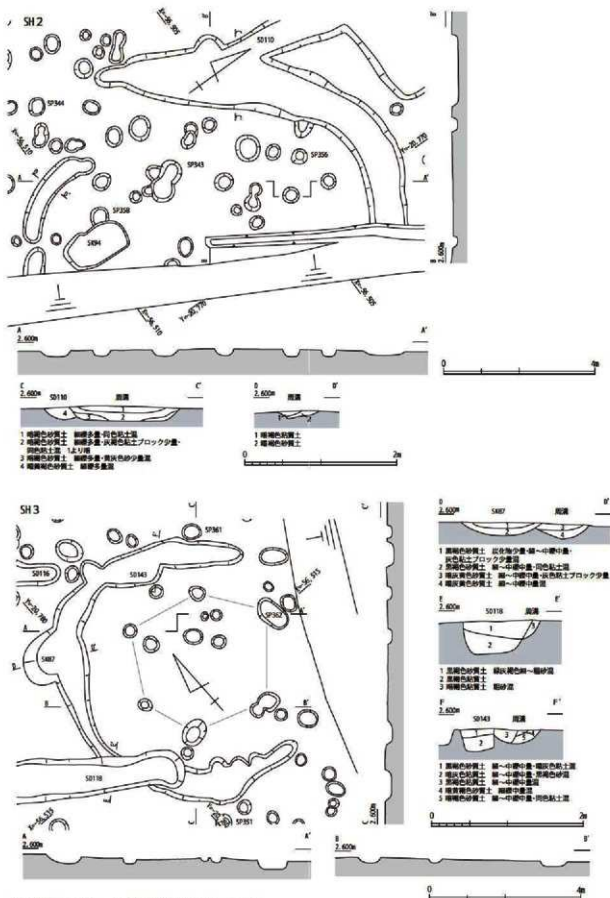
SH3 (第185図) II区G・H10グリッド、SH2の南西に位置する。東側が若干調査区外にかかっている。平面形は円形を呈し、周溝内側で径約5.5mを測る。周溝は東側で大きく途切れている。6本からなる支柱配置を想定した。SP362では礎板と考えられる板材が出土している。

SH4 (第186図) II区F・G13グリッドに位置する。方形周溝墓ST2・3・18と重複し、すべてに切られている。平面形は円形を呈し、周溝内側で直径約8mを測る。周溝は東側で途切れている。支柱配置は不明である。

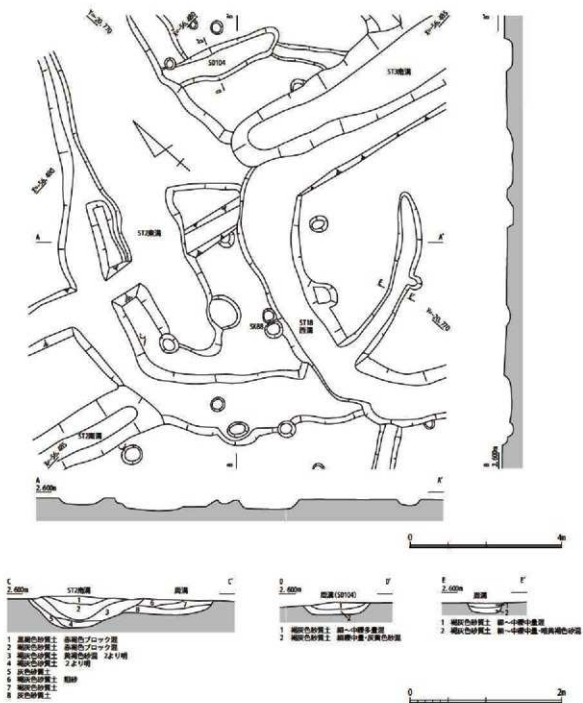
SH5 (第187図) VI区G・H28・29グリッド、方形周溝墓ST62の南に位置する。SD332を周溝とし、SH6・8と部分的に重複する。平面形は隅丸多角形を呈し、周溝内側の対角線で約13mを測る。周溝は北側で大きく途切れている。支柱配置は明確でないが、中央部にある土坑SK190をとりまくようにピットの分布する状況がみられ、支柱穴となる可能性が高い。なお、SK190は検出面からの深さ約0.6mを測る大型の土坑で、遺物の出土はなく、堆積状況にも特記すべき点は認められない。重複するSH6・8との新旧関係については、周溝SD332がSH8の周溝SD331に間接的に切られており、それに先行することは関連しない。一方、SH6との間で周溝同士の切り合いは確認できないが、SK190をSH6の周溝SD343が切っており、SK190がSH5を構成する遺構であるとすれば、SH6にも先行すると判断できる。遺物は主に周溝SD332から弥生時代後期の土器(第236図8～11)が出土した。

SH6 (第187図) VI区G29、H・129グリッドで検出したSD341・343を周溝とする建物である。周溝南半は削平されたものと思われる。平面形は円形をなすようであり、周溝内側の最大幅で約15mを測る。支柱穴は明らかでない。北側で方形周溝墓ST62、東西ではそれぞれSH5・7と重複しており、これらに後出する。一方、SH8とは、SD341がSH8の柱穴SP946に切られており、これに先行すると判断できる。遺物は周溝を中心に弥生時代後期の土器(第236図12～23)が出土した。

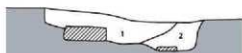
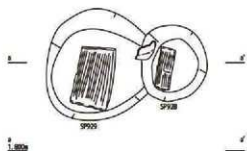
SH7 (第188～194図) VI区H・128～30グリッド、SH8周溝内側の東寄りに位置する。周溝はSD323で、南西に開口する。平面形は円形を呈し、周溝内側で直径約12mを測る。SH8との新旧関係については、SH8に伴う柱穴SP1025によって周溝SD323が切られており、これに先行すると判断できる。遺物は周溝から弥生時代後期の土器(第236図24～26)が出土した。また、周溝北東部で微細な骨片と焼土のブロックが認められた。支柱配置は明確でないが、年輪年代測定を実施した礎板のなかで、SP927に遺存したものが、配列からSH8を構成すると想定したものより大幅に古い値を示しており、本建物に伴う可能性が考えられる。



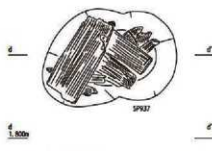
第185図 SH2・3実測図(縮尺1/100・1/50)



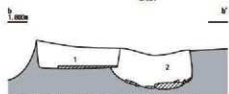
第186図 SH4実測図(縮尺1/100・1/50)



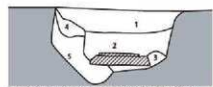
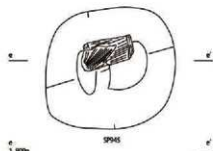
- 1 黒褐色粘質土 灰化物少量・灰オリブ色砂質土ブロック多量
2 黒褐色粘質土 灰化粘質土ブロック少量・灰オリブ色砂質土やや多量混



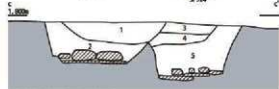
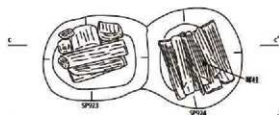
- 1 黒褐色粘質土 褐色砂質土ブロック少量混
2 黒褐色粘質土 褐色砂質土ブロック多量混



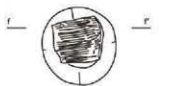
- 1 黒褐色粘質土 灰化物少量・灰オリブ色砂質土やや多量混
2 黒褐色粘質土 灰化粘質土ブロック・灰オリブ色砂質土混



- 1 黒色粘質土 灰化物少量・オリブ色粘質土ブロック多量混
2 黒褐色粘質土 灰化物少量・オリブ色粘質土ブロック少量混 1より稍
3 灰オリブ色砂質土 黒褐色粘質土ブロック少量混
4 オリブ色粘質土 黒褐色粘質土少量混
5 黒褐色粘質土 オリブ色粘質土ブロック少量混



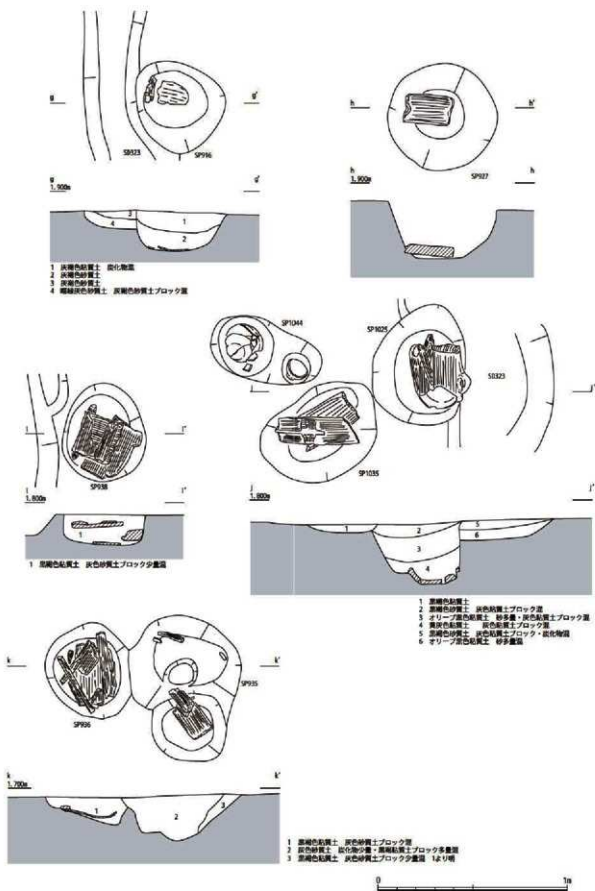
- 1 黒色粘質土 褐色砂質土少量混
2 灰化砂質土 黒褐色粘質土ブロック混
3 黒褐色粘質土 灰化粘質土ブロック混
4 黒褐色粘質土 褐色砂質土多量混
5 黒褐色粘質土 褐色砂質土少量混



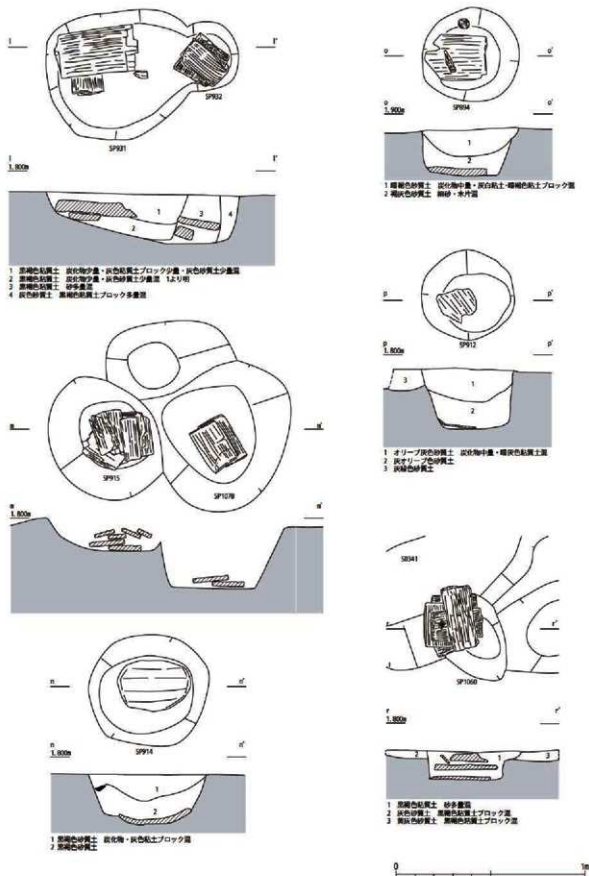
- 1 黒褐色粘質土 オリブ色粘質土少量混



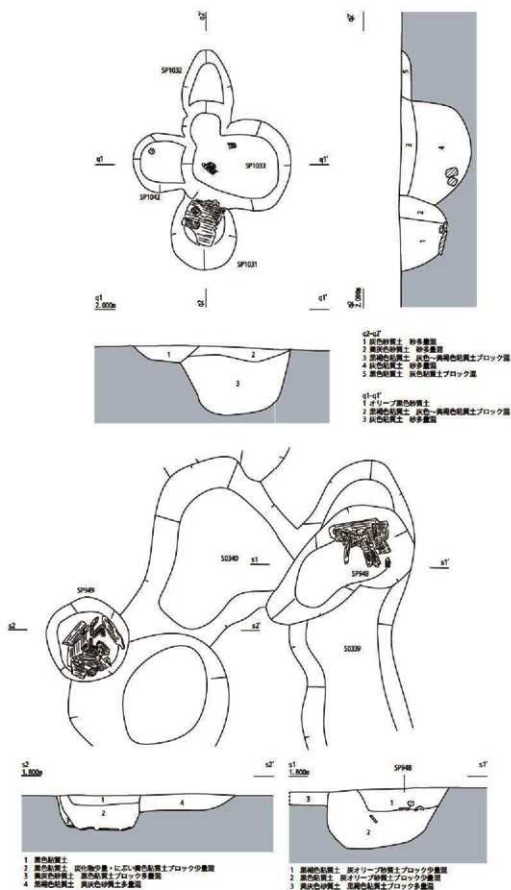
第189図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



第190図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



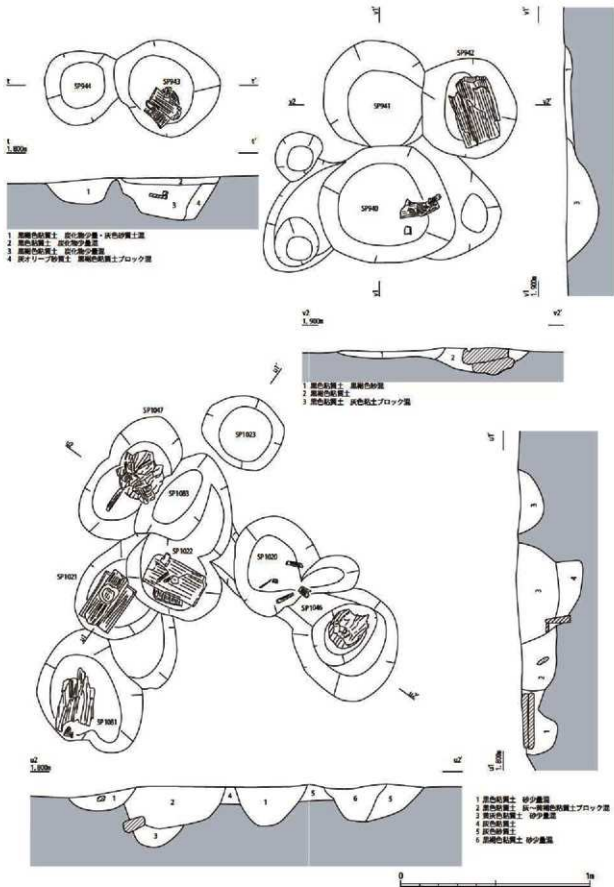
第191図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



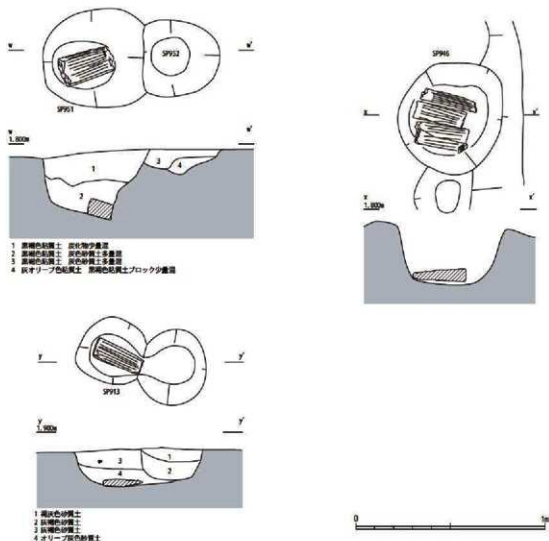
第192図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



第1節 遺構



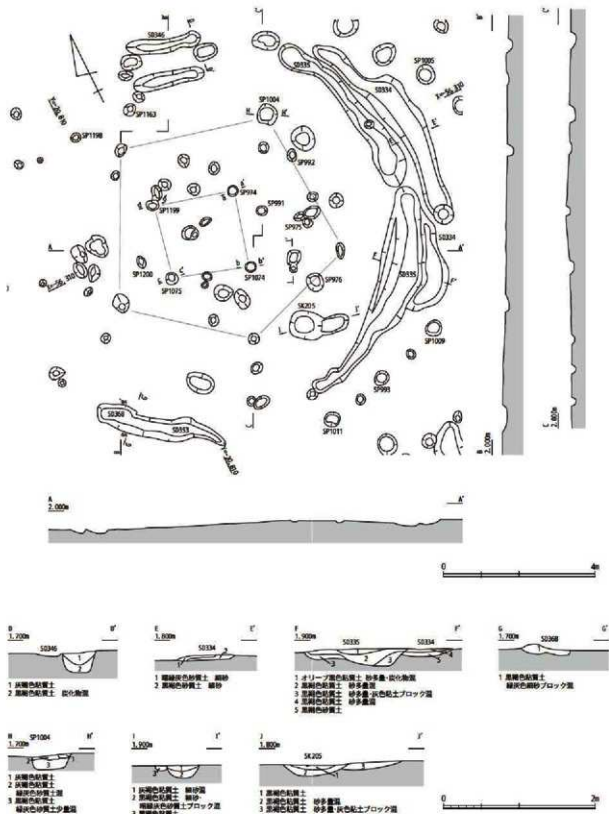
第193図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)



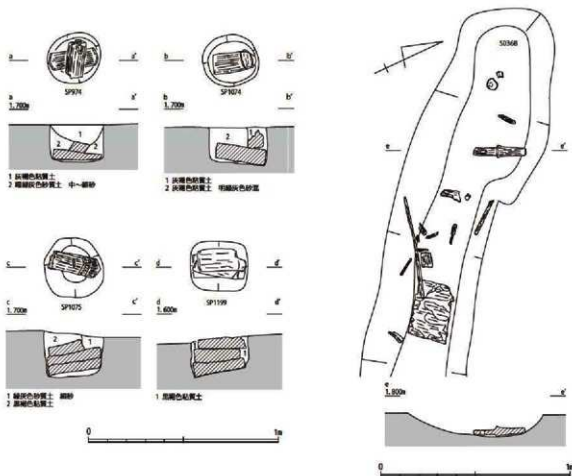
第194図 SH7・8柱穴実測図(縮尺1/20)

SHB (第188～194図) IV・VI区H～J28～30グリッドに位置する。方形周溝墓ST62の南西に接し、これを切っている。また、既述したように重なり合うSH5～8のなかでは最も後出の建物である。周溝はSD289・333、SD300・331で、南北の2箇所が開口する。なお、それぞれはIV区とVI区で遺構番号を違えたものであるが、いずれも一連の溝である。平面形は円形を呈し、周溝内側で約19mを測る。周溝内側では礎板が遺存する多数の柱穴を検出し、それを基準に外周10本、内周5本となる2重の主柱配列を認めた。外周・内周共に建て替えが行われており、柱穴の切り合い関係から全体をわずかに西へずらしたものと判断できる。検出した柱穴の数からすれば、建て替えはこれにとどまらないであろう。礎板は安定を図るため複数枚を重ねたものが多く、一部は建て替えに伴うとも考えられる。また、SP1021の礎板(第307図6)には建てられた柱の痕跡とみられる径10cm程の円形凹痕が観察される。遺物は主に周溝から弥生時代後期の土器(第237図1～21)が出土した。そのほか柱穴SP924では礎板の直上で琴柱(第295図2)が、SP1022では石包丁(第280図7)が出土した。礎板の一部は年輪年代測定が行われ、外周の柱穴SP929の礎板(第307図4)については伐採年代で84A. D. という値が示されている。

第1節 遺構



第195図 SH9全体・土層断面図(縮尺1/100・1/50)

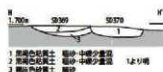
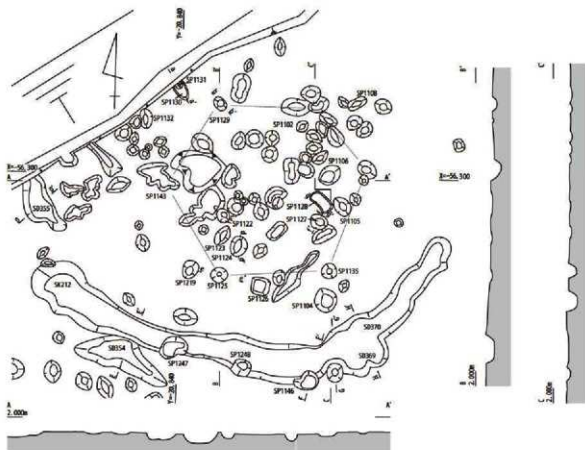


第196図 SH9柱穴・遺物出土状況実測図(縮尺1/20)

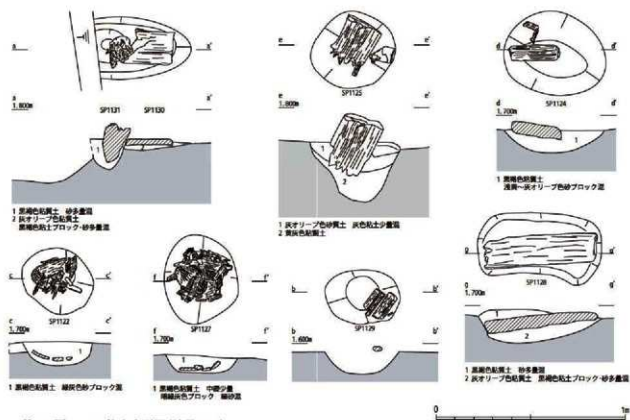
SH9 (第195・196図) VI・VII区J・K30・31グリッド、SH8の北西に位置する。周溝はSD334・335・346・353・368である。二重になっており、外側のSD334を内側のSD335が切っていることから、再掘削が行われたと考えられる。いずれの溝も浅く、所々途切れており、西側ではほとんど検出できなかった。平面形は円形を呈し、周溝内側で直径約10mを測る。中央付近に礎板を残す柱穴が4基認められ、主柱穴と想定した。さらに、その周りを囲むように五角形の配置となるビットを抽出でき、これらも建物を構成する柱穴と考えられる。遺物は主に周溝から弥生時代後期の土器(第237図22～25)が出土している。また、SD368では支脚様の木製品(第300図14)が出土した。

SH10 (第197・198図) VII区M・N31・32グリッドに位置し、一部調査区外へ広がる。SD355・370を周溝とする。周溝は南西で一部途切れ、北東部では検出できなかった。平面形は多角形を呈し、周溝内側の最大幅で約10.5mを測る。主柱穴は六角形となる配置を想定したが、それ以外にも礎板の遺存する柱穴は複数認められる。また、想定した主柱配列の北東やや外側に位置するSP1108から、断面三角形の木材(第301図6)に襷木様の材が被さって出土した(図版第80)。屋根材の可能性がある。遺物は主に周溝から弥生時代後期の土器が出土した。また、同溝からは棒・板材も多く出土している。

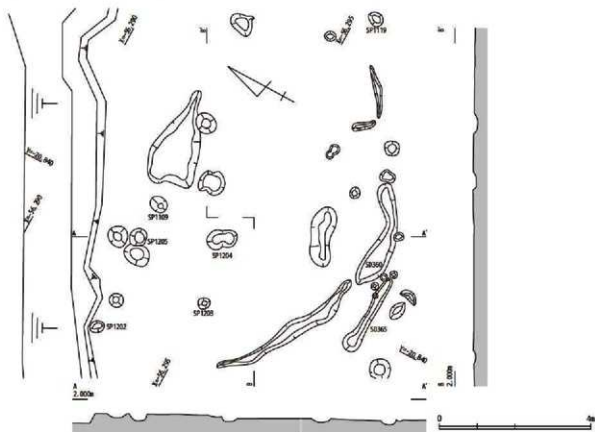
第1節 遺構



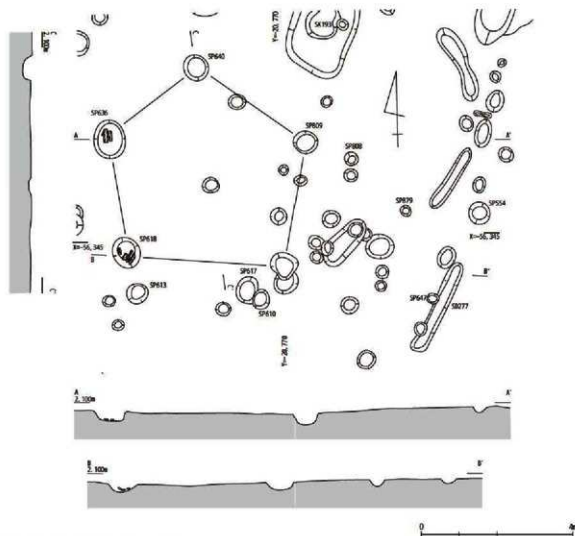
第197図 SH10全体・土層断面図(縮尺1/100・1/50)



第198図 SH10柱穴実測図(縮尺1/20)



第199図 SH11実測図(縮尺1/100 · 1/50)



第200図 SH12実測図(縮尺1/100)

SH11 (第199図) VII区L・M32グリッド、SH10の北東に位置する。SD360を周溝と考えたが、断片的にしか検出できず、認定に不安を残している。平面形を円形に復元すれば径約9mとなる。主柱穴は不明で、礎板を残す柱穴も認められない。SP1202～1204の3基では断面五平状の柱根が遺存していたが、同様の柱は掘立柱建物に用いられ、ほかの周溝建物では皆無であることから、伴う可能性は低いと考える。遺物はSD360から弥生時代後期の土器(第237図26・27)が出土した。また、同溝では多数の棒・板材を検出し、なかには炭化したものも認められた。

SH12(第200図) IV区F・G27グリッドに位置する。周溝は明確でないが、礎板を検出したSP618・636を基準に五角形となる主柱配置を認め、周溝建物と類推した。柱列の東方にSD277などの溝が断片的ながら弧状をなしており、周溝の一部である可能性が高い。

6 井戸

井戸として報告する遺構はSE1・2およびSK3の3基である。SK3は現地調査において性格不明の土坑として処理していたが、後に類例を検索するなかで、特殊な施設を備えた井戸と認識するに至った。また、これら3基のほかに、II区F20グリッドで平面円形の本組井戸を確認している。調査期間の制約から十分な調査を行わず、詳細を明らかにすることはできなかった。掘削された層位や埋土から中世

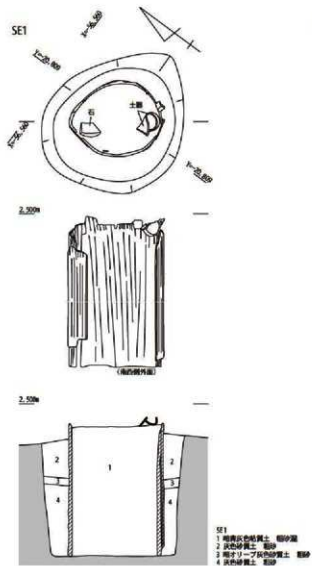
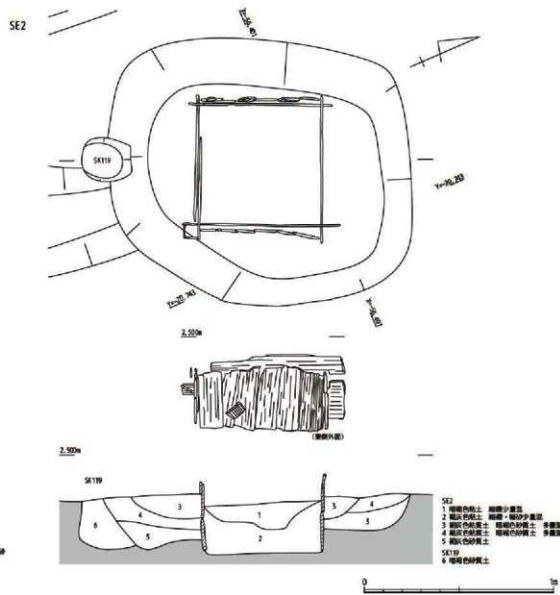
以降の所産と判断している。

以下、個別に説明する。なお、分類や用語は（宇野1982）に従った¹¹⁾。

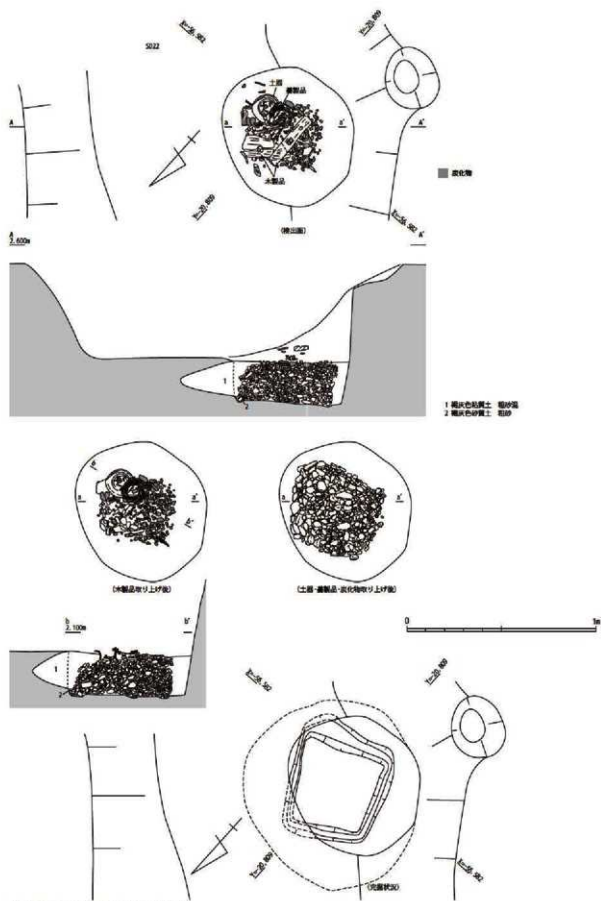
SE1（第201図）I区J5・6グリッドに位置する木組井戸である。井戸側は腐朽がかなり進んでいたが、丸太を分割して削り抜き、それを組み合わせた構造と考えられる。規模は内法で長軸0.45m、短軸0.37m、残存高は約0.8mを測る。削り抜いた材同士を固定する装置は認められないが、隙間を塞ぐように縦板が敷板外側に設置されていた。掘形は歪な円形を呈し、長軸0.85m、短軸0.7m、深さ0.63mを測る。底面は基盤層下部の礫層に達し、湧水が著しい。なお、調査時この湧水に悩まされ、半截断面の写真撮影前に残りの埋土が崩落してしまった経緯がある。遺物は井戸側内の検出面上で弥生時代後期後葉～終末期に比定される鉢（第238図1）が出土した。また、井戸側内の埋土は検出面から底面に至るまで同質の粘質土であり、遺物は出土しなかった。

SE2（第201図）IV区D21グリッド、方形周溝墓ST33の墳丘部に位置する木組井戸である。井戸側は横板井籠組で、長辺両端に溝状の切り込みをつけて組み上げる構造である。さらに東・西面にのみ横板外面に接して縦板が打ち込まれていた。平面形はほぼ正方形で、内法一辺0.62～0.64m、残存高約0.4mを測る。各面とも2段目までが遺存していた。1段目の横板は、北・南面が上部のみに切り込みをもち、その上から上下に切り込みをもつ東・西面の板が組み合う（第311図）。その際、切り込みの深さが板幅に対して十分でないため、東・西面の横板と掘形底面との間に隙間が生じる。付設された縦板はそれに対応したものであろう。掘形はやや胴の張る隅丸長方形の平面形をもち、長軸約1.6m、短軸約1.4mを測る。底面は井戸側の設置箇所が段状に落ち込み、検出面からの深さ約0.3mを測る。遺物は、井戸側の外、掘形検出面で7世紀代に位置付けられる須恵器の甕と大型鉢（第238図2・3）が出土している。また、井戸側内では、検出面直下で曲物底板（第293図3）が出土したほか、長径10～15cmを測る数個の自然礫が検出面直下から底面にかけて認められた。

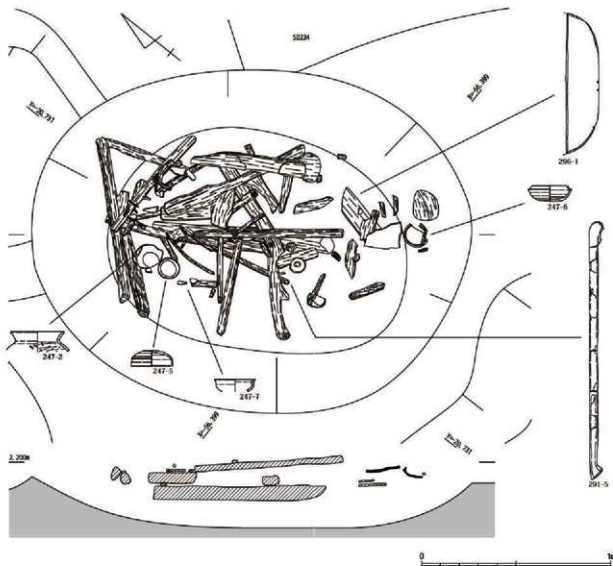
SK3（第202図）I区J3グリッド、総柱建物SB1の東に隣接する。溝SD22の立ち上がり斜面で平面プランを認識した。平面形は径0.7m前後を測る円形を呈する。掘形の南側、SD22立ち上がり斜面部分ではほぼ垂直に落ち、SD22の底面下約0.25mに達している。SD22の検出面からは深さ約0.74mを測る。一方、SD22中央寄りの壁はオーバーハングしているが、これは湧水によるものであろう。底面には一辺約0.5mの方形に細く浅い溝が巡り、その区画に収まるように大量の小円礫が集積していた。円礫の層は厚さ約0.2mで、上面には大粒の炭化物が敷かれていた。円礫層が立方体をほぼ保っていたことから、その周囲には側板が設置されていた可能性が高く、底面を巡る溝はその設置痕跡と考えられる。板そのものについては、以下に述べるように木製遺物が良好に遺存する堆積環境においてそれのみ完全に腐朽・消失したとは考えにくく、施設廃絶時に抜き取られたとみている。この円礫を詰めた方形区画は湧水を濾過する目的で構築された施設であり、さらに木炭を敷くことで浄水を図ったものと考えられる¹²⁾。井戸全体の構造としては、下部施設に側板が設置された可能性が高いことや、掘形南側がほぼ垂直を保っていることから、本来は木組井戸であり、井戸側は廃絶時に抜き取られたと推測できる。井戸側の撤去と間をおかず埋められたため、地盤が砂質であるにもかかわらず形状が維持されたのであろう。遺物は、円礫・炭化物層の直上で弥生時代後期後葉の壺口頸部（第239図2）と壺製品（第300図5）が折り重なって出土した。また、その上部で釣瓶などの木製品（同図1・2）が出土している。SD22との新旧関係については、その掘形を検出してはじめて確認できたことから、それに先行する可能性が高いと考えるが、断定はできない。



第201図 SE 1・2 実測図(縮尺1/20)



第202図 SK 3 実測図(縮尺1/20)



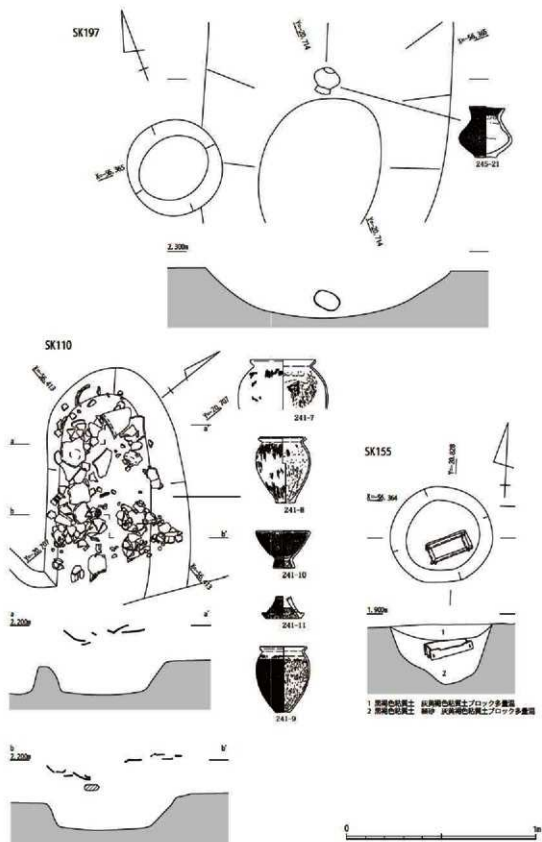
第203図 SK107実測図(縮尺1/20)

註

- 1 宇野隆夫 1982 「井戸考」[史林] 第65巻 第5号 史学研究会
- 2 鎌方正樹 2003 「ものが語る歴史8 井戸の考古学」 同成社

7 土坑・ピット

土坑 (SK) とピット (SP) の区分は、柱根の存在などから明らかに柱穴と判断されるもの、およびそれに類する形状・規模の遺構をピット、それより平面規模が大きい遺構で、埋葬施設 (SX) や井戸 (SE) を除いたものを土坑として記号番号を付した。したがって、規模については数値による基準がなく、客観的な区分にはなっていない。また、記号番号は基本的に遺物や柱根・礎板が出土したものに限りて与えた。そのなかで、本項では特記すべき遺物の出土状況を示す遺構についてのみ取り上げ、そのほかの主な遺構については一覧表 (第7・8表) の提示にとどめる。



第204図 SK110・155・197実測図(縮尺1/20)

SK107 (第203図) IV区B・C22グリッドに位置する。平面形が楕円形を呈する大型の土坑で、長軸2.3m、短軸1.8m、検出面からの深さ0.25mを測る。6世紀前葉に位置付けられる須恵器や土師器(第247図2～7)と共に多数の木製品が出土した。木製品のなかには鎌柄などの製品(第291図5、第296図1)も認められるが、大半は何らかの機能を付すような加工をもたない棒材・角材といったものである。長大な材が目立つほか、長さ30～50cm程に分断された断面扇形の材がまとまっている。

SK155 (第204図) IV区L25グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、直径約0.5m、深さ約0.3mを測る。下層に砂質土、上層に粘質土が堆積しており、砂質土の上部から組合式の箱(第294図)が出土した。

SK109 IV区Z・A20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、直径約0.8m、検出面からの深さ約0.1mを測る。検出面より上位で弥生時代前期の土器(第241図3～6)が多数出土した(図版第85)。

SK110 (第204図) IV区Z20グリッド、調査区東壁際で検出した。調査区外へ延びており、溝状になる可能性もある。検出面より上位で弥生時代中期後半の土器(第241図7～11)が多数出土した。

SK197 (第204図) IV区A25グリッド、方形周溝墓ST45の墳丘に位置し、北側を方形周溝墓ST29西溝に切られている。弥生時代前期の完形の壺(第245図21)が出土した。

8 溝・旧河道

溝・旧河道は遺物を出土したもので300条以上を検出した。SD番号を付したなかには、後に方形周溝墓の周溝と認め、欠番としたものもある。

以下には遺物出土状況図を示した溝のほか、集落域内を区画するなど、特に注目すべき溝および旧河道について記述する。そのほかの主な遺構については一覧表の記載にとどめた(第9表)。

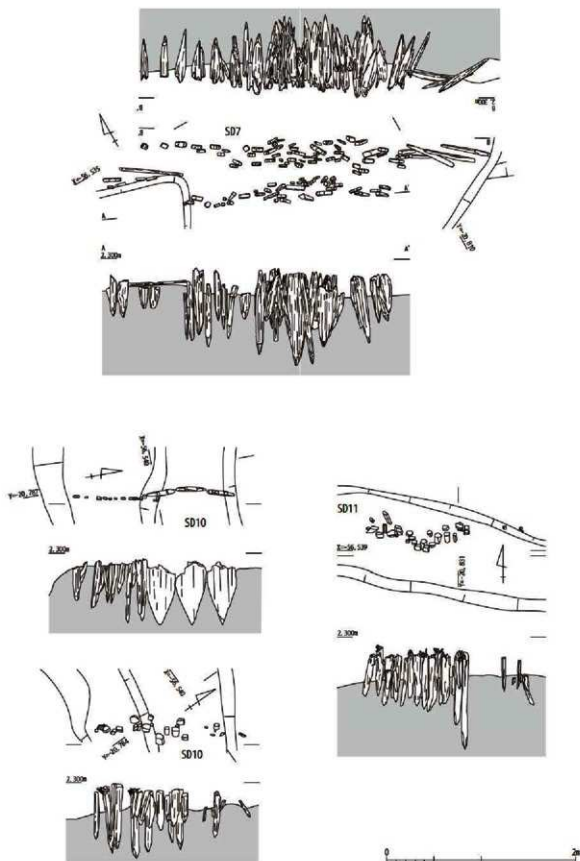
1) 溝

SD6～14・17・18・19・31 (第205・206図) I区H～L6～8、M8グリッドで検出した東西方向の溝群である。SD19は緩やかに蛇行しているが、そのほかの溝は直線的に並走する。切り合いからSD31→9・10・11→7→6・8およびSD12→13→19という新旧関係が捉えられる。埋土は主にシルトと砂からなり、下層ほど砂が粗い傾向にある。また、未分解の植物を多く含む。溝底の標高はおおむね東側が高いことから、西へ向かう水流があったと考えられる。SD7・10・11・19では多数の杭が列状に打ち込まれた箇所を検出した。SD7・11の杭列は溝に斜交するもので、SD7では2列の杭列が「ハ」字をなしている。一方、SD10・19の杭列は溝にはほぼ直交するもので、SD10では近接して2列検出した。なお、SD7の杭には年輪年代測定を行ったものがある(第5章第1節)。出土した土器(第250～254図)の多くは弥生時代後期～終末期に属す。そのほか、SD8で切目石鏃(第283図1)、SD11で尖頭器(第279図2)、建築部材(第301図13)、SD19で石鏃(第279図3)が出土した。

SD21・22 (第206図) I区J3・4、K3～5、L5・6、M7グリッドで検出した北西-南東方向に並走する溝である。いずれも直線的で、北西方向へ向かう水流があったと考えられる。SD21では数箇所の杭列を検出した。出土した土器(第254図1～13)の多くは弥生時代後期に属す。

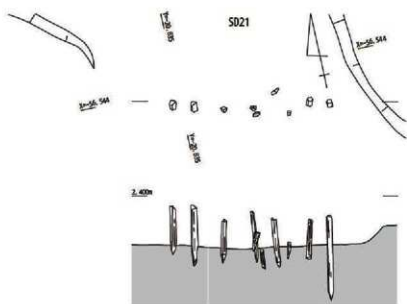
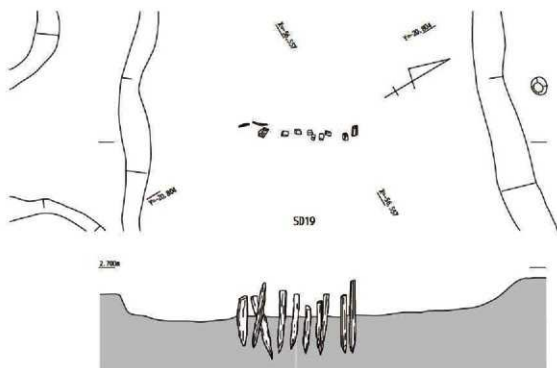
SD43 (第207図) I区K2グリッドに位置する。平面形が「へ」字状をなす短い溝である。古墳時代前期の壺(第254図23)がその場で潰れたような状態で出土した。

SD75 II・IV・V・VII区で検出した総延長160m以上におよぶ溝である。V区からII区にかけては北西へ延び、F12・13グリッドで緩やかにカーブして北北東に進路を変える。その進路は墓城の西端および周溝建物SH1～4の分布範囲の南端を画している。溝幅は最大で約1.0m、同じく深さ約0.3mを測る。

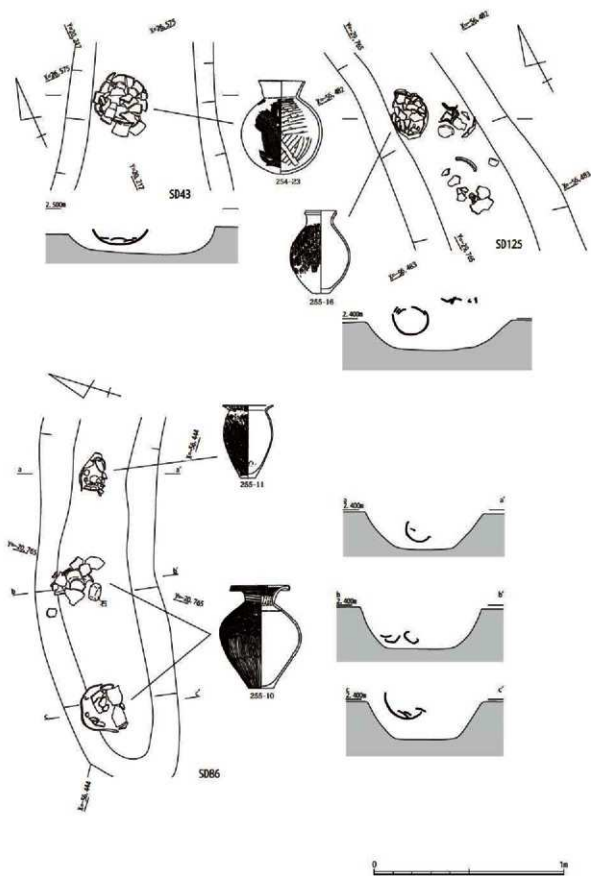


第205図 SD7・10・11坑列実測図(縮尺1/40)

第1節 遺構



第206図 SD19・21杭列実測図(縮尺1/40)



第207図 SD43・86・125遺物出土状況図(縮尺1/20)

遺物は主に弥生時代後期の土器（第255図1～6）が出土した。F12グリッドで平面図上SD2と合流しているが、併存したものか新旧関係にあるのかは不明である。一方、H18グリッドで合流するSD79とは、切り合い関係からSD79がSD75に先行すると判断できる。なお、SD79は方形周溝墓ST3・4・7のいずれにも切られている。

SD86（第207図）Ⅱ区F17グリッド、方形周溝墓ST9の西に近接して位置する東西方向の溝である。長さ約2.7m、最大幅約0.7m、最深約0.2mを測る。ほぼ完形になる弥生時代中期後葉の土器（第255図9～11）が出土している。

SD125（第207図）Ⅱ区F13グリッド、方形周溝墓ST3の墳丘に位置する南北方向の溝である。長さ約3m、最大幅約0.8m、最深約0.15mを測る。南端はST3南溝につながるが、新旧関係はその有無も含め不明である。弥生時代中期後葉の壺（第255図16）が出土した。

SD166 Ⅲ区L・M25グリッドに位置するL字状の溝である。東西約16m、南北約7m、最大幅約0.7m、最深約0.2mを測る。北方に位置する南北方向の溝SD165も一連の溝の可能性はある。弥生時代後期の土器（第256図5～7）と板・棒材、木片が多数出土した。

SD168・170・363・364（第210図）Ⅲ・Ⅶ区L28・29グリッドに位置するコ字状の配置となる溝である。掘立柱建物SB16を区画する溝、あるいは建物の構造自体に関連する遺構の可能性はある。東西方向に延びるSD168は長さ約6.7m、最大幅約0.7m、最深約0.3mを測る。弥生時代後期の土器（第256図8）と板・棒材、木片が多数出土した。これに並行するSD363・364は長さ約6.9m、最大幅約0.7m、最深約0.15mを測る。同じく弥生時代後期の土器（第266図13～16）と板・棒材、木片が多数出土した。南北方向の溝SD170は長さ約4m、最大幅約0.37m、最深約0.1mを測る。遺物は土器の細片が出土したにとどまる。

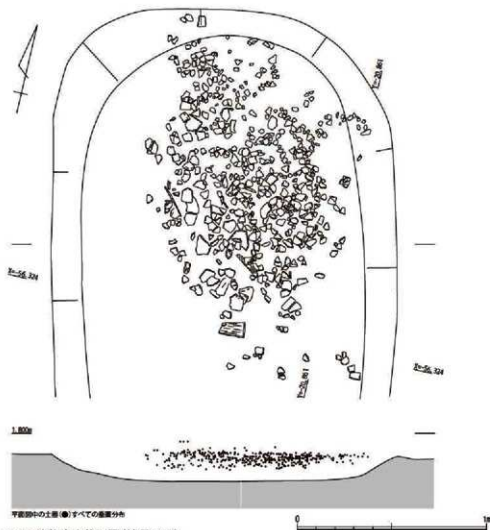
SD179～188（第208図）Ⅲ区西端で検出した南北方向に延びる溝群である。この溝群より西側は、基盤層の上部が砂礫となり、遺構はほとんど認められなくなる。土層断面の観察からSD181→185→180、SD183→185、SD187→180という新旧関係が捉えられる。いずれも検出面からの深さ0.1m以下と浅く、埋土は粗砂で細礫を多く含む。また、SD179・185・186では杭列を検出した。出土土器は弥生時代後期に属し（第256図9～19）、SD186では小破片が集積した箇所を検出した。

SD205 Ⅳ区東端を南北方向に走る溝である。調査した範囲において、おおよそ墓域の東端を画している。方形周溝墓ST44・54とは切り合い関係があり、ST44には切られている。ST54との新旧関係は確認できなかった。また、ST26とも切り合う可能性があるが、いずれも後出の溝SD210に切られて判断できない。出土土器は弥生時代中期後葉に位置付けられる（第257図5）。

2) 旧河道

I区南端落ち込み I区K～N1～3グリッドで検出した。試掘調査の成果によれば、幅約30m、深さ1m以上を測り、北西方向に延びると考えられる。本調査の範囲では多数の杭や板材（第301図12）が出土した。埋土は粘質土を基調としており、水流があったとしても非常に弱いものであった可能性が高い。むしろ長期間にわたって湿地的な様相を呈していたと考えられる。土器の出土はなく時期は不明だが、落ち込み北側の遺構密度が低いことから、当初より集落域の南限であった可能性が高い。

SD256 Ⅵ区A～E26～28・Z26グリッドで検出した。試掘調査によれば、その落ち込みは確認された限り北方へ広がり、北川に達する。Ⅵ区の調査範囲では落ち込みの肩の部分を検出し、方形周溝墓群を切っていることが明らかとなった。遺物はほとんど認められず、わずかながら中世以降と考えられる

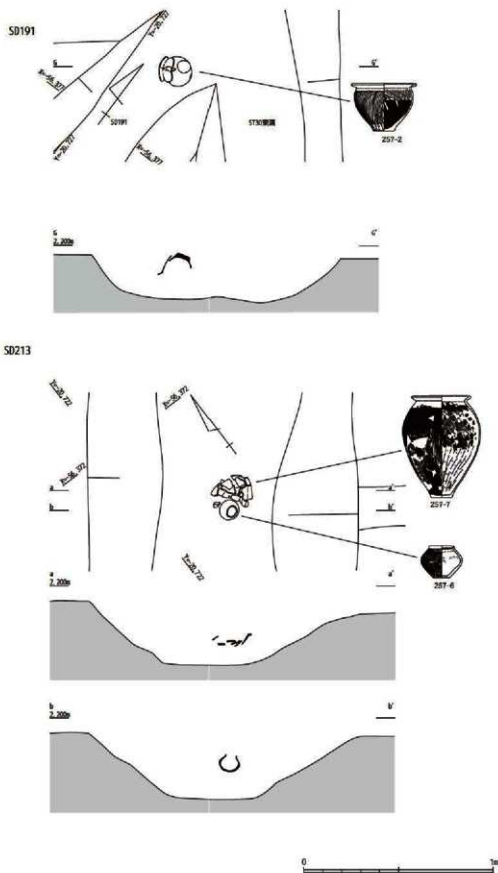


第208図 SD186遺物出土状況図(縮尺1/20)

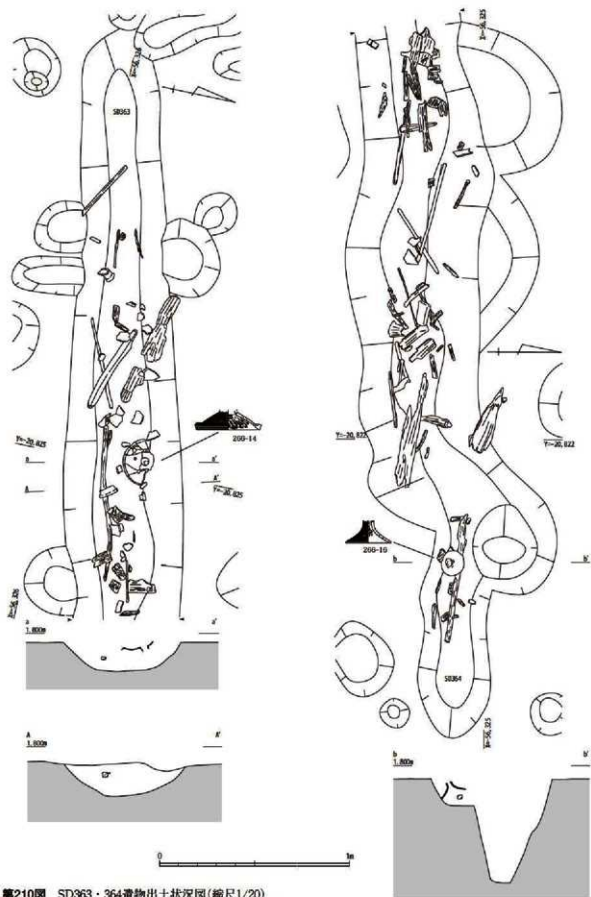
遺物(第308図11)が検出面付近で出土している。以上のことから、弥生時代の墓域はより北方へ展開しており、後世に河川(北川)の影響で削られたと考えられる。Ⅰ区南端落ち込みと同様に埋土は主に粘質土で、長期間にわたって湿地の様相を呈していたと推測される。

SD324(第211~213図)Ⅵ・Ⅸ区G31、H31・32、I32グリッド、方形周溝墓ST62、周溝建物SH5~9の北方を北西方向に流れていたとみられる旧河道である。埋土は砂質土と粘質土の互層をなしており、断続的な水流の痕跡を示している。SH8の北端付近から延びる南北方向の溝SD336を切っており、その交点で枕に挟まれ固定された長さ約1.6mの板を検出した。SD324の護岸を目的として設置されたと考えられる。土層断面図では4~13層がSD324の埋土であり、粘質土直下の砂層(6・7層)を中心に弥生時代後期を主体とする土器(第260~265図)が大量に出土した。また、木製遺物も多く出土し、木包丁(第291図4)や火鑽臼(第292図3)、刀形木製品(第295図5)、大型の部材(第299図1~4)などがみられる。さらに、SD336との交点付近では、土器に混じって巴形銅器(第289図1)が出土した。遺物は全般的にⅥ区とⅨ区の境を前後する旧河道の肩に沿って集中し、これらは弥生後期に属すると考えられる。一方、Ⅸ区の中央付近になると遺物は極端に少なくなる。唯一弥生時代中期に位置付けられる土器(第260図12)はその一帯で検出したものである。

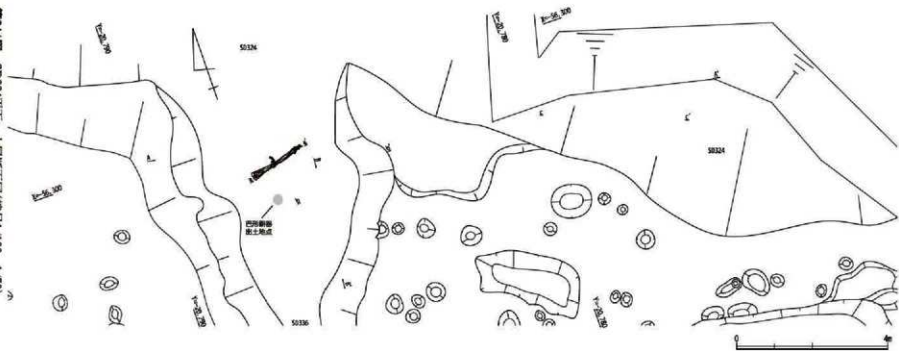
第1節 遺構



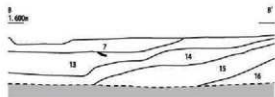
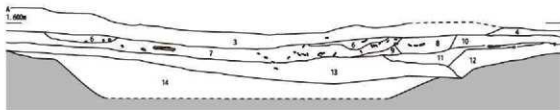
第209図 SD191・213遺物出土状況図(縮尺1/20)



第210図 SD363・364遺物出土状況図(縮尺1/20)

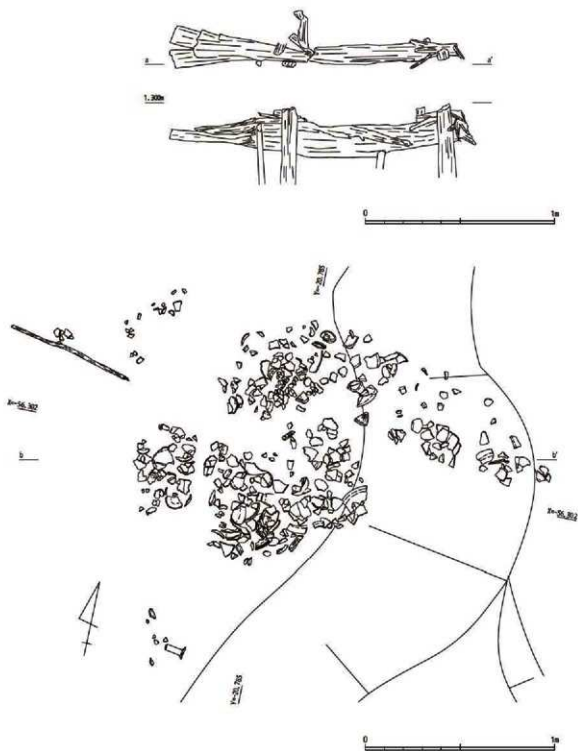


第211図 SD324平面・土層断面図(縮尺1/100・1/50)

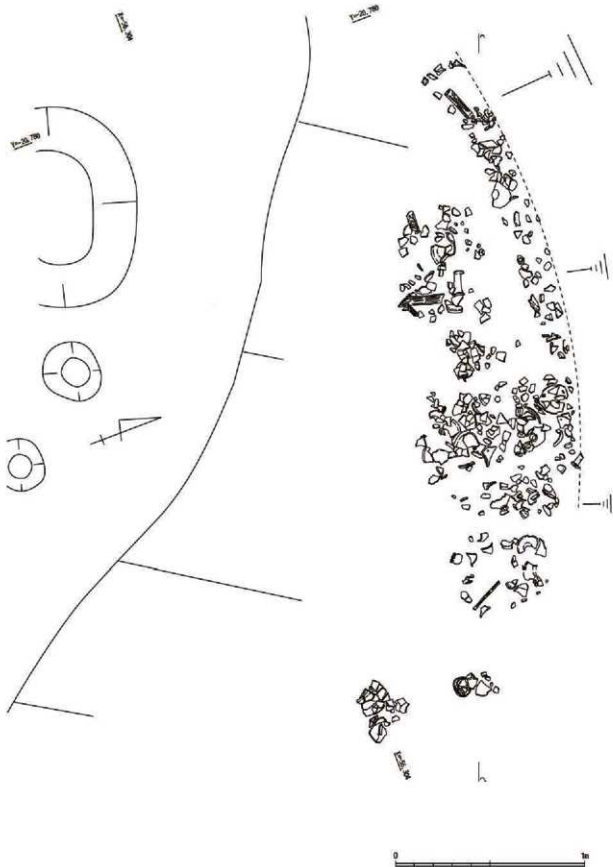


- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 黒褐色粘質土 | 9 黒褐色粘質土 礫砂 |
| 2 灰褐色粘質土 炭化物多量混 | 10 黒褐色粘質土 礫砂混 |
| 3 灰褐色粘質土 | 11 緑灰色砂質土 礫-中砂 |
| 4 黒褐色粘質土 炭化物多量混 | 12 緑灰色砂質土 礫砂 |
| 5 黒褐色粘質土 炭化物多量混 | 13 黒褐色粘質土 礫砂混 |
| 6 緑灰色粘質土 礫砂 | 14 緑褐色粘土 礫砂混 |
| 7 緑褐色粘質土 礫砂 黒褐色粘質土混 | 15 黒褐色粘質土 砂質 |
| 8 黒褐色粘質土 黄灰色粘土ブロック混 | 16 黒褐色粘質土 砂・炭化物土ブロック混 |





第212図 SD324護岸板・遺物出土状況実測図(縮尺1/20)



第213図 SD324遺物出土状況図(縮尺1/20)

第2表 方形周溝墓一覧

邦号	調査区	グリッド	周溝形状	墳丘長		周溝規模 [最大×最大幅×傾斜]				単位 ^m
				長軸	短軸	東	南	西	北	
ST1	II	C-015-16	全周	13.1	12.4	13.9~×2.2×0.4	11.8×2.0×0.2	12.3~×2.4×0.5	12.9×1.9×0.4	
ST2	II	F14.0-B13-14	四隅切丸	12.6	9.2	14.0~×2.5×0.5	9.4~×1.2×0.4	5.5~×1.4×0.4	10.0~×2.0×0.4	
ST3	II	F-013-14	四隅切丸	12.4	9.9	11.9×2.0×0.5	12.7×1.8×0.5	8.7×2.2~×0.4	8.4~×1.7×0.4	
ST4	II	E15.F14-15.G15	四隅切丸	10.6	8.9	7.1~×1.9×0.4	5.6~×0.9×0.2	6.2~×1.8×0.2	6.2~×1.8×0.2	
ST5	II	D16.E16~17	四隅切丸	12.8	9.8	16.1×2.1×0.5	11.6×1.9×0.6	8.1×1.9×0.4	8.3×2.0×0.4	
ST6	II	C-019-20	四隅切丸	9.6	8.7	8.2×1.9~×0.4	7.5×0.9×0.3	6.9×1.1×0.3	6.9×2.0×0.4	
ST7	II	F-015-16	四隅切丸?	8.8~	7.7	8.9~×1.3×0.3		4.7~×1.1×0.3	4.7×1.0×1.1	
ST8	II	F-019-19	四隅切丸	9.8	7.4	7.1×1.5×0.3	6.9×0.9×0.1	6.2×1.1×0.3	6.5~×0.9×0.3	
ST9	II	F-017-18	四隅切丸	11.5	10.6	10.1×1.8×0.4	10.8×1.8×0.4	11.8×1.8×0.4	8.7×1.8~×0.4	
ST11	II	F-019-20	四隅切丸	11.5	8.6	5.0~×1.9×0.3	8.7~×2.1×0.5	9.4~×2.0~×0.3	10.4×2.2~×0.6	
ST12	II	F-018-19	一隅切丸	9.0	7.3	6.0×0.9×0.1	8.9~×0.8~×0.3	5.6~×1.2×0.2	9.3×1.3~×0.2	
ST13	II	C-019-19	一隅切丸	10.1	7.4~	7.7~×1.6×0.5	6.7×1.2×0.6	10.9~×2.0×0.4		
ST14	II	C-017-18	一隅切丸	7.8	6.7	7.1×1.2~×0.3	8.0~×0.9×0.1	5.9×1.4×0.2	8.8~×1.3×0.2	
ST15	II	D17.C16~18	三隅切丸	10.4	7.1	8.9~×1.8×0.5	9.2×1.9×0.5	5.6×1.0×0.3	6.1×1.0×0.4	
ST16	II	C-015-16	二一隅切丸				11.4×4.2×0.2		6.2~×1.9×0.2	
ST17	III-IV	B-C18~20	一隅切丸?	12.5	8.6	12.7×1.8×0.3	6.3~×2.7×0.5	8.7~×0.9~×0.3	7.4×2.1×0.3	
ST18	II	F-012-13	一隅切丸	8.5	7.1	6.0~×1.9×0.3	6.7~×1.4×0.3	9.8×1.3×0.3	7×1×0.3	
ST19	III-V	F-019-20	二一隅切丸	—	7.3	5.0~×1.3×0.4	4.9~×1.0×0.2	7.8×0.8~×0.7	4.2~×0.8~×0.2	
ST20	II	C-018-19	二隅切丸	7.1	6.4	4.5×0.8×0.2	7.0×0.7×0.2	2.8~×0.7×0.7	3.1×0.8×0.1	
ST21	IV	A-019-20	二隅切丸	9.2	8.7	6.9~×1.5×0.3	7.3~×1.7×0.3	8.0~×1.2~×0.2	8.4~×1.3~×0.5	
ST22	IV	A-020~22	三隅切丸	13.8	11.4	13.8×2.3×0.5	12.7~×2.7×0.6	11.1×2.1×0.5	9.3×2.0×0.5	
ST23	IV	A-022	一隅切丸	6.9	6.3	4.6~×1.2×0.2	6.6×1.3×0.4	7.2~×1.6×0.5	5.4×1.1×0.5	
ST24	IV	C-022-23	全周	7.3	5.7	7.6~×1.3×0.4	6.3×0.5×0.2	5.3~×0.5×0.1	5.4~×0.9~×0.2	
ST25	IV	A22-23	三隅切丸	8.3	7.8	2.3~×1.6×0.2	4.4×1.0×0.3	3.9×1.0×0.3	4.6×1.6×0.4	
ST26	IV	F-A23	三隅切丸	7.9	6.0	6.3~×1.4×0.3	7.5×1.4×0.4	4.8~×1.3×0.3	1.6~×0.8~×0.3	
ST27	IV	A-023-25	三一隅切丸	11.4	9.1	8.1×1.4×0.3	6.5~×1.2×0.2	3.7~×1.6~×0.3	2.2~×1.9×0.1	
ST28	IV	A-023-24	全周	8.1	7.5	7.9~×0.9×0.2	4.7~×1.5×0.3	7.0~×2.1×0.4	7.8~×1.0×0.3	
ST29	IV-V	F-A25	四隅切丸?	9.1	7.3	8.0~×1.3×0.4	6.3~×2.3~×0.6	6.6~×2.2×0.5	3.0~×1.5×0.3	
ST30	IV	C-023-24	一隅切丸?	8.9	8.5	7.2×0.8×0.2	6.0~×1.8×0.3	7.7×1.4×0.3	6.9~×1.4×0.2	
ST31	IV	A25.B-C25-26	全周一隅切丸	10.1	8.3	6.7~×0.9×0.2	9.9×1.3×0.4	9.6×1.5×0.3	4.6~×1.9×0.2	
ST32	IV-V	F-019-21	二隅切丸	11.1	8.8	9.0×2.3×0.4	10.0×1.8~×0.3	8.1×0.9×0.3	7.8×2.0×0.5	
ST33	IV	C-020~22	三隅切丸	14.2	10.0	13.9×1.7×0.3	11.4×2.1×0.3	9.8×1.5×0.4	8.7×1.5×0.2	
ST34	IV	C-022	不定形	5.8		4.5×0.8×0.2		4.0~×0.9×0.3	5.0×1.1×0.3	
ST35	IV	C-023-24	四隅切丸	11.5	10.4	7.8×1.9×0.3	5.8×1.7×0.3	3.4×2.8~×0.4	6.5~×3.9×0.4	
ST36	IV	B25.C24~26	三隅切丸	9.4	8.1	7.8×1.4×0.3	3.6×0.5×0.1	7.7×1.7×0.2	5.1~×0.7×0.2	
ST37	IV	F-025~27	二一隅切丸	12.5~	10.8	9.8~×1.3×0.3	10.6~×2.7×0.5	9.4×0.8~×0.4	2.7~×1.7~×0.5	
ST38	IV	E26-27	全周?	7.5	6.7~	1.8~×0.9×0.3	6.4~×1.4×0.3	5.3~×1.2~×0.2	1.7~×0.9×0.2	
ST39	IV	F-026-27	二隅切丸 全周?	7.1	5.9	6.9×1.4×0.2	3.4~×0.9×0.3	4.8×0.7×0.2	7.6~×0.8×0.3	
ST40	IV	F-024-25	二隅切丸	11.9	11.7	10.7×2.3×0.2	9.6×1.3~×0.3	11.6~×1.6×0.4	9.6×2.2~×0.4	
ST41	IV	F-024	二隅切丸	7.0	6.3~		8.3~×0.8×0.3	4.0~×0.3×0.2	5.0×0.8×0.2	
ST42	IV	F-023-24	二一隅切丸	8.4	8.6	6.1×0.6×0.2	4.8~×1.4×0.3	5.3~×1.3×0.4	4.6~×1.1×0.2	
ST43	IV	F-026-27	四隅切丸	5.3	3.9	2.4~×0.7×0.3	3.2×0.8×0.1	2.2×0.6×0.2	2.1~×0.8×0.2	
ST44	IV	E24-25	全周	7.5	6.3~	8.8×0.8~×0.2		5.1~×0.9×0.1	5.2~×0.6×0.3	
ST45	IV	A25	二隅切丸	7.2	6.1	4.4~×0.8×0.1	4.1~×0.9×0.3	4.7~×1.3×0.3	4.8~×1.6×0.4	
ST46	IV	F-022-24	全周	13.2	10.2	14.0~×2.2×0.4	9.5~×2.0×0.4	10.0~×2.3~×0.4	8.5~×2.1×0.4	
ST47	IV	F-022-23	全周一隅切丸	11.7	10.6~	9.0~×1.2×0.3	6.6~×0.8×0.1	2.1~×0.6~×0.09	10.3~×2.1×0.3	
ST48	IV	E22	二隅切丸	8.7	8.1	5.4×0.8×0.2	5.3~×0.7~×0.2	7.1~×1.0×0.2	7.4×1.1×0.3	
ST49	IV	F-022	四隅切丸	5.9~	5.0	4.5×1.4×0.26	5.1×0.9×0.26	3.3×1.49×0.34		
ST50	IV	F-021~23	二隅切丸	13.3~	12.0~	15.0×2.2~×0.2	13.4×0.9×0.2	13.7×1.8~×0.2	13.0~×2.8~×0.3	
ST52	IV	F-021-22	三隅切丸	7.9~	6.3	6.0×2.2×0.4	6.4×1.2×0.3	2.3~×1.2~×0.2	2.5~×1.3×0.24	
ST53	IV	F-021-22	四隅切丸	4.2~		3.6×0.7×0.25	3.4×1.0×0.37		3.0×1.3~×0.4	
ST54	IV	F-A22	四隅切丸	6.3	5.6	5.3~×1.4×0.2	4.0×1.4×0.3	2.5~×1.3×0.2	6.5×1.8×0.3	
ST55	IV	E24-25.P25	四隅切丸	9.0	7.9	7.2×1.3×0.4	6.4×2.6×0.4	6.3×1.6~×0.4	6.6×1.4×0.3	
ST57	IV	F-022	四隅切丸	5.9		4.5×1.4×0.26		3.6~×0.8×0.39	2.7~×0.8×0.2	
ST58	IV-V	F-020	二一隅切丸	7.0~	6.7	4.3~×0.5×0.1	4.7×1.4×0.6	5.0~×0.4~×0.2	5.2×1.7×0.3	
ST59	III-IV	F-020-21	二隅切丸	10.9	10.5	9.0~×0.7×0.2	5.0×1.1×0.1	9.2×1.0~×0.2	7.1×1.1×0.2	
ST60	IV	F-022-23	二隅切丸	11.1~	9.8	11.3×1.2~×0.5	5.2~×1.3×0.3	11.7~×2.0×0.5	11.2×0.9×0.4	
ST61	IV	A-022-23	四隅切丸	5.3	3.8~	2.6~×1.1×0.3	3.6×1.5×0.3	4.0×0.5~×0.3	3.5×0.9×0.4	
ST62	V	C-020-31	一隅切丸	11.2	9.0	16.6×1.6×0.4	10.0×1.9×0.3	13.3×2.1×0.5	11.4×2.0×0.4	

第1節 遺構

単位:m (a)

各周溝の底面標高値				竣工 深積	埋藏施設 (検出数)	切り合い関係 〔古→新〕	時期 〔～は可能性のある範囲〕	備考	押戻
東	西	南	北						
2.11	2.05	2.04	2.12	150.7	8		弥生後期中葉		第25～32区
2.01	2.14	2.14	2.19	117.3	2	S79-S72	弥生中期後葉	南境出土土器は弥生終末期～古墳前期	第33～35区
1.85	2.06	2.06	2.14	118.4	2	S74・15-S73-S72	弥生中期後葉	北境内に水堀を有す埋藏施設	第36～38区
2.02	2.24	2.06	91.1～	0	S74-S73・7		弥生中期後葉		第39区
1.82	1.84	1.85	1.88	117.0	3		弥生中期後葉	有線石	第40～43区
1.94	1.94	1.90	1.82	72.5	1	S79-S76-S720	弥生中期後葉		第44・45区
2.20		2.24	2.32	65.6	1	S74-S77	弥生後期中葉?		第46・47区
2.22	2.12	2.10	2.04	70.3	4		弥生中期後葉		第48～50区
1.90	2.02	2.04	1.94	113.0	1	S79-S712	弥生中期後葉		第51～63区
2.00	2.10	1.95	2.00	92.7～	0	S711-S712・13	～弥生中期後葉		第54・55区
2.14	2.06	2.12	2.15	61.3	0	S79・11-S712	弥生中期後葉～		第56区
1.80	1.78	1.80		73.4～	1	S711-S712-S7117	弥生中期後葉	周溝内掘削	第57～59区
2.08	2.15	2.12	2.12	47.6	0	S713-S714	弥生中期後葉		第60区
1.76	1.82	1.90	1.90	73.9	0	S715-S714	弥生中期後葉		第61区
	1.98		1.88		0		弥生中期後葉	墓割の大部分調査区外	第62区
1.75	1.86	1.94	1.88	97.4～	1	S711-S713-S7117	弥生中期後葉		第63～66区
2.10	2.20	2.20	2.10	85.1	0	S718-S73	弥生中期後葉		第67・68区
2.08	2.04		2.10	40.9～	0	S708-S719	弥生中期後葉～		第69・70区
2.10	2.08		2.00	42.8	0		弥生中期後葉?		第71区
1.92	1.95	1.94	1.70	72.5	1	S722-S721-S717	弥生中期後葉		第72・73区
1.54	1.60	1.65	1.65	151.1	7	S722-S721・25	弥生中期後葉	西縁埋土に竊居構	第74～77区
1.96	1.90	1.72	1.96	36.9	0	S722・60-S723	弥生中期後葉	南縁埋土に竊居構	第78・79区
1.82	2.06	2.12	2.12	39.1	0	S760-S724	弥生終末期	北縁埋土に竊居構	第80・81区
1.90	1.88	1.82	1.90	47.2～	0	S725-S728・61	～弥生後期		第82区
1.70	1.75	1.80	2.00	38.9～	1	S729-S728-S727	弥生中期後葉		第83・84区
1.82	2.06	1.90	2.02	87.0～	0	S726-S727-S728・29	弥生中期後葉～後葉		第85区
2.04	1.92	1.90	1.94	52.6	0	S727-S728	弥生後期中葉	竊居石岸	第86・87区
1.74	1.54	2.00	1.80	56.4	1	S744-S729	弥生中期後葉～後葉	東境とS221の関連不明	第88～90区
1.96	1.90	1.94	1.98	89.2	0	S760-S730-S735	弥生中期後葉～弥生終末期		第91区
1.90	1.90	1.90	1.88	83.8～	0	S730・45-S731	弥生中期後葉?		第92区
1.88	1.96	2.08	1.82	95.1	0	S732-S733	弥生中期後葉		第93・94区
1.94	2.06	1.90	2.04	142.3	2	S732-S733-S734	弥生中期後葉		第95～96区
2.19		2.05	2.04	25.3～	0	S733-S734	弥生中期後葉		第99区
1.96	2.00	2.10	1.96	112.1	0	S730・60-S735	弥生中期後葉～終末期		第100・101区
2.00	2.20	2.10	2.05	71.4	0	S738-S731			第102区
1.80	1.62	1.80	1.50	136.3～	0	S738-S737-S740・55	弥生後期～?		第103・104区
1.90	1.80	1.86	1.76	34.5～	0	S738-S737	弥生後期		第105区
1.90	1.80	1.90	1.85	39.2	0	S743-S739	弥生後期中葉		第106区
2.04	1.80	1.96	1.70	127.2	0	S741・42-S740	弥生後期?		第107区
	1.90	2.00	2.06	39.6～	2	S741-S740			第108区
2.20	1.85	2.12	2.00	52.9～	0	S742-S740・40・47	弥生中期中葉?		第109区
1.92	1.92	1.90	1.80	19.3～	0	S743-S739	弥生中期中葉		第110区
1.90		1.95	1.85	35.7	0	S727-S744			第111区
2.08	1.96	1.80	1.78	38.4	0	S745-S731	弥生中期後葉		第112・113区
1.80	1.74	1.75	1.76	126.5	1	S745-S746-S747・48・50	弥生中期中葉?	SOCSに切られる	第114・115区
1.96	2.04	2.01	1.98	117.3～	0	S742・46・48・50-S747	弥生終末期		第116・117区
2.10	1.98	2.10	1.98	63.9～	0	S746-S748-S747	弥生中期後葉～終末期		第118区
1.94	1.82	1.81		26.3～	0	S753-S749			第119・120区
2.20	1.80	1.94	1.80	173.7	1	S748・49・52-S750-S747	弥生後期	周溝内掘削 埋藏施設は周溝内	第119～121区
1.80	1.90	2.00	2.04	45.1～	0	S752-S750	弥生中葉		第122区
1.94	1.82		1.80	16.5～	0	S753-S749			第119・120区
1.70	1.76	1.75	1.66	34.4～	0		弥生中期後葉		第123～125区
1.82	1.80	1.70	1.80	69.4	0	S757-S755			第126区
1.83		1.90	1.92	13.5～	0	S749-S757		切り合いの前後関係不明	第119・120区
2.40	2.00	2.26	2.04	45.4～	0	S711-S758-S719	弥生中期中～後葉		第127・128区
2.10	1.90	2.00	2.04	99.0	0	S759-S76	～弥生中期後葉		第129区
1.70	2.02	1.88	1.80	100.9～	3	S760-S724・30・35	弥生中期後葉		第130～132区
1.90	1.95	2.00	1.95	26.0～	0	S723-S761	弥生後期中葉		第133区
1.42	1.50	1.42	1.46	98.7	0		弥生中期中葉		第134～136区

第3表 埋葬施設一覧

単位:m

記号	調査区	グッド	種類	規模横 [長×幅]	規模縦 [長×幅×高]	底面傾斜	長軸方位	備考	層位	
S11	Ⅱ	B15	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.41×0.9, 77×0.19	2.33	N72°	第2埋葬施設に切られる	第26 - 209B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	1.81×1.06×0.22	2.34	N14°	—	第26 - 209B
			第3埋葬施設	土坑墓	—	1.76×0.80×0.18	2.33	N81°	第2埋葬施設と並列	第26 - 211B
			第4埋葬施設	土坑墓	—	2.44×1.68×0.11	2.39	N81°	石製管玉・勾玉出土	第26 - 211B
			第5埋葬施設	土坑墓	—	2.28×1.04×0.16	2.32	N66°	転葬埋葬施設に切られる 小口穴?	第26 - 209B
S12	Ⅱ	G13-14	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.53×0.72×0.06	2.36	N66°	第2埋葬施設を切る	第26 - 209B
			第2埋葬施設	木棺墓?	—	2.82×1.74×0.20	2.15	N75°	—	第26 - 209B
			第3埋葬施設	土坑墓	—	1.82×1.16×0.18	2.35	N62°	葬生中期墓の土層出土	第26 - 209B
			第4埋葬施設	土坑墓	—	2.12×1.38×0.06	2.46	N55°	S23Cに切られる	第33 - 240B
			第5埋葬施設	木棺墓	2.70×0.80 内径1.70×0.53	2.44×1.92×0.84	1.96	N75°	北溝内 漆板・銅板・小口板・蓋板	第33 - 240B
S13	Ⅱ	F14	第1埋葬施設	土坑墓	—	3.00×1.50×0.12	2.35	N81°	第2埋葬施設と並列	第36 - 268B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.94×1.28×0.10	2.31	N79°	第2埋葬施設と並列	第36 - 268B
S15	Ⅱ	E15-16	第1埋葬施設	木棺墓	2.66×0.66 内径1.82×0.53	3.62×1.84×0.21	2.06	N56°	漆板・銅板・小口板出土	第40 - 438B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.20×1.29×0.14	2.20	N19°	—	第40 - 438B
S16	Ⅱ	E16	第1埋葬施設	土坑墓	—	2.03×0.69×0.16	2.14	N27°	—	第40 - 438B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	1.11×0.82×0.08	2.13	N22°	—	第44 - 458B
S17	Ⅱ	F16	第1埋葬施設	土坑墓	—	2.66×1.00×0.09	2.47	N41°	—	第46 - 478B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.88×1.10×0.11	2.31	N72°	—	第46 - 485B
S18	Ⅱ	G18	第1埋葬施設	土坑墓	—	2.10×0.86×0.20	2.07	N72°	—	第46 - 608B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	1.06×0.68×0.06	2.27	N71°	—	第46 - 608B
			第3埋葬施設	土坑墓	—	1.56×0.86×0.06	2.34	N84°	—	第46 - 608B
			第4埋葬施設	木棺墓?	(2.29×0.72)	2.90×1.36×0.20	2.21	N68°	棺材の可能性ある木片出土	第51 - 608B
S113	Ⅱ	C19	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.95×0.45×0.16	2.18	N75°	北半輪出できず	第57 - 668B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	3.80×1.56×0.20	1.78	N70°	南辺を覆瓦に切られる	第57 - 668B
S121	Ⅳ	B20	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.84×0.80×0.12	2.09	N63°	—	第72 - 738B
			第2埋葬施設	木棺墓	—	1.68×1.24×0.06	2.07	N31°	第2埋葬施設に切られる 漆板	第74 - 768B
S122	Ⅳ	A21	第1埋葬施設	土坑墓	—	2.14×1.30×0.24	1.89	N64°	第1埋葬施設を切る	第74 - 768B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.29×1.73×0.35	1.78	N73°	—	第74 - 778B
			第3埋葬施設	土坑墓	—	1.96×1.28×0.21	1.99	N52°	—	第74 - 778B
			第4埋葬施設	土坑墓	—	2.19×1.56×0.26	1.82	N74°	—	第74 - 778B
			第5埋葬施設	土坑墓	—	1.92×1.42×0.31	1.80	N71°	—	第74 - 778B
S126	Ⅳ	E21	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.76×0.84×0.08	2.07	N82°	—	第74 - 778B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.00×1.00×0.20	1.88	N88°	—	第83 - 848B
S129	Ⅳ	E28	第1埋葬施設	土坑墓	—	2.30×0.86×0.20	1.98	N68°	—	第88 - 908B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.12×0.96×0.15	2.12	N83°	—	第96 - 968B
S131	Ⅳ	B21	第1埋葬施設	土坑墓	—	2.28×1.06×0.10	2.10	N53°	—	第96 - 968B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	1.53×0.79×0.13	2.05	N4°	—	第108B
S141	Ⅳ	E24	第1埋葬施設	土坑墓	—	0.62×0.75×0.07	2.04	N77°	—	第110B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	1.78×1.20×0.09	2.04	N69°	—	第114 - 115B
S146	Ⅳ	E21	第1埋葬施設	木棺墓?	2.24×0.51	2.78×1.97×0.25	1.94	N69°	南溝内 漆板出土	第119 - 121B
			第2埋葬施設	木棺墓?	—	2.20×1.20×0.18	2.04	N66°	第2埋葬施設を切る 小口穴?	第120 - 122B
S160	Ⅳ	C23	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.68×0.89×0.35	1.87	N70°	—	第120 - 122B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	1.62×0.79×0.20	1.98	N22°	—	第120 - 122B
S31	Ⅱ	G17-18	第1埋葬施設	土坑墓	—	1.89×1.31×0.29	2.28	N6°	—	第129B
			第2埋葬施設	土坑墓	—	2.24×0.94×0.15	2.29	N69°	—	第129B
S33	Ⅱ	H7-18	木棺墓	1.98×0.64	2.32×1.29×0.24	2.22	N36°	漆板・銅板・蓋板出土	第129B	
S34	Ⅱ	F-G19	土坑墓	—	1.86×1.69×0.11	2.28	N77°	—	第140B	
S35	Ⅱ	F19	木棺墓?	(2.00×0.46)	2.69×1.45×0.24	2.13	N62°	石臼出土	第141B	
S36	Ⅱ	F19	土坑墓	—	1.62×0.84×0.12	2.33	N49°	—	第140B	
S37	Ⅱ	F19	木棺墓?	(1.24×0.72)	1.57×1.01×0.29	2.34	N70°	ガラス小玉 赤生後周土器(蓋 罐内飯粒土器供養)	第140B	
S38	Ⅱ	F12	木棺墓	1.58×0.36 内径0.18×0××	1.81×0.65×0.09	2.34	N48°	漆板・銅板・小口板・蓋板出土	第141B	
S39	Ⅱ	G12	土坑墓	—	2.01×0.87×0.11	2.08	N75°	—	第142B	
S310	Ⅱ	E18	土坑墓	—	0.76×1.08×0.18	2.40	O66°	西半輪出できず	第142B	
S311	Ⅱ	F12	土坑墓	—	1.45×0.91×0.24	2.01	N11°	—	第142B	
S327	Ⅳ・Ⅴ	A-B19	土坑墓	—	2.66×1.49×0.36	2.05	N28°	赤生前期の土器、石鏡出土	第143B	
S328	Ⅳ	A19	土坑墓	—	1.75×0.90×0.15	1.90	N49°	S23Cに切られる	第143B	
S329	Ⅳ	A19	土坑墓	—	1.67×0.92×0.21	1.84	N54°	S23Bを切る 赤生前・中間の土 器、石鏡が出土	第143B	
S330	Ⅳ	C24	土坑墓	—	1.62×0.86×0.23	1.96	N15°	—	第143B	
S334	Ⅳ	F27	土坑墓	—	1.59×0.81×0.15	1.90	N42°	—	第143B	
S335	Ⅳ	F27	木棺墓	(1.41×0.67)	1.81×1.09×0.10	1.90	N70°	漆板と考えられる板材出土	第143B	
S337	Ⅳ	F26	土坑墓	—	2.01×1.05×0.13	1.88	N21°	—	第144B	
S338	Ⅳ	F-G24	土坑墓	—	1.71×0.82×0.24	1.88	N66°	—	第144B	
S339	Ⅳ	F24	土坑墓	—	1.26×0.80×0.10	2.02	N11°	—	第144B	
S350	Ⅳ	F29	土坑墓	—	1.80×0.39×0.11	2.42	N70°	北半輪出できず	第144B	
S353	Ⅳ	C18	土坑墓	—	1.74×0.85×0.17	2.08	N85°	赤生前期の土層出土	第144B	
S3105	Ⅳ	E21	土層傾斜	内径0.34×0.34	0.63×0.80×0.10	—	—	赤生前期の大型土器を備付に埋	第145B	
S3112	Ⅳ	E21	土層傾斜	内径0.50×0.22	0.41×0.40×0.23	2.14	—	赤生前期中葉 小口壺	第145B	
S3113	Ⅳ	E23	土層傾斜	内径0.80×0.43	—	—	—	古土層の中葉 鏡3個	第145B	
S3119	Ⅳ	E25	土層傾斜	内径0.32×0.28	0.55×0.48×0.19	2.04	—	赤生前期中葉 鏡2個	第146B	

※規模横の()は土層傾斜からの推定値

第4表 掘立柱建物・柱列一覧

単位:m (±)

記号	調査区	グリッド	柱穴 (断面×高さ)	基礎			柱間寸法		発掘 方位	備考	神田	
				長さ	幅	面積	長さ	幅				
S01	I	K3-4	SP29-103-104-111-214-215-219-251	2間×2間	3.41×3.36	3.22×3.14	10.82	1.66~1.75	1.54~1.69	S46° E	跡建物跡 柱跡2基 北東へ1間幅びくす	第147層
S02	I	K-12-3	SP(120)・130-222-254-256	3間×2間	4.79×4.63	3.49×3.24	15.62	0.98~2.50	1.62~1.80	S41° E	柱跡3基	第147層
S03	I	K3	SP116-216-(217)-253	2間×1間	2.99×2.92	2.79×2.74	9.62	1.34~1.54	2.74~2.78	S20° E	柱跡1基	第148層
S04	I	I5	SP33-35-40-42-62-64-65-132-150-194	4間×1間	6.50	4.46	29.50	1.38~2.18	4.46	S32° E	壊れた基 東隣調査区外 S07-0-9を初る	第150層
S05	I	K3, L3-4	SP131-139-247, (E335)	4間×1間	6.78×6.52	3.32×3.12	21.30	1.36~1.92	3.12~3.20	S21° E	柱跡1基	第149層
S06	I	J4	SP91-92-99-100	7×1間	—	4.26	—	—	4.26	—	柱跡2基 南東隣調査区外	第148層
S07	I	I-14-5	SP72~76-78-79-192	2間×2間	3.41×3.30	3.14×3.12	10.65	1.54~1.70	1.24~1.89	S64° E	柱跡7基 S04-0と重複	第151層
S08	I	I-15	SP7-30-34-39-41-63-69-86-190-191	4間×1間	6.44×6.18	3.46×3.18	20.80	0.96~2.18	3.18~3.46	S28° E	独立掘立柱建物 S04に切られる	第150層
S09	I	I-15	SP33-36-40-42-60-84	3間×1-2間	4.4×4.32	3.22×3.18	13.78	1.38~1.66	1.56~3.16	S34° E	柱跡6基 S04に切られる	第150層
S010	I	I-19	SP13-55-263, (E2)	3間×1間	4.38×4.36	3.94×2.96	13.07	1.28~1.56	2.96~3.04	S00° E	S01と重複	第151層
S011	I	I-19	SP263, SK19-14-21	1間×1間	4.52	4.12	18.52	4.52	4.12	N17° E	S010と重複	第152層
S012	I	J9	SP44	2間×1間	2.92	2.62	7.62	3.46	2.82	S82° E		第153層
S013	I	K5	SP15-147~149	1間×1間	3.26	2.92	9.42	3.26	2.92	N10° E	礎跡2基	第152層
S014	II	O16-17	SP417~419-429	3間×1間	5.39×5.09	2.99×2.90	14.90	1.36~2.60	2.96~2.98	S21° W	柱跡2基	第153層
S015	III	L28	SP464~469	2間×1間	3.92	3.94	11.92	1.84~2.04	2.94	S84° W	S012と重複	第154層
S016	III	L28-29	SP465-468	3間×2間	4.10×4.30	3.98×2.94	13.17	0.78~2.28	1.42~1.62	S00° E	S012と重複 S0160・ 170-263を併す?	第154層
S017	III	K27-28	SP470~477	3間×1間	4.68×4.62	3.66	17.02	1.34~1.86	3.66	S64° E	礎跡1基	第155層
S018	III・IV	K26-27	SP456-061-062-064-667	3間×1間	4.95×4.74	3.34	16.77	1.56~1.70	3.34	S42° E	柱跡7基	第156層
S019	IV	J-425	SP719-722	1間×1間	3.52×3.49	2.79×2.69	9.42	3.48~3.52	2.66~2.78	S4° E	柱跡4基	第156層
S020	IV	I-126-27	SP723~728	1間×2間	2.44×2.49	2.40	5.87	2.46~2.44	1.06~1.34	S28° E	柱跡3基	第155層
S021	IV	I27	SP716~718-861	1間×1-2間	3.34×3.30	2.60	8.26	3.30~3.34	1.20~2.60	N13° E	柱跡3基	第157層
S022	IV	H-126, K27	SP699~694	1間×2間	4.50×4.29	4.30×4.12	18.62	4.29~4.50	1.99~2.20	S71° W	柱跡4基	第157層
S023	IV	K27	SP695-794 (705)	3間×2(2)間	6.44×6.32	4.38×4.32	27.57	1.74~2.86	2.14~2.24	N16° E	柱跡10基 S024と重複	第158層
S024	IV	K27	SP706~713	3間×1間	5.32×5.22	3.19×3.04	16.17	1.56~1.94	3.04~3.10	S32° E	柱跡3基 S023と重複	第159層
S025	IV	G-K26, K26	SP559~570 (603)	3間×3間	6.92×6.88	5.48×5.44	37.83	1.36~3.72	1.32~2.76	S28° E	柱跡1基	第160層
S026	IV	G26-26	SP672~577	2間×1間	3.88×3.46	2.84	9.90	1.72~1.82	2.84	N13° E		第161層
S027	IV	G26	SP595~591	3間×1間	3.99	2.99×2.89	11.47	1.88~2.08	4.90~2.90	S70° E	S028と重複	第162層
S028	IV	G26	SP592~601	4間×1間	6.32	4.60	28.55	1.36~2.06	4.60	N11° E	柱跡6基 S027-29と重複	第163層
S029	IV	G-K26	SP602~607	1間×2間	3.22×3.19	3.96×2.98	9.60	3.16~3.22	1.40~1.62	S64° W	S028と重複	第162層
S030	IV	I20, Z-421	SP555~558	1間×1間	2.99×2.99	2.84×2.64	7.82	2.88~2.99	2.64~2.94	S72° W	柱跡4基	第161層
S031	IV	I-128	SP789~790-792-841-857	2間×1間	3.46	2.70	9.27	1.78~1.78	2.70	N8° W	柱跡1基	第164層
S032	IV	G26-27	SP608~613	2間×1間	4.75	3.20	15.27	2.35~2.42	3.20	N3° E		第164層
S033	IV	I27-28	SP810~812-814-816-823	2間×1間	3.50	2.28	7.97	1.68~1.82	2.28	N0°	柱跡6基	第165層
S034	VIII	K30-31	SP1092~1095-1097-1100	3間×1間	4.16	3.90×2.96	12.42	1.36~1.42	2.96~3.00	S2° W	柱跡8基 S037と重複	第165層
S035	VIII	O30	SP1170-1240~1246	3間×1間	3.34	2.78×2.74	9.20	1.00~1.18	2.74~2.78	N3° E		第166層
S036	VIII	N-K31	SP1104-1126-1146-1219-1247-1249	2間×1間	3.64	2.18×2.12	7.77	1.72~1.92	2.12~2.16	S77° W	S010と重複	第166層
S037	VIII	K30-31	SP1159-1185-1249-1250	1間×1間	3.09×3.26	2.94×2.90	6.90	3.26~3.28	2.02~2.04	S76° W	礎跡1基 S034と重複	第167層

第4章 遺構と遺物

記号	調査区	グリッド	柱穴	柱穴 [長さ×幅]	遺構			柱間寸法		発露 方法	備考	詳細
					長さ	幅	面積	長さ	幅			
S808	Ⅲ	K-L29-30	SP1196~1199	1-2間×1間	4.10・4.00	1.70・1.74	6.77	1.46~4.00	1.74~1.76	N25' E	柱状3基	第1678図
S809	Ⅲ	K30-31	SP1194~1197・ 1226-1227・1252・ 1253	2間×2間	3.62・3.66	2.86・2.86	10.66	1.56~2.00	1.26~1.56	N16' E	柱状5基	第1680図
S840	Ⅲ	M0	SP1185-1186-1233 ~1235-1231	1間×2間	3.56・3.54	3.00・2.80	10.25	3.54~3.56	1.46~1.54	N10' E	柱状5基 確判?	第1680図
S841	Ⅱ	I16	SP202-405-406- 407-409	2間×1間	3.74・3.72	3.22・3.18	11.87	1.66~2.06	3.18~3.22	N9' E	柱状4基 SB42と重覆	第1680図
S842	Ⅱ	I15-16		2間×1間	3.88・3.82	3.00	11.42	1.88~1.98	3.00	N17' E	SB41と重覆	第1680図
S843	Ⅱ	I15	SP919-327-402-404	3間×1-2間	4.80	3.00	14.20	2.36~2.44	1.42~3.00	N17' E	柱状3基	第1705図
S844	Ⅱ	I-113-14	SP278	2間×1間	3.16	2.14・2.12	6.55	1.52~1.64	2.12~2.14	N12' E	SB45と重覆	第1705図
S845	Ⅱ	J33-14	SP277	2間×1間	5.20・5.18	2.62	13.62	1.54~1.88	3.60	N15' E	SB44と重覆	第1718図
S846	Ⅱ	J12-13	SP984	2間×1間	3.82	3.00	10.67	1.50~2.02	3.00	N50' W		第1718図
S847	Ⅲ	K-929-29	SP483-488	3間×1間	4.28・4.26	2.42	10.22	1.34~1.52	2.42	N85' E		第1728図
S848	Ⅲ	L27	SP489-490-479	2間×1間	4.64・4.62	3.26	15.18	2.16~2.48	3.26	N80' E		第1728図
S849	Ⅲ	L-927		2間×1間	2.26	1.82	4.12	1.06~1.18	1.82	N79' E		第1738図
S850	Ⅲ	L26		2間×1間	3.36	2.28	7.62	1.64~1.72	2.28	N4' W		第1728図
S881	Ⅳ	J-K27	SP797-798-800	2間×1間	3.16	2.26	7.12	1.48~1.68	2.26	N2' E		第1748図
S882	Ⅳ	I24	SP738-846	2間×1間	2.84・2.58	2.26	5.72	1.28~1.32	2.26	N25' E		第1748図
S883	Ⅳ	I23-24	SP729~731-736	2間×1間	2.82	2.22	5.55	1.20~1.32	2.22	N28' E	SB54と重覆	第1768図
S884	Ⅳ	I23-24	SP730-741	1-2間×2間	3.92・3.66	2.64・2.70	10.27	1.90~3.66	1.22~1.49	N57' E	SB53と重覆	第1768図
S885	Ⅳ	K-124		2間×1間	2.90	2.86	8.29	1.58~1.62	2.86	N20' E	南東側の柱穴検出できず	第1768図
S886	Ⅳ	K26-27	SP614~616-639- 642-645	2間×1間	3.74	2.74	10.38	1.66~2.08	2.74	N5' W	柱状?1基 礎版3基	第1768図
S887	Ⅳ	K-114	SP283	2間×1間	3.00・2.99	2.34・2.32	6.97	1.44~1.54	2.32~2.34	N22' E		第1778図
S888	Ⅳ	K27-28	SP685-687	2間×1間	2.90	1.96	4.88	1.44~1.46	1.96	N43' E	北側の柱穴検出できず	第1778図
S889	Ⅳ	A-823	SP633	3間×2間	8.86	4.86	43.68	1.26~2.14	2.42~2.44	N85' W		第1808図
S890	Ⅵ	J30	SP983-994-1009~ 1011-1082	4間×1間	3.94・3.61	2.16・2.04	7.52	0.74~1.06	2.04~2.16	N76' E	柱状4基 北辺に東柱をもつ	第1788図
S891	Ⅵ	K30	SP1617-1634-1643- 1650-1664	1間×1間	2.86	1.98	5.55	2.86	1.98	N21' E	柱状3基 西~4間分延びる?	第1798図
S892	Ⅵ	F-C26-29	SP969	2間×1間	2.98	2.24	6.67	1.42~1.56	2.24	N66' E		第1788図
S893	Ⅵ	I31	SP990-998-1007- 1038	1間×1間	1.92	1.74・1.68	3.22	1.92	1.68~1.74	N2' W		第1798図
S894	Ⅵ	G29	SP1026-1027-1036	1間×1間	2.64	2.18	5.52	2.54	2.18	N28' E	柱状3基	第1798図
S895	Ⅱ	I12	SP271-273-312-313	3間×1間	4.36	2.74	11.72	1.24~1.88	2.74	N19' W		第1808図
S896	Ⅵ	J30-31	SP975-978-992- 1087	1-2間×1間	3.46	2.08	7.22	1.58~3.46	2.08	N19' E	柱状2基 礎版1基 SB9と重覆	第1808図
S897	Ⅵ	I31	SP968-969-993- 1098	1-2間×1間	3.90・3.88	2.20・2.08	8.12	1.90~3.88	2.08~2.20	N28' E	柱状2基 礎版1基 外 北側の土器出土	第1818図
S898	Ⅵ・Ⅶ	J28-29	SP782-795-929	1間×1間	3.14	1.65	4.78	3.14	1.65	N88' W	柱状3基 SB9と重覆	第1818図
S899	Ⅱ	I-114	SP996-400	2間×1間	3.12・3.06	2.98・2.78	9.28	1.33~1.78	2.76~2.98	N19' E	柱状2基	第1828図
柱列A	Ⅱ	K16-17	SP988	3間×2間	4.22	3.90・3.28	—	1.40	1.32~1.96	N19' E	→字形 柱状1基	第1828図
柱列B	Ⅲ	K29, 029	SP489-492-495	3間	6.64	—	—	—	1.88~2.40	N63' E	柱状2基 礎立柱構物?	第1838図
柱列C	Ⅳ	G25	SP578~582	5間	5.56	—	—	0.88~1.54	—	N16' E	柱状2基 確判	第1838図
柱列D	Ⅳ	I23		3間	3.14	—	—	1.00~1.68	—	N30' E	礎立柱構物?	第1838図

第5表 周溝建物一覧

単位:m(m)

記号	調査区	グリッド	周溝・柱穴ほか	形状	周溝区画内規模		周溝規模		主任	時期	備考	押戻
					長軸	短軸	幅	深				
SH1	II	G-H12-13	SP323	楕円形	9.0	9.0	1.90	0.20	6	弥生後期	西部で周溝途切れる	第184図
SH2	II	F11, G10-11	SP343-358-356?	楕円方形	9.5 ~	—	1.50	0.20	—	弥生後期?	西部で周溝途切れる	第185図
SH3	II	G-H10	SP362	円形	5.4	—	0.90	0.20	6	—	東側で周溝途切れる SP362で離れり検出	第185図
SH4	II	F-G13		円形	5.1	—	1.87	0.20	—	~弥生中期 後葉	周溝は東側で途切れる ST2-3-18に切られる	第186図
SH5	VI	G-H20-29	SK303, SP1009?, SK130?	楕円多角形	13.0	12.0	1.95	0.19	—	弥生後期	北側で周溝途切れる SH5に発行する?	第187図
SH6	VI	G-129	SK041-343	円形	15.0 ~	—	1.30	0.20	—	弥生後期	周溝南半検出できず ST62, SK5-7を切る SK8に切られる	第187図
SH7	VI	B-128~30	SK023	円形	11.7	—	0.64	0.18	—	弥生後期	南西で周溝途切れる。SK8に 切られる。周溝内に礎土・骨 片の集中遺存あり	第188 ~194図
SH8	IV-VI	W-J 28~30	SK289-300-331-333, SP994-914-915-923- 924-928-929-931- 939-942-945-946- 1021-1022-1025- 1031-1033-1035- 1069-1078	円形	18.6	—	1.42	0.14	10 (外周) 5 (内周)	弥生後期	北・南側で周溝途切れる ほぼ全ての柱穴に礎石遺存 SP924から準柱、SP1022から 石柱出土 SK601に切られる	第188 ~194図
SH9	VI-VII	J-K30-31	SK034-335-345-383- 386, SP974-1004-1074- 1075-1159	円形	8.8 ~10.8	—	1.36	0.22	5 (外周) 4 (内周)	弥生後期	周溝西側検出できず 周溝内側 内周の柱穴に礎石遺存 SK60と重なる	第196 ~198図
SH10	VII	W-N31-32	SK066-370, SP1128- 1129-1135-1143	楕円多角形	10.5~	—	1.90	0.14	6	弥生後期	周溝東~北側検出できず 柱穴基部に礎石遺存 SK39と重なる	第197 ~198図
SH11	VII	L-M32	SK080	円形	—	—	0.82	0.06	—	弥生後期	周溝一部のみ検出	第199図
SH12	IV	F-G27	SK277?, SP1819-1836- 849-859	—	—	—	—	—	5	弥生後期	明確な周溝検出できず 柱穴基部に礎石遺存	第200図

第6表 井戸一覧

単位:m

遺構名	調査区	グリッド	構造	井戸縦規模 [内径]	掘削規模 [長×幅×深]	底面 標高	時期	備考	押戻
SE1	I	J3-6	木組(丸太割抜き)	0.45×0.37	0.85×0.79×0.63	1.69	弥生後期後葉 ~終末期	丸太分割割り抜き	第201図
SE2	IV	D21	木組(横板舟掘削)	一辺0.62~0.64	1.58×1.39×0.30	1.95	古墳終末期	井戸内外で黄砂層、井戸内外で生物炭・炭土 の検出・木製品類出土。黄・黒色の浄水施設	第201図
SE3	I	J3	木組?	一辺0.35~0.43	0.75×0.68×0.74	1.77	弥生後期後葉	井戸掘削し取り?	第202図

第7表 土坑一覧

単位:m

記号	調査区	グリップ	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 傾斜	時期 [出土土層]	所属 遺構	備考 [出土遺物など]	詳細
SK1	I	J9-6	楕円	2.22×1.66×0.79	1.62	弥生前期			
SK2	I	J5	楕円	1.34×1.23×0.42	1.98	弥生後期			
SK4	I	L6	不整形楕円	3.66×2.34×0.26	1.54			棒・板・杖	
SK5	I	J7	楕円	1.27×0.95×0.36	1.74	弥生後期			
SK8	I	J9	不整形楕円	0.62~×0.42×0.24	2.20		SB10		
SK10	I	J9	不整形楕円	0.69×0.48×0.18	2.26		SB11		
SK14	I	J9	楕円	1.02×0.59×0.14	2.16		SB11		
SK17	I	K3				弥生中期中葉		詳細位置不明	
SK18	I	H-10	楕円	1.22~×1.11~×0.14	2.17			柱	
SK20	I	J3	楕円	0.69×0.45~×0.13	2.20	弥生後期		棒	
SK21	I	J9	不整形楕円	0.82×0.66×0.24	2.16		SB11		
SK23	I	K2	不整形楕円	2.33~×1.68~×0.67	2.38	弥生後期			
SK24	I	K-13	楕円	0.88×0.63×0.32	2.09	弥生後期?			
SK26	I	L2	不整形楕円	2.64×1.90×0.22	2.17	弥生後期			
SK27	I	L-9D	楕円	0.79×0.72×0.30	1.68	弥生後期			
SK29	I	J9	不整形楕円	2.94~×1.19~×0.14	2.21	弥生中期後葉			
SK31	I	J7	不整形楕円	2.81×0.91×0.16	2.21			杖	
SK32	I	K4	楕円	1.62×0.67×0.19	2.23	弥生後期			
SK34	I	K3	楕円	1.12~×1.10~×0.99	1.85				
SK36	I	J5	不整形楕円	2.19~×0.95~×1.19	2.12			棒・杖	
SK40	II	J10	楕円	1.62×0.84×0.18	2.21		弥生中期後葉		
SK41	II	H14	楕円	1.31×0.96~×0.10	2.41			円柱	
SK43	II	H12	楕円	1.29~×0.83×0.20	2.24	弥生後期			
SK44	II	H12	不整形楕円	0.86×0.62×0.17	2.32	弥生中期後葉			
SK46	II	H12-13	楕円	1.30×0.72~×0.24	2.23	弥生中期後葉		木製品	
SK48	II	H13	楕円	0.66×0.68×0.22	2.34				
SK49	II	H13	楕円	0.92×0.65~×0.19	2.22	弥生後期			
SK51	II	H13	楕円	1.36~×1.02×0.23	2.20	弥生中期後葉			
SK52	II	H13	楕円	1.64~×1.46~×0.20	2.22	弥生中期後葉			
SK54	II	J15	不整形楕円	1.95×0.91×0.20	2.00	弥生中期?			
SK56	II	H16	楕円	1.30~×1.20×0.23	2.10	平安(10c)			
SK57	II	F19	不整形楕円	2.74~×1.61~×0.32	2.16	弥生後期			
SK60	II	H17	不整形楕円	2.90~×2.40×0.19	1.88	弥生中期後葉			
SK61	II	F14	楕円	1.46~×1.44×0.26	2.22	弥生後期			
SK62	II	G14	不整形楕円	2.39~×1.93×0.80	2.15	弥生中期後葉		棒	
SK66	II	H10-11	楕円	1.41×0.67×0.25	2.19	弥生後期			
SK67	II	F17	不整形楕円	2.11~×1.47~×0.14	2.25	弥生後期			
SK68	II	G17	不整形楕円	2.49~×1.64×0.31	2.18	弥生後期			
SK69	II	H15	不整形楕円	1.46~×1.15×0.14	2.16			瓦	
SK72	II	H17	不整形楕円	1.66×0.94×0.17	2.16	弥生後期			
SK75	II	H19	不整形楕円	2.67~×1.45×0.36	2.11	弥生後期			
SK77	II	H15	楕円	1.11~×0.90×0.14	2.09	須磨器			
SK79	II	H14, E-F15	不整形楕円	1.46~×1.31×0.22	2.12	弥生中期後葉			
SK80	II	F15	不整形楕円	2.24×0.99~×0.20	2.10	古墳前期			
SK81	II	H12	不整形楕円	1.74~×1.40×0.37	2.06	弥生後期			
SK82	II	H12	不整形楕円	1~34×0.94~×0.21	2.19	弥生後期			
SK90	II	H12	楕円	1.31~×0.82×0.35	2.16	弥生後期			
SK94	II	G16-11	不整形楕円	1.66~×1.02×0.15	2.15	弥生中期後葉			
SK96	IV	Z34	円	1.25~×1.24×0.06	2.68	弥生中・後期			
SK100	IV	V-Z25	不整形楕円	1.99~×1.71×0.88	1.62	弥生前期			
SK101	IV	Y24	不整形楕円	1.71~×1.36~×0.22	1.79	弥生前期中～後葉			
SK103	IV	S24	楕円	1.73~×0.97~×0.20	1.99	弥生中期中葉?			
SK104	IV	S24	楕円	2.03~×1.32×0.30	1.94	弥生前期			
SK106	IV	A24	楕円	2.14~×1.60×0.42	1.82	弥生中期後葉			
SK107	IV	B-C22	楕円	2.28~×1.86×0.32	1.84	古墳後期		棒状土器	第200回
SK108	IV	A20	不整形楕円	0.72~×0.67×0.03	1.99	弥生後期中葉			
SK109	IV	A20	楕円	1.32~×0.66~×0.14	1.86	弥生前期			
SK110	IV	Z20	楕円	1.12~×1.03~×0.15	1.83	弥生中期後葉			第204回
SK111	IV	C20	楕円	2.92~×2.43×0.38	1.81	須磨器			
SK114	IV	B21	楕円	1.66~×0.72×0.15	2.01	弥生前期			
SK118	IV	A21-22	楕円	2.16~×2.05×0.38	1.72		ST22全切欠	弥生前期土器	
SK121	IV	C21	楕円	1.40~×0.64×0.23	2.00	弥生前期			
SK122	IV	A-B20	楕円	2.90~×2.72~×0.49	2.19	弥生中期後葉		弥生前期土器	
SK123	IV	B21	楕円	0.93~×0.62×0.08	2.10	弥生中期後葉			
SK125	IV	A20	楕円	2.27~×1.73×0.37	1.70	弥生前期			
SK126	IV	A22	楕円	2.25~×1.59×0.36	1.74			磨製石斧	
SK127	IV	F26	楕円	1.03~×0.84×0.22	1.89	弥生後期			
SK128	IV	S23	楕円	0.80~×0.58~×0.17	1.92	古墳前期		円柱	
SK129	IV	F25	不整形楕円	2.97~×1.58~×0.10	1.99	弥生後期		棒	
SK130	IV	D26	楕円	1.74~×1.67×0.33	1.77			木片	
SK131	IV	D26	不整形楕円	2.87~×2.09×0.46	1.72	弥生前期		木片	
SK132	IV	D26	不整形楕円	2.38~×2.37~×0.38	1.71	古墳後期		磨製土器	
SK133	IV	F24	楕円	1.60~×1.05×0.21	1.92	弥生後期		弥生前期土器	

第1節 遺構

記号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×高]	高さ 標高	時期 [出土土層]	所属 遺構	備考 [出土遺物など]	詳細
SK27	IV	F24	楕円	1.28×0.51×0.17	1.99				棒状土
SK30	IV	F21	楕円	1.43×1.27×0.19	1.50	弥生後期			
SK40	IV	D20	楕円	1.32×1.17×0.37	1.62	弥生前期			磨製石斧
SK44	IV	H26	楕円	1.26×1.05×0.20	1.74	弥生後期			木片
SK45	IV	H26	楕円	1.66××0.90×0.16	1.72				木片
SK46	IV	H26	楕円	0.60××0.55××0.16	1.75				木片
SK47	IV	H26	楕円	1.33××0.99×0.17	1.67	弥生後期			木片
SK48	IV	H25	楕円	1.93×0.87×0.20	1.72				木片
SK49	IV	I25	楕円	0.94×0.51××0.69	1.86				礎
SK51	IV	H26	楕円	1.28××1.06×0.18	1.76	弥生後期			
SK52	IV	H26	楕円	0.75×0.75×0.22	1.71				木片
SK54	IV	G-H26	楕円	0.99×0.77×0.09	1.69				
SK55	IV	I25	楕円	0.53×0.52×0.17	1.69				埴物(組合式箱)
SK56	IV	J25	楕円	2.39×1.40×0.69	1.73	弥生前期			第204区
SK57	IV	J26	楕円	1.55×1.16××0.33	1.56	弥生前期			円柱
SK58	IV	H25	楕円	0.62×0.45×0.29	1.60	弥生前期			木片
SK59	IV	H-I27	楕円	1.70×1.52××0.21	1.67	弥生後期			礎
SK62	IV	J24	楕円	1.03×0.66×0.16	1.73	弥生後期			
SK64	IV	I28	楕円	1.19×0.83××0.14	1.72	弥生後期			
SK65	IV	J26	楕円	2.21×1.58×0.26	1.48	弥生後期			角柱・板・礎
SK67	IV	I26	不整形円	1.29×1.03×0.23	1.62				礎
SK68	IV	I25	楕円	1.36×0.91×0.22	1.70	弥生後期			
SK70	IV	H28	不整形円	1.31×0.86××0.13	1.73	弥生後期?			
SK75	Ⅴ	G20	不整形円	1.72×1.35××0.28	1.89	古墳後期			礎
SK79	IV	Z24	不整形円	1.00×0.83×0.17	1.93	弥生後期			
SK80	IV	K24	円	1.13×0.99×0.13	1.98	弥生前期			
SK82	IV	Z24	楕円	1.25×0.87×0.18	1.90	弥生前期			
SK83	IV	Z24	不整形円	1.16××1.06×0.11	2.00	弥生中期			弥生前期土層
SK94	IV	T24・25	楕円方	1.39××0.91××0.17	1.86				木片
SK98	Ⅴ	I25	不整形円	1.30×1.12××0.20	1.83	弥生前期			
SK99	Ⅴ	G28	楕円	1.82×1.44×0.28	1.57	弥生後期	2B?		
SK99	Ⅴ	G29	楕円	2.24×1.31×0.62	1.30		2B?	2Bの中央部に位置	
SK94	Ⅴ	E28	不整形円	4.06×1.50×0.20	1.78	弥生前期			
SK99	Ⅴ	E28	楕円	0.81×0.69×0.21	1.74	弥生後期			
SK97	IV	A29	楕円	1.84××1.79×0.27	2.27	弥生前期			第204区
SK99	Ⅴ	I31	楕円	0.93×0.85×0.16	1.54	弥生後期			
SK99	Ⅴ	J31	不整形円	0.81×0.54×0.24	1.47	弥生後期			
SK203	Ⅴ	J31	不整形円	2.18×0.71×0.16	1.62	弥生後期			
SK205	Ⅴ	J30	楕円	1.04××0.70×0.15	1.44		2B?		
SK206	Ⅴ	H29	不整形円	2.24××1.07×0.15	1.62				礎石
SK207	Ⅴ	I30	楕円	0.89×0.68×0.14	1.48	弥生後期	2B?		
SK209	Ⅴ	I30	不整形円	1.84×0.97×0.25	1.47				
SK214	Ⅴ	K31	楕円	1.24×0.70×0.13	1.48	弥生後期			
SK215	Ⅴ	O30	不整形円	1.57××0.44××0.08	1.68				礎
SK219	Ⅴ	L31	不整形円	1.16×0.58×0.05	1.34				木片
SK229	Ⅴ	Z25	楕円?	0.76××0.63×0.14	1.89	弥生中期中層			溝状

第8表 柱穴ほか一覧

単位:m

記号	調査区	グランド	平面形状	規模 [長×幅×高]	基礎 構造	柱礎 [形状]	礎石 [出土土質]	瓦葺 遺構	備考	棟名
SP1	I	17	楕円	0.25×0.25×0.16	2.16					
SP2	I	35	楕円	0.41×0.40×0.18	2.14					弥生中期後葉
SP3	I	18	楕円	0.32×0.28×0.14	2.21					
SP9	I	18	不整楕円	0.48×0.34×0.14	2.21					弥生後葉
SP10	I	15	楕円	0.39×0.29×0.17	2.23					弥生後葉
SP11	I	15	楕円	0.38×0.36×0.17	2.23					
SP12	I	35	不整楕円	1.05×0.89×0.09	2.28					弥生後葉
SP14	I	85	楕円	0.23×0.22×0.13	2.27					木片
SP15	I	86	楕円	0.59×0.44×0.26	2.12				5813	第102区
SP22	I	35	不整楕円	1.60×0.75×0.33	2.04					弥生後葉
SP23	I	12	楕円	0.47×0.40×0.15	2.23					弥生後葉
SP24	I	12	不整楕円	0.94×0.87×0.12	2.27					弥生後葉
SP25	I	12	楕円	0.48×0.46×0.18	2.13					弥生中期後葉
SP26	I	12	楕円	0.89×0.49×0.17	2.13					弥生後葉
SP27	I	83	楕円	0.31×0.27×0.13	2.02					弥生後葉
SP29	I	83	楕円	0.40×0.32×0.42	2.10					瓦葺
SP30	I	15	楕円	0.90×0.82×0.20	2.18				589	SP21が内に重畳 年輪年代728.C.(+a)
SP31	I	15		0.44×?×0.14	2.20				589	SP30を初め 建て替え?
SP32	I	15	楕円	0.96×0.90×0.42	2.06					弥生後葉
SP20	I	15	楕円	0.50×0.50×0.22	2.24					584
SP34	I	15	楕円	0.65×0.48×0.46	1.96					588
SP35	I	16	楕円	0.80×0.64×0.26	2.18					584
SP36	I	15	楕円	0.33×0.16×0.15	2.34					589?
SP37	I	15	楕円	0.22×0.21×0.14	2.36					弥生後葉
SP38	I	15-38	楕円	0.44×0.42×0.32	2.15					589
SP39	I	18	楕円	0.70×0.60×0.20	2.18					588
SP40	I	18-38	楕円	0.58×0.52×0.23	2.25					584
SP41	I	35	楕円	0.63×0.62×0.16	2.28					588
SP42	I	35	楕円	0.58×0.46×0.20	2.24					584
SP44	I	39	楕円	0.60×0.46×0.12	2.26					5812
SP47	I	39	楕円	0.47×0.43×0.16	2.23					弥生後葉
SP48	I	39	楕円	0.32×0.32×0.15	2.26					弥生中期後葉
SP53	I	19	楕円	0.50×0.44×0.18	2.24					5810
SP54	I	39	不整楕円	0.66×0.65×0.15	2.26					弥生中期後葉
SP55	I	39	楕円	0.48×0.40×0.18	2.26					5810
SP60	I	89	楕円	0.25×0.21×0.09	2.28					弥生中期後葉
SP61	I	18	楕円	0.44×0.28×0.14	2.28					588
SP62	I	18	楕円	0.83×0.28×0.33	2.25					584
SP63	I	18	楕円	0.88×0.48×??	2.25					584
SP64	I	15	楕円	0.43×0.40×0.27	2.10					弥生後葉
SP65	I	39	楕円	0.25×0.23×0.28	2.06					弥生中期後葉
SP69	I	15	楕円	0.68×0.56×0.27	2.10					弥生後葉
SP72	I	14	楕円	0.32×0.32×0.10	2.28					587
SP73	I	34	楕円	0.26×0.26×0.26	2.24					587
SP74	I	34	楕円	0.28×0.32×0.24	2.22					587
SP75	I	35	楕円	0.44×0.30×0.16	2.26					587
SP76	I	15	楕円	0.28×0.26×0.16	2.26					587
SP77	I	84	楕円	0.49×0.28×0.32	2.10					587
SP78	I	15	楕円	0.26×0.24×0.16	2.26					587
SP79	I	15	楕円	0.32×0.28×0.20	2.19					587
SP80	I	35	楕円	0.32×0.28×0.28	2.22					589
SP81	I	35	楕円	0.20×0.28×0.16	2.18					589
SP82	I	35	楕円	0.24×0.32×0.20	2.12					589
SP83	I	35	楕円	0.22×0.20×0.26	2.04					589
SP84	I	35	楕円	0.20×0.24×0.22	2.14					589
SP85	I	15	楕円	0.43×0.40×0.18	2.21					589
SP86	I	15	楕円	0.41×0.36×0.15	2.27					589
SP87	I	15	不整楕円	0.43×0.33×0.17	2.16					589
SP91	I	34	楕円	0.66×0.58×0.48	2.02					586
SP92	I	34	不整楕円	0.64×0.48×0.28	2.14					586
SP94	I	12	楕円	0.47×0.34×0.26	2.08					瓦葺
SP95	I	84	円	0.28×0.26×0.66	1.97					古墳後葉
SP96	I	34	楕円	0.32×0.27×0.26	2.26					586
SP99	I	34	不整楕円	0.66×0.80×0.20	1.92					柱礎下部に方形の貫通孔あり
SP100	I	34	不整楕円	0.74×0.72×0.24	1.78					586
SP101	V	19	楕円	0.50×0.49×0.25	2.17					587
SP103	I	83	不整楕円	0.70×0.52×0.22	2.18					581
SP104	I	83	楕円	0.25×0.20×0.18	2.24					581
SP105	I	82	楕円	0.49×0.49×0.13	2.18					弥生後葉
SP106	I	82	楕円	0.25×0.20×0.15	2.21					古墳後葉
SP109	I	65	楕円	0.23×0.26×0.37	2.08					586
SP111	I	33	楕円	0.48×0.46×0.64	1.88					586
SP112	I	33	楕円	0.26×0.32×0.64	1.85					瓦葺
SP113	I	33	楕円	0.28×0.38×0.35	2.10					586

第1節 遺構

発布	調査区	グラッド	平面形状	間隔 〔長×幅×深〕	底面 高	特殊 形状	構造	時期 〔出土土器〕	西漢 遺構	備考	理由
SP114	V	89	横円	0.85×0.84×0.27	3.14	五平					
SP115	I	83	横円	0.83×0.80×0.46	2.06	円			S81		第147層
SP116	I	83	円	0.42×0.31×0.18	2.22	円			S82		第148層
SP117	I	33	横円	0.42×0.39×0.19	2.10	五平					
SP119	I	33	横円	0.62×0.43×0.42	2.01	五平					
SP120	I	33	横円	0.32×0.30×0.34	2.06	五平					
SP123	I	13	横円	0.52×0.49×0.25	2.12						
SP126	I	83	不整円	0.69×0.66×0.46	2.06	五平					
SP127	I	83	不整横円	0.50×0.35×0.64	1.92	五平			S817		出土土器に特?戸溝あり
SP128	I	83	円	0.82×0.48×0.39	2.08	円					
SP129	I	13	横円	0.60×0.60×0.32	2.02	板状			S82		第147層
SP130	I	K-13	横円	0.60×0.48×0.22	2.22	板状			S82		第147層
SP131	I	84	横円	0.88×0.42×0.18	2.28						
SP132	I	82	横円	0.38×0.36×0.42	2.02	半円					
SP134	I	82	横円	0.64×0.62×0.32	2.09	五平					
SP136	I	84	不整円	1.14×0.46×0.22	2.18	○?	○				
SP139	I	14	横円	0.49×0.42×0.20	2.26		○				
SP139	I	14	横円	0.31×0.30×0.16	2.26	五平			S85		第149層
SP142	I	83	横円	0.48×0.42×0.69	1.83						
SP144	I	37	横円	0.46×0.42×0.16	2.22	円					
SP147	I	86	横円	0.56×0.49×0.22	2.12		○		S813		第150層
SP148	I	86	横円	0.50×0.46×0.16	2.26		○		S813		第150層
SP149	I	86	横円	0.54×0.49×0.28	2.04				S813		第150層
SP153	V	110	横円	0.28×0.36×0.10	2.11						
SP165	I	37	横丸方	0.60×0.38×0.68	2.30						
SP166	I	37	横円	0.36×0.25×0.07	2.20						
SP167	I	37	横円	0.32×0.23×0.12	2.02						
SP168	I	37	不整横円	0.62×0.48×0.09	2.22						
SP169	I	37	不整横円	0.33×0.27×0.09	2.22						
SP172	I	37	横円	0.38×0.36×0.29	2.04						
SP184	I	33	横円	0.66×0.62×0.28	2.06						
SP185	I	36	横円	0.40×0.28×0.22	2.15	五平					
SP189	I	J-K7	横円	0.35×0.29×0.11	2.21						
SP190	I	18	横円	0.72×0.69×0.26	2.24		○		S86		第150層
SP191	I	18	横円	0.70×0.42×0.20	2.20		○		S86		第150層
SP192	I	18	横円	0.38×0.32×0.14	2.26				S81-7		壁?の柱穴をS84で再利
SP193	I	35	横円	0.27×0.27×0.16	2.22						
SP194	I	15	横円	0.43×0.25×0.22	2.10				S84		第150層
SP195	I	15	横円	0.36×0.25×0.20	2.10				S84		第150層
SP215	I	83	横円	0.44×0.42×0.36	2.10				S81		柱礎
SP216	I	83	横円	0.42×0.32×0.27	2.22		○		S83		第148層
SP217	I	83	横円	0.42×0.22×0.55	1.93	五平					
SP219	I	33	横円	0.28×0.22×0.32	2.14				S84		第147層
SP223	I	83	横円	0.48×0.30×0.18	2.22				S82		第147層
SP224	I	82	不整横円	0.94×0.69×0.32	2.10	五平					
SP227	I	83	横円	0.28×0.27×0.24	2.22						
SP229	I	16	横円	0.33×0.32×0.30	2.10	五平					
SP230	I	16	不整横円	0.83×0.61×0.21	2.15						
SP231	I	16	不整横円	0.82×0.39×0.27	2.10	○?					
SP238	I	15	横円	0.45×0.27×0.15	2.16						
SP247	I	14	不整横円	0.60×0.54×0.18	2.22						
SP249	I	14	横円	0.20×0.27×0.17	2.22						
SP250	I	83	横円	0.54×0.50×0.22	2.26				S83		第148層
SP251	I	83	横円	0.32×0.28×0.22	2.24				S81		第147層
SP254	I	82	横円	0.62×0.46×0.28	2.14				S82		第147層
SP256	I	13	横円	0.30×0.26×0.16	2.25				S82		第147層
SP258	I	12	横円	0.61×0.49×0.07	2.19						
SP263	I	19	横円	0.66×0.60×0.36	2.16				S810-11		第151・152層
SP269	II	J12	横丸方	0.48×0.40×0.69	2.10						
SP270	II	J12	横丸方	0.66×0.60×0.14	2.06						
SP271	II	J12	不整横丸方	0.48×0.36×0.28	2.10				S865		第180層
SP272	II	J12	横円	0.39×0.37×0.13	2.19						
SP273	II	J12	不整横円	0.76×0.82×0.22	2.20				S865		第180層
SP274	II	J12	横円	0.29×0.27×0.63	2.12						
SP275	II	J12	横円	0.31×0.29×0.13	2.11						
SP277	II	J13	不整横円	0.44×0.42×0.18	2.04				S843		第171層
SP278	II	114	横円	0.44×0.42×0.16	2.02				S844		第170層
SP280	II	814	横円	0.33×0.30×0.10	2.27						
SP281	II	814	横円	0.24×0.23×0.10	2.20						
SP283	II	114	横円	0.44×0.44×0.12	2.20				S87		第177層
SP285	II	814	横円	0.48×0.46×0.19	2.20						
SP286	II	814	横円	0.38×0.36×0.20	2.29						
SP293	II	113	横円	0.45×0.45×0.22	2.22						
SP294	II	813	円	0.60×0.41×0.26	2.26						
SP297	II	812	横円	0.45×0.39×0.11	2.37						
SP298	II	812	横円	0.52×0.50×0.24	2.26		○				
SP298	II	812	横円	0.33×0.25×0.65	2.20						

第4章 遺構と遺物

発布	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	遺構 高	特徴 [形状]	備考	時期 [出土土器]	西暦 遺構	備考	理由
SP308	Ⅱ	B12	溝	0.74×0.66×0.11	2.38			弥生中期後葉			
SP312	Ⅱ	I12	不整溝	0.66×0.62×0.18	2.24				S865		第1803区
SP313	Ⅱ	I12	溝	0.50×0.40×0.22	2.18				S865		第1803区
SP318	Ⅱ	B13	溝	0.42×0.35×0.07	2.10		○				
SP319	Ⅱ	I16	溝	0.76×0.49×0.18	2.06				S843		第1760区
SP320	Ⅱ	I16	溝	0.34×0.30×0.14	2.14			弥生後葉	S841		第1693区
SP324	Ⅱ	F16	溝	0.36×0.35×0.16	2.29						加工痕をもつ木片
SP326	Ⅱ	F16	溝	0.24×0.22×0.16	2.34		円				
SP327	Ⅱ	I16	溝	0.42×0.36×0.10	2.12			五平	S843		第1760区
SP328	Ⅱ	I16	溝	0.46×0.45×0.10	2.12						板
SP329	Ⅱ	I16	溝	0.47×0.46×0.16	2.17			五平			木片
SP332	Ⅱ	F18	溝	0.66×0.43×0.15	2.33						
SP336	Ⅱ	F12	溝	0.37×0.33×0.08	2.21			弥生後葉			
SP327	Ⅱ	F12	溝	0.39×0.36×0.11	2.20			弥生中期後葉			
SP341	Ⅱ	B12	溝	0.64×0.57×0.28	2.18			弥生後葉			板
SP342	Ⅱ	B12	溝	0.52×0.49×0.28	2.18			弥生中期後葉			
SP345	Ⅱ	B11	不整溝	1.09×0.55×0.21	2.26			弥生後葉			
SP347	Ⅱ	B11	円	0.34×0.34×0.17	2.31			弥生後葉			
SP351	Ⅱ	G10	溝	0.41×0.39×0.11	2.28			弥生後葉			
SP355	Ⅱ	B10	溝	0.46×0.44×0.13	2.22						板
SP356	Ⅱ	G11	溝	0.34×0.30×0.18	2.24						板・棒
SP358	Ⅱ	G11	溝	0.45×0.40×0.15	2.23			弥生後葉			
SP359	Ⅱ	B12	不整溝	0.82×0.63×0.21	2.28						
SP360	Ⅱ	B11	不整溝	0.74×0.67×0.21	2.28						板・棒
SP361	Ⅱ	G10	溝	0.81×0.41×0.12	2.22						板
SP362	Ⅱ	G10	溝	0.92×0.56×0.22	2.07		○?		S82		
SP363	Ⅱ	B11	溝	1.25×0.72×0.21	2.26		円				年輪年代278 C. (+α)
SP365	Ⅱ	F12	溝	0.41×0.33×0.14	2.18		円				
SP368	Ⅱ	B11	不整溝	1.05×0.52×0.23	2.23			弥生後葉			
SP370	Ⅱ	B11	溝	0.64×0.40×0.17	2.21						板
SP371	Ⅱ	B12	溝	0.56×0.37×0.13	2.34		○				
SP372	Ⅱ	B12	溝	0.57×0.55×0.24	2.28						棒
SP375	Ⅱ	B11	溝	0.41×0.36×0.19	2.29			弥生後葉			
SP377	Ⅱ	I12	溝	0.58×0.54×0.10	2.26			五平			
SP380	Ⅱ	B12	溝	0.56×0.53×0.19	2.26						
SP381	Ⅱ	B12-13	不整溝	0.88×0.78×0.11	2.28						木片
SP386	Ⅱ	I12	溝	0.24×0.21×0.09	2.29						
SP390	Ⅱ	I12	溝	0.40×0.38×0.12	2.10			弥生中期後葉			
SP391	Ⅱ	I12	溝	0.32×0.23×0.09	2.07		○				
SP392	Ⅱ	I12	溝	0.39×0.38×0.07	2.09			弥生後葉			
SP393	Ⅱ	I12	溝	0.34×0.30×0.10	2.00		円				
SP394	Ⅱ	I13	溝	0.54×0.52×0.14	1.62				S840		第1733区
SP395	Ⅱ	I13-14	溝	0.52×0.44×0.15	2.04		○				年輪年代318 B. (+α)
SP398	Ⅱ	B16	溝	0.53×0.49×0.20	2.16		円		柱列1		第1823区
SP399	Ⅱ	I14	溝	0.21×0.30×0.14	2.11		円		S869		第1823区
SP400	Ⅱ	I14	溝	0.47×0.36×0.16	2.13		円		S869		第1823区
SP401	Ⅱ	I15	溝	0.25×0.28×0.17	2.07						木片
SP402	Ⅱ	I16	溝	0.46×0.36×0.16	2.06		五平		S843		第1760区
SP404	Ⅱ	I16	溝	0.28×0.26×0.10	2.10		五平		S843		第1760区
SP405	Ⅱ	I16	溝	0.26×0.20×0.12	2.10		五平		S843		第1693区
SP406	Ⅱ	I16	溝	0.46×0.44×0.16	2.12		五平		S841		第1693区
SP407	Ⅱ	I16	溝	0.29×0.24×0.18	2.14		五平		S841		第1693区
SP409	Ⅱ	I16	溝	0.52×0.36×0.18	2.14		円		S841		第1693区
SP411	Ⅱ	I17	溝	0.62×0.45×0.15	2.10						棒
SP412	Ⅱ	I17	不整溝	0.62×0.55×0.15	2.16						板
SP417	Ⅱ	B16	溝	0.49×0.42×0.18	2.14				S814		第1523区
SP418	Ⅱ	B16	溝	0.40×0.32×0.14	2.22			弥生後葉	S814		第1523区
SP419	Ⅱ	B17	溝	0.48×0.38×0.16	2.26		五平		S814		第1523区
SP420	Ⅱ	B13	溝	0.31×0.31×0.16	2.29			弥生中期後葉			
SP429	Ⅱ	C16	溝	0.56×0.48×0.18	2.12		緩状		S814		第1823区
SP430	Ⅱ	B12	溝	0.64×0.63×0.14	2.22						板
SP433	Ⅱ	G12	溝	0.89×0.88×0.24	2.29			弥生後葉			
SP434	Ⅱ	B12	溝	0.43×0.41×0.19	2.20						板・板
SP436	Ⅱ	B14	溝	0.60×0.43×0.20	2.21			弥生後葉			
SP437	Ⅱ	B14	溝	0.51×0.49×0.25	2.29		円				
SP438	Ⅱ	B14	溝	0.29×0.21×0.08	2.40		円				
SP439	Ⅱ	B17	溝	0.46×0.39×0.10	2.14		五平				
SP445	Ⅱ	G16	溝	0.26×0.22×0.17	2.40		○				
SP446	Ⅱ	B12	溝	0.72×0.57×0.24	2.18						
SP453	Ⅱ	L26	溝	0.38×0.32×0.19	1.57						網罟様の木製品
SP456	Ⅱ	B27	溝	0.48×0.31×0.20	1.60		円		S818		第1663区
SP459	Ⅱ	L27	溝	0.72×0.68×0.30	1.46				S848		第1723区
SP460	Ⅱ	L27	溝	0.72×0.62×0.40	1.30				S848		第1723区
SP462	Ⅱ	B28	溝	0.96×0.82×0.13	1.80		円				
SP464	Ⅱ	L28	溝	0.80×0.47×0.20	2.02			弥生後葉	S815		第1643区
SP465	Ⅱ	L28	円	0.46×0.40×0.22	1.40				S815		第1643区
SP466	Ⅱ	L28-29	溝	0.52×0.44×0.42	1.24				S815		第1643区

第1節 遺構

発布	調査区	グロット	平面形状	規模 〔長×幅×深〕	遺構 高さ	特徴 〔形状〕	構成	時期 〔出土土器〕	西隣 遺構	備考	理由
SP487	Ⅲ	L28	楕円	0.64×0.82×0.38	1.32				SB15		第1840区
SP488	Ⅲ	L28	楕円	0.74×0.68×0.30	1.42				SB15		第1840区
SP489	Ⅲ	L28	楕円	0.78×0.72×0.36	1.26				SB15		第1540区
SP470	Ⅲ	K27-28	楕円	0.64×0.58×0.36	1.24				木片		第1050区
SP471	Ⅲ	K29	楕円	0.60×0.52×0.28	1.42			弥生後葉	SB17		第1050区
SP472	Ⅲ	K29	楕円	0.71×0.60×0.12	1.62			弥生後葉	SB17	木片	第1050区
SP473	Ⅲ	K29	楕円	0.74×0.66×0.38	1.74				SB17		第1050区
SP474	Ⅲ	K29	不整楕円	0.72×0.50×0.38	1.22			弥生後葉	SB17		第1050区
SP475	Ⅲ	K29	楕円	0.46×0.40×0.16	1.48				SB17		第1050区
SP476	Ⅲ	K28	楕円	0.46×0.40×0.34	1.32		○	弥生後葉	SB17	板	第1050区
SP477	Ⅲ	K28	楕円	0.46×0.46×0.16	1.62			弥生後葉	SB17		第1050区
SP478	Ⅲ	L28	楕円	0.48×0.42×0.14	1.58	五平					
SP479	Ⅲ	L27	楕円	0.60×0.60×0.38	1.26			弥生後葉	SB48		第1720区
SP480	Ⅲ	K00	楕円	0.58×0.54×0.9		半円					
SP483	Ⅲ	K29	楕円	0.46×0.42×0.22	1.44				SB47		第1720区
SP484	Ⅲ	F-K29	楕円	0.50×0.46×0.31	1.44	五平					
SP485	Ⅲ	F-K29	楕円	0.54×0.48×0.13	1.62	五平					
SP486	Ⅲ	L28	楕円	0.48×0.42×0.14	1.52				SB16		第1640区
SP488	Ⅲ	K29	楕円	0.58×0.48×0.18	1.62				SB47	木片	第1720区
SP489	Ⅲ	K29	楕円	0.35×0.28×0.09	1.62				柱跡Ⅱ	木片	第1820区
SP490	Ⅲ	G28	楕円	0.42×0.48×0.9		五平			柱跡Ⅱ		第1820区
SP491	Ⅲ	G28	楕円	0.18×0.18×0.9		五平					第1820区
SP494	Ⅲ	G28	楕円	0.28×0.22×0.9			○			年輪年代1133B.C.(+α)	
SP495	Ⅲ	K29	楕円	0.26×0.28×0.16	2.56	五平			柱跡Ⅱ		第1820区
SP497	Ⅲ	L28	楕円	0.27×0.26×0.10	1.62					木片	
SP500	Ⅲ	K29	楕円	0.54×0.52×0.32	1.29			弥生後葉			
SP501	Ⅲ	K28	楕円	0.26×0.22×0.08	1.57				SB15?		
SP502	Ⅲ	K27	楕円	0.47×0.28×0.06	1.68			弥生後葉			
SP505	Ⅳ	A25	楕円	0.96×0.82×0.26	1.94	半円					
SP507	Ⅳ	A23	楕円	0.76×0.67×0.05	2.09			弥生前葉			
SP514	Ⅳ	Z30	楕円	0.74×0.60×0.15	1.91			弥生中期後葉			
SP521	Ⅳ	C21	楕円	0.87×0.80×0.17	2.06					弥生前葉土器	
SP522	Ⅳ	C21	楕円	0.64×0.82×0.26	2.22			弥生後葉			
SP523	Ⅳ	G25	楕円	0.68×0.81×0.13	2.21			弥生後葉			
SP525	Ⅳ	B22	楕円	0.89×0.58×0.08	2.28						
SP527	Ⅳ	C23	楕円	0.61×0.59×0.11	2.18			弥生中期後葉			
SP529	Ⅳ	C21	楕円	1.11×0.60×0.26	1.80					木片	
SP530	Ⅳ	B20	楕円	1.29×0.79×0.13	2.22			弥生中期後葉			
SP532	Ⅳ	A-K23	楕円	0.70×0.70×0.14	2.06			弥生後葉	SB29		
SP537	Ⅳ	B06	楕円	0.60×0.43×0.14	2.04					磨削石斧	
SP538	Ⅳ	B26-27	楕円	0.63×0.61×0.25	1.74						
SP541	Ⅳ	B06	楕円	0.65×0.55×0.17	2.04			弥生中期中葉			
SP543	Ⅳ	B25	楕円	0.58×0.49×0.9				弥生後葉		弥生前葉土器	
SP544	Ⅳ	G25	楕円	0.67×0.56×0.07	1.96			弥生前葉			
SP547	Ⅳ	B20	楕円	0.77×0.69×0.19	2.20			弥生後葉			
SP549	Ⅳ	A19-20	不整楕円	0.78×0.60×0.14	1.88	円					
SP554	Ⅳ	F27	楕円	0.58×0.55×0.18	1.74			弥生後葉			
SP555	Ⅳ	Z21	楕円	0.46×0.44×0.12	1.76	円			SB20		第1610区
SP556	Ⅳ	Z21	楕円	0.78×0.52×0.20	1.92	円			SB20		第1610区
SP557	Ⅳ	Z21	楕円	0.89×0.58×0.08	2.28				SB20	磨削石斧	
SP558	Ⅳ	Z29	楕円	0.28×0.24×0.20	1.74	円			SB20		第1610区
SP559	Ⅳ	B25	楕円	0.78×0.70×0.26	1.60	半円			SB25		年輪年代147B.C.(+α)
SP560	Ⅳ	B25	楕円	0.88×0.60×0.18	1.72				SB25		第1600区
SP561	Ⅳ	B25	楕円	0.74×0.61×0.24	1.62	五平			SB25		第1600区
SP562	Ⅳ	B25	楕円	1.04×0.76×0.22	1.66	五平			SB25		第1600区
SP563	Ⅳ	B25	楕円	1.00×0.70×0.30	1.70	五平			SB25		第1600区
SP564	Ⅳ	B25	楕円	0.81×0.58×0.22	1.74	五平			SB25		第1600区
SP565	Ⅳ	B26	楕円	0.81×0.62×0.24	1.70	五平			SB25		第1600区
SP566	Ⅳ	B25-26	楕円	0.64×0.22×0.18	1.72	半円		弥生後葉	SB25	年輪年代1138B.C.(+α)	第1600区
SP567	Ⅳ	B25	楕円	0.64×0.58×0.22	1.62	半円		弥生後葉	SB25	年輪年代1438B.C.(+α)	第1600区
SP568	Ⅳ	G28	楕円	0.84×0.60×0.16	1.66	五平			SB25		第1600区
SP569	Ⅳ	G-K28	楕円	0.81×0.88×0.26	1.62	五平			SB25	年輪年代2038B.C.(+α)	第1600区
SP570	Ⅳ	B28	楕円	0.72×0.44×0.18	1.64	五平			SB25	年輪年代2208B.C.(+α)	第1600区
SP571	Ⅳ	B24	楕円	0.44×0.41×0.24	1.68	五平					
SP572	Ⅳ	G25	楕円	0.89×0.52×0.28	1.28				SB29		第1610区
SP573	Ⅳ	G25	楕円	0.92×0.58×0.18	1.64			弥生後葉	SB29	棒・木片・種子	第1610区
SP574	Ⅳ	G25-26	不整楕円	0.88×0.74×0.20	1.62			弥生後葉	SB29		第1610区
SP575	Ⅳ	G25	楕円	0.48×0.26×0.24	1.54				SB29		第1610区
SP576	Ⅳ	G25	円	0.48×0.46×0.40	1.60		○		SB29		第1610区
SP577	Ⅳ	G25	楕円	0.48×0.44×0.18	1.64				SB29		第1610区
SP578	Ⅳ	G25	楕円	0.58×0.26×0.22	1.86				柱跡Ⅲ		第1820区
SP579	Ⅳ	G28	円	0.48×0.28×0.18	1.88				柱跡Ⅲ		第1820区
SP580	Ⅳ	G25	楕円	0.64×0.22×0.16	1.94				柱跡Ⅲ		第1820区
SP581	Ⅳ	G28	楕円	0.48×0.28×0.28	1.84				柱跡Ⅲ		第1820区
SP582	Ⅳ	G25	楕円	0.88×0.44×0.20	1.90				柱跡Ⅲ		第1820区
SP583	Ⅳ	B25	楕円	0.42×0.28×0.24	1.60			弥生後葉	SP584と土器結合		
SP584	Ⅳ	B25	楕円	0.42×0.28×0.24	1.60			弥生後葉	SP583と土器結合		

第4章 建構と造物

型式	調査区	グライド	平面形状	間隔 [真×幅×深]	底面 面積	形状 [形状]	構造	時期 [出土土層]	西暦 遺構	備考	理由
SP885	IV	G26	楕円	6.83×0.80×0.24	1.63		○				
SP886	IV	G26	楕円	6.82×0.82×0.18	1.68			弥生後葉	S827		第1628号
SP887	IV	G26	楕円	6.64×0.90×0.18	1.66				S827		第1628号
SP888	IV	G26	楕円	6.88×0.89×0.22	1.62			弥生後葉	S827	木片	第1628号
SP889	IV	G26	楕円	6.88×0.96×0.18	1.54				S827		第1628号
SP890	IV	G26	楕円	6.79×0.96×0.18	1.64				S827	板・杭	第1628号
SP891	IV	G26	楕円	6.54×0.89×0.22	1.70				S827		第1628号
SP892	IV	G26	楕円	6.39×0.34×0.34	1.54	五平			S828		第1628号
SP893	IV	G26	楕円	6.54×0.42×0.26	1.56	五平			S829	年輪年代1718.C.(+α)	第1628号
SP894	IV	G26	円	6.42×0.36×0.34	1.56	円			S828	板	第1628号
SP895	IV	G26	楕円	6.20×0.36×0.26	1.56				S828		第1628号
SP896	IV	G26	楕円	6.28×0.36×0.34	1.56				S828	板	第1628号
SP897	IV	G26	楕円	6.48×0.48×0.26	1.66	五平			S828		第1628号
SP898	IV	G26	不整楕円	6.90×0.66×0.32	1.66	五平			S829		第1628号
SP899	IV	G26	円	6.26×0.32×0.26	1.68				S829		第1628号
SP900	IV	G26	楕円	6.66×0.88×0.18	1.70				S829	木片	第1628号
SP901	IV	G26	楕円	6.46×0.89×0.24	1.69	五平			S829		第1628号
SP902	IV	G26	楕円	6.24×0.32×0.16	1.72				S829		第1628号
SP903	IV	G26	円	6.26×0.32×0.18	1.68				S829		第1628号
SP904	IV	G26	楕円	6.26×0.36×0.66	1.72				S829		第1628号
SP905	IV	G26	楕円	6.42×0.40×0.18	1.72				S829		第1628号
SP906	IV	G26	楕円	6.20×0.28×0.68	1.72				S829		第1628号
SP907	IV	G26	楕円	6.44×0.28×0.12	1.72				S829		第1628号
SP908	IV	G26	楕円	6.80×0.64×0.28	1.48				S832		第1648号
SP909	IV	G27	楕円	6.72×0.82×0.21	1.62				S832		第1648号
SP910	IV	G27	楕円	6.66×0.90×0.28	1.56				S832		第1648号
SP911	IV	G26	楕円	6.60×0.90×0.28	1.56				S832		第1648号
SP912	IV	G27	楕円	6.60×0.90×0.26	1.58				S832		第1648号
SP913	IV	G27	楕円	6.92×0.90×0.36	1.42				S832		第1648号
SP914	IV	R06	楕円	6.66×0.60×0.24	1.60		○		S856		第1768号
SP915	IV	R06	楕円	6.68~×0.90~×0.28	1.60		○	弥生後葉	S856		第1768号
SP916	IV	R06	楕円	6.96×0.60×0.28	1.62		○		S856		第1768号
SP917	IV	G27	楕円	6.72×0.62~×0.15	1.66	五平				木片	
SP918	IV	G27	楕円	6.88×0.72×0.23	1.61		○		S812		第2008号
SP919	IV	G27	楕円	6.87×0.60×0.27	1.62					埋藏部材(軸受け)	
SP920	IV	R25-27	楕円	6.44×0.39×0.18	1.70			弥生後葉			
SP921	IV	R26	楕円	6.44×0.39×0.18	1.70						
SP922	IV	G27	楕円	1.02×0.82×0.18	1.68		○		S812		第2008号
SP923	IV	R26	楕円	6.60×0.65×0.19	1.67	円					
SP924	IV	R26	楕円	6.60×0.58×0.22	1.62			弥生後葉	S856	木片	第1768号
SP940	IV	G27	楕円	6.67×0.62×0.23	1.57		○		S812		第2008号
SP943	IV	R27	楕円	6.60×0.64×0.28	1.58	円?			S856		第1768号
SP945	IV	R27	楕円	6.92×0.48×0.22	1.62			弥生後葉	S856		第1768号
SP955	IV	G27-28	楕円	6.82×0.80×0.28	1.62				S858		第1778号
SP956	IV	G28	楕円	6.44×0.43×0.14	1.72			弥生後葉			
SP957	IV	G28	楕円	6.60×0.96~×0.22	1.88			弥生後葉	S858		第1778号
SP958	IV	G28	楕円	1.82×0.94×0.27	1.89			弥生中期後葉			
SP959	IV	J28	不整楕円	6.68×0.64×0.21	1.89			弥生後葉		藁倉	
SP961	IV	R26	楕円	6.86×0.44×0.44	1.44	円			S818		第1868号
SP962	IV	R26	楕円	6.44×0.42×0.46	1.42	円			S818		第1868号
SP963	IV	R25-27	楕円	6.66×0.60×0.38	1.48	円			S818		第1868号
SP965	IV	R27	楕円	6.66×0.61×0.60	1.82	円			S818		第1868号
SP966	IV	R27	不整楕円	6.62×0.49×0.28	1.48	円			S818		第1868号
SP967	IV	R27	楕円	6.58×0.62×0.28	1.44	円			S818		第1868号
SP968	IV	J26	楕円	6.88×0.22~×0.18	1.62	半円	○				
SP970	IV	R28	楕円	6.74×0.68×0.14	1.75			弥生後葉		木片	
SP971	IV	R28	楕円	6.99×0.66×0.22	1.70						
SP972	IV	J28	楕円	6.44×0.34×0.12	1.72			弥生後葉			
SP973	IV	R27	楕円	6.29×0.29×0.66	1.83						
SP977	IV	J27	楕円	6.62×0.69×0.18	1.72			弥生後葉			
SP978	IV	J28	楕円	1.66~×0.22~×? ?				弥生後葉		木片	
SP981	IV	1・J28	楕円	6.74×0.66×0.21	1.87			弥生後葉			
SP986	IV	J28	不整楕円	1.13×0.91×0.16	1.68			弥生後葉			
SP987	IV	J28	楕円	6.66×0.62×0.26	1.68			弥生後葉			
SP988	IV	J28	楕円	6.41×0.29×0.24	1.68	円		弥生後葉			
SP989	IV	J26	楕円	6.92×0.49×0.25	1.90	敷板			S822		第1878号
SP990	IV	R27	楕円	6.24×0.24×0.12	1.98	五平			S822	年輪年代218.C.(+α)	第1878号
SP991	IV	R27	楕円	6.46×0.32×0.14	1.98	五平			S822	年輪年代218.C.(+α)	第1878号
SP992	IV	R26	楕円	6.92×0.40×0.30	1.44	五平			S822	年輪年代218.C.(+α)	第1878号
SP993	IV	R26	楕円	6.46×0.38×0.18	1.54				S822		第1878号
SP994	IV	R27	楕円	6.40×0.38×0.12	1.60				S822		第1878号
SP995	IV	R27	楕円	6.48×0.42×0.28	1.45	五平			S823	年輪年代33A.B.(+α)	第1868号
SP996	IV	R27	楕円	6.46×0.46×0.36	1.42	五平			S823		第1868号
SP997	IV	R27	楕円	6.66×0.42×0.28	1.42	五平			S823		第1868号
SP998	IV	R27	楕円	6.62×0.42×0.40	1.40	五平			S823		第1868号
SP999	IV	R27	楕円	6.88×0.40×0.42	1.48	五平		弥生後葉	S823		第1868号
SP990	IV	R27	楕円	6.46×0.26×0.32	1.54	五平			S823		第1868号
SP991	IV	R27	楕円	6.66×0.41×0.32	1.54	五平			S823	板	第1868号

第1節 遺構

発号	調査区	グリッド	平面形状	間隔 [長×幅×深]	底面 高	特殊 形状	構造	時期 [出土土器]	西隣 遺構	備考	理由
SP202	IV	K07	溝	0.68×0.46×0.30	1.54	五平			S823		第168段
SP203	IV	K07	溝	0.82×0.48×0.28	1.54	五平			第168段		第168段
SP204	IV	K07	不整溝	0.54×0.42×0.25	1.62	五平			S823		第168段
SP206	IV	K07	溝	0.90×0.80×0.30	1.50		弥生後葉		S824	柱礎 跡	第169段
SP207	IV	K07	溝	1.08×0.64×0.32	1.50	円			S824	年輪年代C9.C.(+α)	第169段
SP208	IV	K07	不整溝	0.84×0.76×0.29	1.60				S824		第169段
SP209	IV	K07	溝	0.67×0.64×0.26	1.58				S824		第169段
SP210	IV	K07	不整溝	0.78×0.78×0.26	1.60				S824	柱	第169段
SP211	IV	K07	溝	0.82×0.80×0.20	1.52		弥生後葉		S824		第169段
SP212	IV	K07	溝	0.74×0.70×0.22	1.58	円			S824	柱跡下層迄	第169段
SP213	IV	K07	溝	0.84×0.76×0.28	1.56	円		弥生後葉	S824	年輪年代C27.C.(+α)	第169段
SP214	IV	K07	溝	0.87×0.76×0.19	1.63		○	弥生中期後葉		木片	
SP215	IV	K07	溝	0.86×0.69×0.26	1.62						
SP219	IV	I27	溝	0.24×0.24×0.10	1.76	五平			S821		第170段
SP217	IV	I27	溝	0.24×0.28×0.16	1.72	五平			S821		第170段
SP218	IV	I27	溝	0.20×0.28×0.16	1.68	五平			S821		第170段
SP219	IV	I25	溝	0.26×0.22×0.19	1.64	五平			S819	年輪年代C27.C.(+α)	第169段
SP220	IV	I25	円	0.24×0.24×0.18	1.65	横状			S819	年輪年代C27.C.(+α)	第169段
SP221	IV	K05	溝	0.40×0.38×0.26	1.62	五平			S819		第169段
SP222	IV	J-K05	不整溝	0.56×0.54×0.24	1.64	五平			S819	年輪年代I34.C.(+α)	第169段
SP223	IV	I26	溝	0.24×0.24×0.14	1.65	五平			S820	年輪年代C9.C.(+α)	第169段
SP224	IV	I26	溝	0.42×0.28×1.8	1.64	五平			S820	年輪年代C9.C.(+α)	第169段
SP225	IV	I26	溝	0.26×0.24×0.14	1.70				S820		第169段
SP226	IV	I27	溝	0.28×0.16×0.08	1.88	五平			S820		第169段
SP227	IV	I27	縦長方	0.24×0.21×0.12	1.88				S820		第169段
SP228	IV	I26-27	溝	0.26×0.22×0.20	1.70				S820		第169段
SP229	IV	I24	溝	0.48×0.26×0.20	1.74		弥生後葉		S803		第170段
SP230	IV	I24	溝	0.54×0.40×0.18	1.76				S803-54	木片	第170段
SP231	IV	I23	溝	0.60×0.40×0.16	1.76				S803		第170段
SP235	IV	I24	溝	0.49×0.22×0.15	1.75		弥生後葉		S803		第170段
SP236	IV	I24	溝	0.58×0.48×0.12	1.78		弥生後葉		S803		第170段
SP238	IV	I24	溝	0.26×0.26×0.12	1.92				S802		第174段
SP239	IV	I24	溝	0.90×0.66×0.11	1.86		弥生後葉				
SP240	IV	I23	溝	0.76×0.67×0.12	1.79					木製品(角切9材)	
SP241	IV	I24	円	0.64×0.56×0.14	1.78				S804		第170段
SP243	IV	K08	溝	0.42×0.41×0.17	1.78					跡	
SP245	IV	K08	溝	0.25×0.24×0.08	1.79		弥生後葉				
SP253	IV	I25	溝	0.57×0.47×0.12	1.79		弥生中期後葉				
SP257	IV	I26	溝	0.62×0.43×0.19	1.68					柱状土	
SP259	IV	I26	溝	0.20×0.29×0.19	1.70	円					
SP260	IV	I26	溝	0.26×0.26×0.09	1.79		弥生後葉			跡	
SP261	IV	I26	溝	0.53×0.25×0.16	1.71		弥生後葉				
SP268	IV	I26	溝	0.51×0.49×0.07	1.75		弥生後葉			木片	
SP269	IV	I26	溝	0.31×0.24×0.22	1.63						
SP270	IV	I27	溝	0.24×0.21×0.21	1.65		弥生中期後葉				
SP272	IV	I24	溝	0.23×0.21×0.07	1.85		弥生後葉				
SP275	IV	K07	溝	0.47×0.43×0.18	1.68					木片	
SP279	IV	K07	溝	0.58×0.44×0.18	1.71		弥生後葉				
SP281	IV	K24	溝	0.26×0.20×0.16	1.78	五平					
SP282	IV	I28-29	溝	0.44×0.42×0.18	1.62	円			S808	木片	第181段
SP284	IV	I28	溝	0.28×0.26×0.18	1.68	五平					
SP286	IV	K08	溝	1.41×0.82×0.23	1.68		弥生後葉				
SP287	IV	I28	溝	0.71×0.59×0.23	1.54	円	○			特殊の範囲に板を打ち込み固定	
SP288	IV	I28	溝	0.62×0.42×0.36	1.56	五平		弥生後葉	S821		第164段
SP289	IV	I28	溝	0.60×0.47×0.22	1.62				S821	木片	第164段
SP290	IV	I28	溝	0.58×0.56×0.18	1.62				S821		第164段
SP291	IV	I28	溝	0.61×0.48×0.12	1.70		弥生後葉				
SP292	IV	I28	溝	0.64×0.62×0.22	1.62				S821		第164段
SP293	IV	K06	溝	0.47×0.43×0.22	1.67		弥生後葉				
SP295	IV	I28-29	溝	0.68×0.58×0.20	1.62	円			S808		第181段
SP296	IV	K27	溝	0.80×0.42×0.16	1.75		弥生後葉				
SP297	IV	J-K27	溝	0.60×0.80×0.16	1.74				S811		第174段
SP298	IV	J-K27	溝	0.61×0.49×0.20	1.70				S811		第174段
SP299	IV	I27	溝	0.80×0.41×0.24	1.64				S811		第174段
SP301	IV	I27	溝	0.27×0.26×0.11	1.77		弥生後葉				
SP303	IV	I27	溝	0.64×0.49×0.21	1.64	五平					
SP305	IV	I27	溝	0.55×0.55×0.20	1.62						
SP307	IV	I27	溝	0.27×0.32×0.15	1.63	五平					
SP308	IV	F27	円	0.27×0.27×0.26	1.61	五平					
SP309	IV	F27	溝	0.64×0.60×0.31	1.50						第200段
SP310	IV	I27	円	0.56×0.46×0.26	1.62	円			S833	¹⁴ C年代 82~126cm1AD(790) 133~163cm1AD(148)	第165段
SP311	IV	I27	溝	0.54×0.44×0.26	1.58	円			S833	¹⁴ C年代測定子炭素材	第165段
SP312	IV	I28	溝	0.48×0.40×0.20	1.68	五平			S833		第165段
SP313	IV	I28	溝	0.86×0.89×0.23	1.62		弥生後葉				
SP314	IV	I28	円	0.40×0.40×0.16	1.78	円			S833		第165段

第4章 遺構と遺物

発布	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×深]	遺構 高	特徴 [形状]	構造	時期 [出土土層]	西暦 遺構	備考	理由
SP816	IV	J28	円	0.28×0.28×0.30	1.62	円			S833	¹⁴ C年代 60~120caAD(900 130~140caAD(9)	第146回
SP817	IV	J28	楕円	0.21×0.20×0.09	1.09		○				
SP818	IV	J27	楕円	0.44×0.41×0.17	1.65			弥生後葉			
SP819	IV	J27	楕円	0.37×0.36×0.24	1.59	円					
SP822	IV	J28	楕円	0.54×0.49×0.25	1.62	円					
SP823	IV	J28	楕円	0.50×0.44×0.28	1.62	円			S833	¹⁴ C年代測定子遺物	第146回
SP824	IV	J28	楕円	0.92×0.79×0.22	1.65			弥生後葉			
SP825	IV	B-J28	楕円	0.95×0.94×0.07	1.64					板	
SP827	IV	J27	不整楕円	0.60×0.55×0.18	1.68	円					
SP828	IV	J28	楕円	0.45×0.38×0.17	1.70			弥生中期後葉			
SP829	IV	J28	楕円	0.48×0.34×0.07	1.84			弥生中期			
SP830	IV	J28	楕円	0.66×0.64××?		円				木片	
SP832	IV	J27-J28	楕円	0.46×0.41×0.20	1.66			弥生後葉			
SP834	IV	J28	楕円	0.40×0.36×0.25	1.64			弥生後葉		漆石?	
SP835	IV	J28	楕円	0.65×0.57×0.24	1.65			弥生中期後葉			
SP836	IV	J28	楕円	0.57×0.52×0.17	1.67			弥生後葉			
SP840	IV	J24	楕円	0.48×0.46×0.18	1.90				S832		第174回
SP844	IV	J29	楕円	0.58×0.48×0.18	1.73		五平				
SP846	IV	J29	楕円	0.42×0.39×0.13	1.61						
SP848	IV	J28	楕円	0.58×0.47×0.14	1.65			弥生後葉			
SP847	IV	J28	楕円	0.66×0.56×0.28	1.54				S831		第164回
SP850	IV	J28	楕円	0.50×0.44×0.11	1.68						
SP857	IV	J28	楕円	0.42×0.36×0.24	1.48				S831		第164回
SP859	IV	J27	楕円	0.46×0.44×0.24	1.55					板	
SP860	IV	J27	楕円	0.79×0.72×0.18	1.65			弥生中期			
SP861	IV	J27	楕円	0.28×0.24×0.18	1.70						
SP864	IV	K28	楕円	0.42×0.39×0.13	1.65	円					
SP865	IV	K28	楕円	0.54×0.54×0.10	1.60			弥生後葉		板	
SP866	IV	K28	不整楕円	0.50×0.39×0.11	1.57			弥生中期			
SP871	IV	J28	楕円	0.33×0.29×0.18	1.65		○				
SP872	IV	J28	楕円	0.56×0.46×0.24	1.61			弥生後葉			
SP879	IV	F27	楕円	0.31×0.30×0.19	1.73			弥生後葉		木片	
SP880	Ⅴ	K20	楕円	0.27×0.21×0.09	2.40		○			古銅貨	
SP885	Ⅴ	K20	楕円	0.45×0.39×0.08	1.72						
SP888	Ⅴ	F28	楕円	0.58×0.51×0.23	1.58		五平				
SP887	Ⅴ	F28	楕円	0.40×0.39×0.32	1.39		五平				
SP891	Ⅴ	B-J29	楕円	0.94×0.74×0.28	1.51			弥生後葉			
SP892	Ⅴ	K29	不整楕円	0.47×0.31×0.12	1.72			弥生後葉			
SP893	Ⅴ	K29	楕円	0.72×0.66×0.31	1.51			弥生後葉			
SP894	Ⅴ	K29	不整楕円	0.51×0.50×0.25	1.58		○		S88		第191回
SP895	Ⅴ	K29	楕円	0.92×0.74×0.08	1.69			弥生後葉			
SP897	Ⅴ	K29	楕円	0.49×0.35×0.18	1.61			弥生後葉			
SP898	Ⅴ	K28	不整楕円	0.61×0.57×0.20	1.64			弥生後葉		板	
SP900	Ⅴ	K28	楕円	0.69×0.46×0.36	1.49			弥生後葉			
SP901	Ⅴ	K28	不整楕円	0.38×0.23×0.26	1.46			弥生後葉			
SP903	Ⅴ	K28	不整楕円	1.22×0.78×0.14	1.65			弥生後葉			
SP908	Ⅴ	K28	不整楕円	0.63×0.38×0.06	1.88					漆器跡	
SP909	Ⅴ	F28	不整楕円	0.66×0.54×0.28	1.49			弥生後葉	S862		第178回
SP912	Ⅴ	K29	楕円	0.49×0.48×0.22	1.43		○		S87-87		第191回
SP913	Ⅴ	K29	楕円	0.40×0.31×0.23	1.89		○		S88		第194回
SP914	Ⅴ	K29	不整楕円	0.62×0.61×0.27	1.44		○		S88	漆器?	第191回
SP915	Ⅴ	J29	不整楕円	0.69×0.66×0.17	1.63		○		S88		第191回
SP916	Ⅴ	K28	不整楕円	0.50×0.46×0.28	1.59		○		S87?		第190回
SP918	Ⅴ	K29	楕円	0.38×0.33×0.08	1.69			弥生後葉	S87?		第187回
SP919	Ⅴ	K28	不整楕円	0.50×0.45×0.20	1.51		五平				
SP920	Ⅴ	K29	楕円	0.32×0.28×0.18	1.64		○				
SP923	Ⅴ	J29	不整楕円	0.56×0.45×0.19	1.58				S88		第189回
SP924	Ⅴ	J29	不整楕円	0.53×0.46×0.28	1.46		○		S88	漆器?	第189回
SP925	Ⅴ	K29	不整楕円	1.84×0.69×0.19	1.63			弥生後葉			
SP927	Ⅴ	K29	楕円	0.57×0.56×0.30	1.50		○		S87?		第190回
SP928	Ⅴ	J29	楕円	0.40×0.36×0.16	1.46				S88		第189回
SP929	Ⅴ	J29	楕円	0.60×0.52×0.19	1.51			弥生後葉	S88		第189回
SP930	Ⅴ	J29	楕円	0.70×0.54×0.30	1.54	円			S88?		第181回
SP931	Ⅴ	J29	不整楕円	0.78×0.70×0.24	1.45		○		S88		第191回
SP932	Ⅴ	J29	楕円	0.38×0.28×0.28	1.41		○		S88		第191回
SP933	Ⅴ	J29	楕円?	0.44×0.30×0.15	1.55				S88		第189回
SP934	Ⅴ	J29	円	0.44×0.40×0.21	1.45		○		S88		第189回
SP935	Ⅴ	J29	楕円	0.59×0.41×0.25	1.42				S88		第190回
SP936	Ⅴ	J29	楕円	0.51×0.46×0.15	1.50			弥生後葉	S88		第190回
SP937	Ⅴ	J29	楕円	0.68×0.51×0.22	1.50		○		S88		第189回
SP938	Ⅴ	J30	楕円	0.51×0.44×0.16	1.58				S88		第190回
SP939	Ⅴ	J28	楕円	0.41×0.39×0.18	1.56		○		S88		第189回
SP940	Ⅴ	J29	不整楕円	0.74×0.65×0.17	1.69	円			S87-87		第183回
SP942	Ⅴ	J29	楕円	0.82×0.80×0.18	1.84		○		S88		第183回
SP943	Ⅴ	J29	不整楕円	0.82×0.82×0.22	1.45				S87-87		第183回
SP945	Ⅴ	J29	楕円	0.69×0.63×0.40	1.31		○		S88		第189回

第1節 遺構

発号	調査区	グリッド	平面形状	規模 [長×幅×高]	基礎 構造	種類	備考	出土地	西暦 遺構	備考	理由
SP948	VI	R09	不整地溝	0.89×0.68×0.30	1.41		○		S88		第194段
SP947	VI	R09	溝	0.88×0.34×0.24	1.66	五平					
SP949	VI	I29	不整地溝	0.96×0.49×0.31	1.41		○		S87		第192段
SP949	VI	I29	溝	0.46×0.43×0.18	1.62		○		S87		第192段
SP950	VI	R01	溝	0.36×0.37×0.29	1.37	五平					
SP951	VI	I29	溝	0.60×0.62×0.37	1.40		○		S87		第194段
SP952	VI	I29	溝	0.38×0.27×0.13	1.64				S87		第194段
SP954	VI	R09	溝	0.92×0.46×0.09	1.71			弥生後葉		弥生中期土器	
SP955	VI	I30	溝	0.40×0.30×0.12	1.49			弥生後葉			
SP967	VI	I30	溝	0.60×0.41×0.16	1.52			弥生後葉			
SP968	VI	I31	不整溝丸方	0.62×0.41×0.24	1.46	五平			S87		第191段
SP969	VI	I31	溝	0.35×0.31×0.14	1.54	五平			S87		第191段
SP970	VI	I31	溝	0.41×0.41×0.07	1.55	五平					
SP971	VI	R01	不整地溝	0.66×0.36×0.26	1.34	五平					
SP972	VI	I31	溝	0.36×0.33×0.23	1.35	円					
SP974	VI	I31	溝	0.28×0.27×0.20	1.42		○				
SP975	VI	I30	溝	0.22×0.20×0.16	1.58			S89	木片		第190段
SP976	VI	I30	溝	0.46×0.42×0.20	1.48	○		S86			第189段
SP982	VI	I31	溝	0.24×0.31×0.18	1.65			S87			第181段
SP984	VI	I31	不整地溝	0.42×0.37×0.26	1.32					板	
SP985	VI	I31	不整地溝	0.44×0.25×0.20	1.39					弥生後葉	
SP995	VI	I21	不整地溝	0.50×0.49×0.17	1.42					弥生後葉	
SP998	VI	I21	溝	0.68×0.62×0.34	1.47			S83			第179段
SP999	VI	I21	溝	0.54×0.49×0.26	1.48			S83			第179段
SP991	VI	I30	溝	0.30×0.26×0.11	1.71					管玉串珠品	
SP992	VI	I31	溝	0.32×0.24×0.16	1.40	円		S86			第180段
SP993	VI	I30	溝	0.40×0.40×0.14	1.36				弥生後葉	S80	板
SP994	VI	I30	溝	0.30×0.30×0.16	1.35				弥生後葉	S80	第178段
SP996	VI	I29	溝	0.40×0.37×0.11	1.64				弥生中期後葉		
SP1000	VI	R01	溝	0.89×0.64×0.08	1.80	○					
SP1001	VI	R01	溝	0.46×0.28×0.09	1.23						
SP1002	VI	R08	溝	0.66×0.42×0.18	1.59					弥生後葉	
SP1003	VI	G08	溝	0.47×0.39×0.18	1.79					弥生後葉	
SP1004	VI	I31	溝	0.67×0.64×0.20	1.42			S89			第193段
SP1005	VI	I31	溝	0.52×0.49×0.21	1.78					弥生中期後葉	
SP1007	VI	I31	溝	0.52×0.46×0.28	1.66			S83			第179段
SP1008	VI	I21	溝	0.86×0.66×0.19	1.52		○		S82	土器は礎板の下より出土	第181段
SP1009	VI	I30	溝	0.42×0.40×0.18	1.34	円		S80			第178段
SP1010	VI	I30	溝	0.64×0.60×0.16	1.40	円		S80			第178段
SP1011	VI	I30	溝	0.42×0.38×0.28	1.36	円		S80			第178段
SP1012	VI	I29	溝	0.46×0.42×0.32	1.41	五平					
SP1017	VI	R00	溝	0.42×0.40×0.12	1.62	五平			S81		第179段
SP1019	VI	R00	溝	0.71×0.69×0.13	1.62					弥生後葉	
SP1020	VI	I29	溝	0.47×0.46×0.22	1.51			S87-87			第192段
SP1021	VI	I29	溝	0.46×0.31×0.19	1.52	○		S88	礎板に柱の柱礎		第192段
SP1022	VI	I29	不整地溝	0.60×0.38×0.19	1.52	○		弥生後葉	S88	年輪年代D18.C.(+α)	石包丁
SP1023	VI	I30	不整地溝	0.64×0.49×0.23	1.55			S88	弥生中期後葉土器		第190段
SP1025	VI	G09	不整地溝	0.56×0.40×0.24	1.40	溝		S84			第179段
SP1027	VI	G09	溝	0.46×0.46×0.28	1.42	溝		S84			第179段
SP1028	VI	R09	溝丸方	0.54×0.49×0.47	1.26	五平					
SP1039	VI	G11	溝	0.22×0.22×0.20	1.46	円					
SP1050	VI	I30	不整地溝	0.68×0.62×0.26	1.42					弥生後葉	
SP1051	VI	R09	溝	0.37×0.34×0.25	1.56		○		S88	木片	第192段
SP1052	VI	R09	不整地溝	0.36×0.36×0.05	1.75			S88			第192段
SP1053	VI	R09	溝	0.67×0.46×0.37	1.44			S88	板・木片		第192段
SP1054	VI	R00	溝	0.46×0.42×0.9	1.42			S81	坑		第179段
SP1055	VI	I30	不整地溝	0.62×0.60×0.19	1.38		○		S88		第190段
SP1056	VI	G09	溝	0.82×0.48×0.40	1.34	五平		S84			第179段
SP1058	VI	I31	溝	0.70×0.60×0.36	1.44				弥生後葉	S83	第179段
SP1040	VI	I30	溝	0.26×0.21×0.14	1.60					緑色磁鉄質? 原石	
SP1041	VI	I29	溝	0.26×0.32×0.06	1.62	円					
SP1042	VI	R09	溝	0.32×0.26×0.09	1.72			S88	木片		第192段
SP1043	VI	R00	不整地溝	0.60×0.49×0.24	1.42				S81	炭化物	第179段
SP1044	VI	I30	溝	0.59×0.22×0.44	1.62				弥生後葉	S88	第190段
SP1045	VI	I30	溝	0.28×0.32×0.25	1.42	円					
SP1046	VI	I29	不整地溝	0.58×0.62×0.19	1.54	円			弥生後葉		第193段
SP1047	VI	I29	不整地溝	0.71×0.36×0.13	1.58		○		S87-9		第193段
SP1049	VI	I30	溝	0.49×0.28×0.10	1.56				弥生後葉		
SP1050	VI	R00	溝	0.46×0.42×0.18	1.58	五平					第179段
SP1053	VI	I30	溝	0.68×0.41×0.27	1.31				弥生後葉		
SP1054	VI	I30	溝	0.49×0.46×0.33	1.43						礎石
SP1058	VI	R09	溝	0.23×0.25×0.19	1.66	円					
SP1059	VI	R09	溝	0.60×0.42×0.20	1.62		○				
SP1060	VI	I29	溝	0.62×0.24×0.16	1.60		○		S88		第191段
SP1061	VI	R00	溝	0.39×0.38×0.41	1.25	円					
SP1062	VI	G08	溝	0.42×0.42×0.36	1.62	五平					年輪年代D18.B.(+α)
SP1063	VI	G08	溝	0.61×0.46×0.14	1.61						坑

第4章 遺構と遺物

発布	調査区	グロット	平面形状	規模 [長×幅]	底面 傾斜	特徴 [形状]	備考	時期 [出土土器]	西暦 遺構	備考	理由
SP1068	VI	K28	楕円	0.26×0.31×0.21	1.66	五平					
SP1067	VI	J30	不整楕円	0.60×0.34×0.16	1.64		○		S866		第180段
SP1068	VI	J31	不整楕円	0.70×0.60×0.27	1.43			弥生後期			
SP1071	VI	G29	楕円	0.62×0.29×0.13	1.66				S85 Y	木片	第187段
SP1072	VI	K29	楕円	0.36×0.36×0.24	1.17					竹筒	
SP1074	VI	J30	楕円	0.29×0.27×0.21	1.40		○		S89		第196段
SP1075	VI	J30	楕円	0.32×0.31×0.25	1.36		○		S89		第196段
SP1076	VI	J29	楕円	0.42×0.42×0.15	1.61	■					
SP1077	VI	J30	楕円	0.24×0.21×0.10	1.46	五平					
SP1081	VI	L28	不整楕円	0.68×0.63×0.18	1.64		○		S88 Y		第193段
SP1078	VI	L29	楕円	0.72×0.67×0.32	1.43				S88		第191段
SP1082	VI	J30	楕円	0.40×0.34×0.26	1.40	五平			S860		第179段
SP1083	VI	L29	不整楕円	0.49×0.31×0.48	1.37		○				第193段
SP1086	VI	K31	楕円	0.35×0.32×0.04	1.61	円					
SP1090	VI	G31	楕円	0.32×0.26×?	?	五平					
SP1090	VI	G29	楕円	0.23×0.32×0.20	1.47				S85 Y		第187段
SP1091	VI	G29	楕円	0.27×0.24×0.15	1.49					板	
SP1092	VII	K31	楕円	0.44×0.40×0.28	1.56	五平			S834		第165段
SP1093	VII	K31	楕円	0.40×0.39×0.40	1.50	五平			S834		第165段
SP1094	VII	K31	楕円	0.46×0.34×0.40	1.52	五平			S834		第165段
SP1095	VII	K30	楕円	0.44×0.39×0.40	1.39	五平			S834	年輪年代1078 C. (+ a)	第165段
SP1096	VII	K30	不整楕円	0.47×0.33×0.66	1.60						
SP1097	VII	K31	楕円	0.67×0.42×0.36	1.72	五平			S834		第165段
SP1098	VII	K31	楕円	0.42×0.30×0.38	1.72	五平			S834		第165段
SP1099	VII	K31	楕円	0.48×0.32×0.40	1.78	五平			S834		第165段
SP1100	VII	K30	楕円	0.60×0.40×0.42	1.29	五平			S834		第165段
SP1104	VII	K31	楕円	0.68×0.48×0.20	1.50				S838		第165段
SP1105	VII	K31	楕円	0.66×0.49×0.16	1.49		○				
SP1106	VII	K32	不整楕円	0.63×0.40×0.39	1.26		○				
SP1106	VII	K32	不整楕円	0.65×0.26×0.68	1.66				S810 Y	遺構好?	
SP1109	VII	L32	不整楕円	0.48×0.38×0.12	1.46					礎石	
SP1112	VII	L29	楕円	0.66×0.47×0.11	1.65			弥生後期		杖・棒	
SP1113	VII	L29	不整楕円	0.37×0.16×0.12	1.65						
SP1114	VII	K29	楕円	0.23×0.23×0.08	1.60	五平					
SP1115	VII	K31	楕円	0.23×0.23×0.08	1.60	五平					
SP1117	VII	L29	不整楕円	0.77×0.68×0.22	1.49						
SP1118	VII	L31	不整楕円	0.47×0.38×0.06	1.38						
SP1119	VII	L32	不整楕円	0.42×0.36×0.17	1.29						礎石具
SP1120	VII	L31	楕円	0.41×0.26×0.04	1.66						
SP1121	VII	L30	楕円	0.39×0.39×0.29	1.50						
SP1122	VII	K31	楕円	0.28×0.24×0.12	1.54		○		S810 Y		第199段
SP1123	VII	K31	楕円	0.60×0.34×0.09	1.54		○				
SP1124	VII	K31	楕円	0.63×0.44×0.13	1.60		○		S810 Y		第198段
SP1125	VII	K31	楕円	0.41×0.40×0.32	1.30	五平			S810	柱礎石群(遺構)を伴った	第198段
SP1126	VII	K31	楕円	0.46×0.46×0.26	1.62				S836		第166段
SP1127	VII	K31	楕円	0.47×0.29×0.09	1.64		○		S810 Y		第198段
SP1128	VII	K31	楕円	0.66×0.36×0.18	1.49		○		S810 Y		第198段
SP1129	VII	K32	楕円	0.37×0.30×0.12	1.43		○		S810		第198段
SP1130	VII	K32	楕円	0.49×0.34×0.08	1.60		○		S810 Y	SP1131に併せられ	第198段
SP1131	VII	K32	楕円?	0.18×0.17×0.18	1.48	円			S810 Y	柱礎石群(遺構)を伴った	SP1130を併せ
SP1133	VII	G31	楕円	0.33×0.32×0.06	1.68						
SP1135	VII	K31	楕円	0.44×0.41×0.14	1.40				S830		第197段
SP1143	VII	L32	楕円	0.82×0.26×0.18	1.51	円			S810 Y		第197段
SP1145	VII	L29	不整楕円	0.47×0.34×0.09	1.62		○			礎石が灰白土層上	
SP1146	VII	K31	不整楕円	0.64×0.62×0.18	1.54			弥生後期	S836		第166段
SP1150	VII	K30	楕円	0.46×0.39×0.18	1.44	丸柱状			S840		第169段
SP1156	VII	K30	楕円	0.16×0.14×0.05	1.62	丸柱状			S840		第169段
SP1157	VII	K29	楕円	0.76×0.47×0.36	1.31	円				木片	
SP1158	VII	K29	楕円	0.29×0.28×0.33	1.29	円		弥生後期			
SP1159	VII	K31	楕円	0.46×0.46×0.12	1.68		○		S837	年輪年代558 C. (+ a)	第167段
SP1162	VII	K31	楕円	0.43×0.20×0.03	1.60					杖	
SP1166	VII	K30	楕円	0.40×0.40×0.12	1.64				S837		第167段
SP1166	VII	K30	楕円	0.63×0.18×0.06	1.60	五平					
SP1170	VII	G31	楕円	0.49×0.39×0.18	1.68				S838		第166段
SP1172	VII	J31	楕円	0.22×0.21×0.10	1.49					礎	
SP1173	VII	J32	不整楕円	0.42×0.25×0.03	1.32					礎	
SP1181	VII	L30	楕円	0.41×0.18×0.2?	?			弥生後期			
SP1182	VII	L30	楕円	0.68×0.42×0.06	1.51		○				
SP1186	VII	K30	楕円	0.26×0.22×0.32	1.52	五平			S838		第167段
SP1187	VII	K30	円	0.28×0.28×0.42	1.18	五平			S838		第167段
SP1188	VII	L30	楕円	0.28×0.24×0.46	1.12	五平			S838		第167段
SP1189	VII	L29	楕円	0.46×0.38×0.49	1.18	五平			S838		第167段
SP1190	VII	K29	楕円	0.32×0.20×0.20	1.42	五平			S838		第167段
SP1192	VII	L29	楕円	0.20×0.28×0.09	1.70					杖	
SP1193	VII	L29	不整楕円	0.25×0.20×0.04	1.64					礎	
SP1194	VII	K30	楕円	0.36×0.32×0.42	1.00	五平			S839		第168段
SP1195	VII	K31	楕円	0.32×0.24×0.30	1.14	五平			S839		第168段

第1節 遺構

記号	調査区	グロット	平面形状	規模 [長×幅×深]	底面 傾斜	柱礎 [形状]	礎石	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	理由
SP1196	Ⅲ	K31	楕円	0.22×0.24×0.20	1.10	五平			S839		第160段
SP1197	Ⅲ	K30	楕円	0.28×0.24×0.20	1.24	円			S839		第160段
SP1198	Ⅲ	J21	不整楕円	0.32×0.20×0.20	1.20	五平					
SP1199	Ⅲ	J21	楕円	0.20×0.20×0.22	1.27		○		309		第195段
SP1200	Ⅲ	J20	不整楕円	0.24×0.29×0.23	1.22	五平					
SP1201	Ⅲ	K09	楕円	0.29×0.27×0.15	1.12	五平					
SP1202	Ⅲ	K02	楕円	0.29×0.23×0.25	1.28	五平					
SP1203	Ⅲ	K02	楕円	0.24×0.31×0.09	1.43					壁	
SP1204	Ⅲ	L20	楕円	0.47×0.41~×0.16	1.40	五平					
SP1205	Ⅲ	K02	不整楕円	0.48×0.44×0.17	1.44	五平					
SP1215	Ⅲ	L20	楕円	0.03×0.46×0.18	1.38			弥生前期			
SP1216	Ⅲ	K31	楕円	0.31×0.28~×0.27	1.71			弥生前期			
SP1219	Ⅲ	K01	楕円	0.48×0.40×0.22	1.60			弥生前期	S836		第160段
SP1220	Ⅲ	J22	楕円	0.26×0.23×0.12	1.22	円					
SP1223	Ⅲ	K00	楕円	0.24×0.22×0.12	1.12	丸瓶状			S840		第160段
SP1224	Ⅲ	K00	円	0.20×0.20×0.18	1.10	丸瓶状			S840		第160段
SP1225	Ⅲ	K00	楕円	0.20×0.14×0.22	1.12	丸瓶状			S840		第160段
SP1226	Ⅲ	K31	楕円	0.24×0.22×0.28	1.06	円			S839		第160段
SP1227	Ⅲ	K31	楕円	0.24×0.20×0.28	1.18			弥生前期	S839		第160段
SP1230	Ⅲ	K29	楕円	0.26×0.26×0.19	1.26	円	○				
SP1240	Ⅲ	G09	円	0.24×0.22×0.24	1.12				S833		第160段
SP1241	Ⅲ	G20	楕円	0.24×0.18×0.16	1.18				S833		第160段
SP1242	Ⅲ	G20	楕円	0.26×0.20×0.08	1.12				S833		第160段
SP1243	Ⅲ	G20	楕円	0.44×0.34×0.18	1.54				S833		第160段
SP1244	Ⅲ	G20	楕円	0.60×0.42×0.20	1.54				S833		第160段
SP1245	Ⅲ	G20	楕円	0.40×0.30×0.20	1.12				S833		第160段
SP1246	Ⅲ	G20	楕円	0.48×0.40×0.26	1.54				S833		第160段
SP1247	Ⅲ	K-921	楕円	0.64~×0.45×0.20	1.54				S833		第160段
SP1248	Ⅲ	K01	不整楕円	0.48~×0.44~×0.20	1.60				S836		第160段
SP1249	Ⅲ	K01	楕円	0.48×0.38×0.18	1.60				S837		第167段
SP1250	Ⅲ	K01	楕円	0.46×0.42×0.20	1.36				S837		第167段
SP1251	Ⅲ	K00	楕円	0.28×0.22×0.16	1.16				S840		第160段
SP1252	Ⅲ	K30	楕円	0.22×0.20×0.22	1.30				S839		第160段
SP1253	Ⅲ	K31	楕円	0.26×0.28×0.28	1.22				S839		第160段
SP1254	Ⅲ	K31	楕円	0.28~×0.24×0.12	1.28				S839		第160段

第9表 溝・旧河道一覽

単位:m

記号	調査区	グリッド	幅長 [長さ×幅×長]	直径 深さ	時期 [出土土器]	所属 遺構	備考	埋没
S91	I	H-1-J9	19.20××1.17×0.10	2.20	弥生中期後葉	木片		
S92	I・II	H9-19-10-12, J11	43.50××0.82×0.22	2.07	弥生後葉			
S93	I	I9	3.90××0.52××0.17	2.33	弥生後葉	弥生中期後葉土器		
S94	I	H-1-J8	26.00××1.49×0.12	2.11	弥生後葉			
S97	I	H-1-J-8B	40.80××3.74×0.32	1.78	弥生中・後葉	板瓦		第203段
S98	I	I8	8.80××0.89××0.20	2.14	弥生後葉	107埋土を掘り込む溝	切目石層	
S910	I	H-18-J-87-E	35.20××2.59××0.37	1.91	弥生後葉	板瓦		第203段
S911	I	I-J-87-L7-B-9	50.20××2.95×0.28	1.71	弥生中・後葉	陶器部材(台輪)		第205段
S913	I	I7-J-86-F7	22.40××1.75×0.24	2.00	弥生後葉			
S914	I	I7-E	2.25×1.50××0.27	1.81	弥生後葉	木片		
S916	I	I-J9	3.19××0.69×0.07	2.29	弥生中期後葉			
S917	I	J7	4.45×1.31××0.30	2.04	弥生後葉	板瓦直上点 跡		
S918	I	I8			弥生後葉	106埋土を掘り込む溝	埋没不明	
S919	I	I-J-85	25.00××4.44×0.25	1.95	弥生後葉	板瓦 西野石積		第205段
S921	I	J9-4, 84-5-6, L5-6	34.20××3.30×0.37	1.92	弥生後葉	板瓦 池		第205段
S922	I	J9-4, 84-5, L5	29.20××1.98×3.23	1.94	弥生後葉	角棒(板?)		
S923	I	H8	2.48×0.80×0.12	2.30	弥生後葉			
S924	I	J-87	8.83×0.81×0.23	2.18	弥生後葉			
S928	I	I8	8.71×0.78×0.21	2.16	弥生中・後葉			
S921	I	H-17	16.00××1.89×0.20	1.83	弥生後葉			
S932	I	I-14	8.87××1.87××0.15	2.20	弥生後葉			
S933	I	I4, J4-5	4.77×1.84×0.13	2.19	弥生後葉			
S934	I	I-14	3.40××0.84××0.13	2.26	弥生中期後葉			
S937	I	I9	2.58××0.59×0.15	2.14	弥生後葉	弥生前庭土器		
S939	I	I9	1.43××1.06×0.15	2.28	弥生後葉			
S939	I	J6	7.76×2.29×0.41	1.88	弥生中期後葉	S933上へ通 棒状物		
S941	I	K2	5.79×1.87×0.24	2.13	弥生後葉	棒・木片		
S943	I	K2	2.87×1.82×0.16	2.20	古墳前期			第207段
S946	I	K3	2.81×0.74×0.10	2.30	弥生後葉			
S949	I	K3	4.90×0.39×0.09	2.28	弥生後葉			
S961	I	I9	2.21××0.88×0.12	2.29	弥生後葉			
S962	I	I9	3.00××0.87××0.06	2.28	弥生中期後葉			
S964	I	I9	8.72××1.15×0.19	2.22	弥生中期後葉			
S966	I	I9-9	3.45××0.45××0.10	2.28	弥生中期後葉			
S967	I	I9-9	3.86×0.68×0.10	2.28	弥生中期?			
S972	II	I11-12	1.72×0.48×0.11	2.41	弥生後葉			
S975	II・IV・VII	G9-23-24	165.40××1.96×0.33	1.95	弥生後葉後葉	内縁(板?)		
S976	II	I11	2.66××0.99××0.12	2.31	弥生中期後葉			
S977	II	H15	1.62×0.77×0.19	2.25	弥生中期後葉			
S978	II	H16	3.53××0.79×0.16	2.22	弥生中期後葉			
S979	II	E13-14, F14-15-16	68.80××1.82×0.25	2.05	弥生後葉			
S980	II	F-18	1.69××1.17×0.20	2.31	弥生中期後葉			
S986	II	F16	2.83×0.82×0.28	2.18	弥生前葉?	板		
S988	II	F17	2.63×0.88×0.22	2.17	弥生中期後葉			
S989	II	F18	2.39××1.29×0.23	2.26	弥生前葉			第207段
S990	II	F17	3.54××0.87×0.12	2.24	弥生前葉			
S9194	II	F13	3.17××0.89×0.14	2.22	弥生中期後葉	S94		第194段
S9196	II	F-617	6.13××2.25×0.32	2.07	弥生後葉			
S9198	II	G12	4.22×1.79×0.23	2.28	弥生後葉			
S9199	II	G12	1.65×0.81××0.21	2.30	弥生中期後葉			
S9119	II	G11	8.90××1.87××0.19	2.28	弥生後葉			
S9111	II	H11-12	4.97××1.22×0.23	2.24	弥生後葉			
S9112	II	G11, H11-12	8.18××2.37×0.23	2.22	弥生後葉	木片		
S9113	II	G11-12	3.92×1.09××0.13	2.26	弥生後葉	角棒		
S9114	II	G11	3.87×0.72×0.16	2.26	弥生後葉			
S9116	II	G-811	3.99×0.94×0.22	2.20	弥生中期後葉			
S9117	II	G-811	1.38××0.62×0.19	2.27	弥生後葉			
S9118	II	H10	7.00×1.17×0.45	2.03	弥生後葉			
S9124	II	F17-19	3.52×2.49××0.30	2.12	弥生後葉			
S9125	II	F13-14	3.14××0.87×0.21	2.17	弥生前葉			第207段
S9131	II	E17	1.09××0.95×0.11	1.96	弥生後葉			
S9132	II	F18	3.14×1.06×0.18	2.27	弥生後葉			
S9133	II	F-118	3.02××0.86×0.13	2.26	弥生後葉			
S9127	II	F14-H, G15	6.91××2.14×0.54	2.00	弥生中期後葉	S72?	S72が直上へ掘る	第233段
S9146	II	H-118	8.89××2.87××0.21	1.90	弥生前葉			
S9152	II	F18	2.06××0.87×0.22	2.12	弥生前葉	棒・板・板状小水製造物多数		
S9164	III・IV	K27, J27-28	8.65××0.84×0.25	1.62	弥生前葉	S979を掘る 溝		
S9165	III	K25	2.34×0.52×0.17	1.65	弥生前葉			
S9166	III・IV	L-825	22.20××0.78×0.15	1.61	弥生前葉	L字状 棒状小水製造物多数		
S9167	III	K28	5.90×4.89×0.13	1.54	弥生後葉			
S9168	III	L19	6.71×0.66×0.30	1.43	弥生後葉			
S9169	III	K27	2.21×0.86×0.14	1.68	弥生後葉			
S9178	III	O29	4.27×0.58×0.07	1.59	弥生後葉			
S9179	III	O29-30	11.32×1.00×0.12	1.60	弥生後葉	有孔尖棒		

第1節 遺構

記号	調査区	グラウンド	周長 [長×幅×間]	表面 標高	時期 [出土品]	所属 遺構	備考	押出
S0180	Ⅲ	P25-26-27-28-29, Q24-25	47.40××1.26×0.17	1.65	弥生後葉		S0184(被合)	
S0181	Ⅲ	Q26-27-28, P26	19.80××2.58×0.14	1.91	弥生後葉			
S0183	Ⅲ	Q27-28, P25-26-27	22.80××0.94×0.11	1.91	弥生後葉			
S0186	Ⅲ	0-F29	10.56××1.83×0.11	1.48	弥生後葉			溝200区
S0188	Ⅲ	Q25	70.00××33.0×0.70	1.91	弥生後葉			
S0181	Ⅳ	R24	3.45××0.82×0.23	1.81	弥生中期後葉			溝101区
S0204	Ⅳ	Z24	2.55××0.85××0.19	1.89	弥生中期後葉			
S0205	Ⅳ	Y25, Z19-22-23-24-25,	60.50××1.61×0.35	1.71	弥生中期後葉			弥生前期土器
S0209	Ⅳ	Y24	2.44××4.12××0.16	1.84	弥生中期後葉			
S0219	Ⅳ	Y23, Z22-23	19.60××3.12×0.43	1.62	弥生中期後葉			
S0213	Ⅳ	A-24	16.00××1.60×0.44	1.75	弥生中期後葉			溝191区
S0220	Ⅳ	A26-28, B26	3.24××2.65×0.38	1.74	弥生前期			
S0220	Ⅳ	A23	1.05××0.56××0.20	1.96	弥生中期後葉			
S0225	Ⅳ	B23	6.40××2.17××0.49	1.77	弥生終末葉			弥生前・後期土器 木片
S0226	Ⅳ	B24	1.93××1.29×0.36	1.97	弥生前葉			
S0229	Ⅳ	B-C24-25	7.82××1.12×0.31	1.85				
S0230	Ⅳ	B23	1.08××0.76×0.22	2.01	弥生前期?			
S0234	Ⅳ	B-C22	6.22××1.38×0.20	1.90	弥生後葉		S122?	S122が割れ→結構? 石刀 弥生前期土器
S0242	Ⅳ	A20	2.98××2.16××0.44	2.44	弥生前期			
S0282	Ⅳ	F-24	7.56××1.58×0.41	1.81	弥生中期中→後葉			
S0286	Ⅳ	B-C26, B26-27	67.60××13.10××0.62	1.31	弥生後葉			木片・礎・漆器類(中世?) 田河遺
S0081	Ⅳ	G24-25	11.58××2.28×0.27	1.80	弥生後葉			
S0062	Ⅳ	E21, F21	9×1.48××0.22	2.06	弥生中期			S150(東溝)・S152(東溝)に切られる
S0066	Ⅳ	G21	8.30××0.79××0.21	1.91	弥生後葉?			漆器
S0088	Ⅳ	D20	1.48××0.88×0.10	2.09	弥生前期			
S0071	Ⅳ	H26	2.20×0.80×0.14	1.70	弥生後葉			礎?・木片
S0273	Ⅳ	H24-25	3.67×0.27×0.17	1.80	弥生中・後葉			
S0274	Ⅳ	H25	1.72×0.26×0.07	1.85	弥生後葉			
S0275	Ⅳ	I24-25	2.26×0.68×0.20	1.86	弥生後葉			切り合う2葉の溝
S0276	Ⅳ	H25	1.67×0.25×0.07	1.80	弥生後葉			
S0280	Ⅳ	J29	1.63××0.85××0.15	1.66				詳細位置不明 儀仗用木製品
S0281	Ⅳ	K27	1.73×0.77×0.14	1.71	弥生後葉			S0301と被合 礎・礎・木片多数
S0282	Ⅳ	L23	1.89×0.88×0.21	1.71	弥生後葉			礎状木片多数
S0283	Ⅳ	H-128	4.83×1.11×0.22	1.68	弥生後葉			溝
S0284	Ⅳ	I26-27	1.54×0.50×0.14	1.73	弥生後葉			
S0286	Ⅳ	I28	4.75××1.77×0.59	1.67	弥生後葉			礎・礎
S0288	Ⅳ	J28	7.76××1.28×0.31	1.54	弥生後葉			溝
S0289	Ⅳ	J29-29	22.40××2.81×0.22	1.65	弥生後葉		S88	S0333と一連 木片
S0291	Ⅳ	I23-24	3.93×0.54×0.14	1.78	弥生後葉			礎
S0292	Ⅳ	H24	3.48×0.88×0.15	1.76	弥生後葉			木片
S0295	Ⅳ	I26	1.43×0.55×0.19	1.71	弥生後葉			
S0296	Ⅳ	K27	2.83××0.43×0.18	1.67	弥生後葉			
S0300	Ⅳ	H-128	33.60××1.35×0.28	1.58	弥生後葉		S88	S0331と一連
S0301	Ⅳ	J29	1.63××0.88××0.15	1.66	弥生後葉			
S0308	Ⅴ	D-E20			弥生前期			詳細位置不明
S0311	Ⅴ	F20			弥生前期			詳細位置不明
S0317	Ⅴ	A26	3.38×0.62×0.12	1.76	弥生後葉			
S0321	Ⅴ	Z25	10.80××1.98×0.52	1.55	弥生中期後葉		S129?	S129(東溝)? 弥生前期土器
S0323	Ⅴ	H-128-29-30	32.50××0.88×0.17	1.57	弥生後葉			礎・木片 骨片・土土ブロック
S0324	Ⅴ	G-B-131	32.7××4.94××0.79	0.91	弥生後葉			田河遺 遺厚板 木製品多数 巴形銅器
S0326	Ⅴ	G-K29	12.47×1.31×0.20	1.64	弥生後葉		S86	S0343(東溝)
S0328	Ⅴ	F29-29	13.10××5.80×0.52	1.11	弥生中期			弥生前期土器
S0327	Ⅴ	F-G29	6.20××1.58××0.44	2.20	弥生中期			弥生前期土器
S0331	Ⅴ	H28-29-30	33.60××1.35×0.28	1.58	弥生後葉		S88	S0300と一連 礎・木片 切目石類
S0332	Ⅴ	G28-29, H28	26.60××0.76×0.15	1.68	弥生後葉		S85	礎・角柱状木片
S0333	Ⅴ	I26, J29-30	22.40××2.81×0.22	1.65	弥生後葉		S0299と一連	銅物・漆
S0335	Ⅴ	J30-31	8.91×1.57×0.22	1.56	弥生後葉		S89	礎状具・漆器木製品 陶器
S0336	Ⅴ	H29-31	14.60××3.47××0.57	1.95	弥生後葉			S0344(東溝)に切られる 石溝
S0341	Ⅴ	H-129	4.31××0.71×0.11	1.63	弥生後葉		S86	木片
S0343	Ⅴ	G-K29	12.47×1.31×0.20	1.64	弥生後葉		S86	S0325(東溝) 木片
S0348	Ⅴ	H29	4.65×0.27××0.12	1.68	弥生後葉			木片
S0349	Ⅴ	H29	1.44××0.87×0.09	1.62	弥生後葉			
S0381	Ⅴ	J29	1.19××0.84×0.16	1.70	弥生後葉			
S0382	Ⅴ	J29	1.87×1.06××0.11	1.74	弥生後葉			
S0383	Ⅴ・Ⅵ	K30	3.50×0.68×0.14	1.60	弥生後葉		S89	S0388と一連 礎
S0386	Ⅴ	L29-30-31, M29	28.60××2.19×0.17	1.40	弥生前期			礎・礎・木片多数
S0388	Ⅴ	L-K29	2.35××0.50×0.04	1.61	弥生後葉			
S0390	Ⅴ	L32	2.61×0.77××0.06	1.46	弥生後葉		S811	礎・礎・木片多数(炭化材多数)
S0393	Ⅴ	L29	8.73××0.48×0.19	1.63	弥生後葉		S816?	S0064と一連 礎・礎・木片多数
S0394	Ⅴ	L29	1.31××0.39×0.06	1.75	弥生後葉		S816?	S0063と一連 礎
S0398	Ⅴ	K30	3.30×0.68×0.14	1.60	弥生後葉		S89	S0025と一連 漆器木製品
S0379	Ⅴ	M21	12.40××0.79×0.15	1.51	弥生後葉		S810	礎・礎・木片多数
S0371	Ⅴ	L30	6.80××1.86×0.14	1.23	弥生後葉			礎・木片
S0373	Ⅴ	L31	2.32××0.28×0.04	1.31	弥生後葉			

第2節 遺物

1 土器・土製品

今回図示できた府中石田遺跡出土土器の点数は、遺構から出土した弥生時代中期から後期を中心とする926点である。以下の記述に用いる土器の製作技術とその痕跡に関わる用語は佐原真⁽¹⁾により体系化されたものを用い、「ヘラケズリ」などの片仮名表記とした。また、器種の名称は「壺形土器」などをすべて「壺」と略して記している。

以下では紙幅の都合によりすべての個体の説明はせず、特筆すべき事項の記載に努めた。各個体の詳細は実測図・写真図版および観察表を参照されたい。

最後に以下で用いる時期区分について説明する。当遺跡が所在する福井県嶺南地域では、発掘調査事例の蓄積がないこともあり、汎用性のある土器編年は未だ存在しない。よって弥生時代を前期・中期・後期・終末期に大別し、それぞれを必要に応じて前葉・中葉・後葉と細別して表記する。各時期の周辺地域の土器編年との併行関係は第8章第1節において記述したい⁽²⁾。

1) 方形周溝墓 (ST) 出土土器 (第214~234図)

第214図はST1出土の壺である。口縁部が長く、端部を垂下させて文様帯を作り出す中型壺が複数みられる(1・3・4)。1は頸部のほぼ中央に円形のヘラ記号が、4は底部に焼成後穿孔が認められる。5は大型壺の体部で生駒西麓産胎土の搬入品である。以上は弥生後期中葉のものである。第215図1~3は二重口縁壺。2は頸部の突帯とその下に備描直線文、ヘラ列点文がみられる近江・東海系のもの。弥生終末期。11は口縁部が内湾し、内外面ヘラミガキ調整の精製の壺で東海地方に系譜をもつもの。弥生終末期~古墳前期前葉と考えられる。

壺では同図12~15の擬凹線文を施文する有段口縁壺、16~18の無文有段口縁壺、19の受口状口縁壺、20~24の単純口縁のものなど多様性がある。

高杯は口縁部が直線的に短く外方へ開き端部が肥厚するもの(第216図1・2)で脚部は直線的な柱状部をもち、裾部の下端は折り返すものがつく。9~13には混入品と考えられる弥生中期後葉の土器を挙げた。

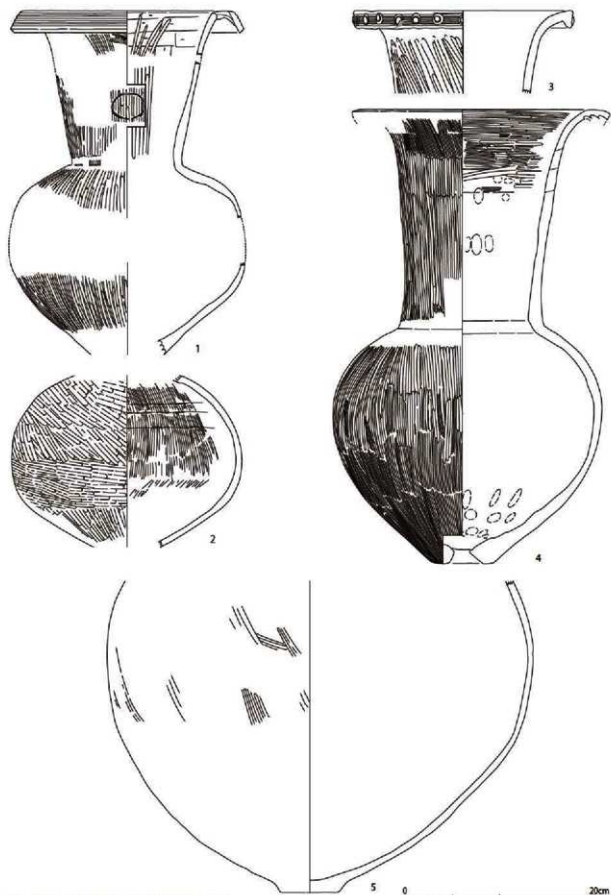
以上のST1出土資料は、弥生後期中葉の土器が壺から壺、高杯に至る各種の土器が存在しており、周溝墓の時期を示すと考えられる。弥生中期のものが混入品であるとしても、少量存在する終末期から古墳前期前葉の土器は二重口縁壺などの供献土器とも考えられる器種である。追葬や二次利用などの可能性も考える必要があるだろう。

また、第215図24の第9埋葬施設出土の壺は内面の肩部までヘラケズリがみられる。弥生中期後葉と考えられ、周溝出土の土器群とは時期があわない。

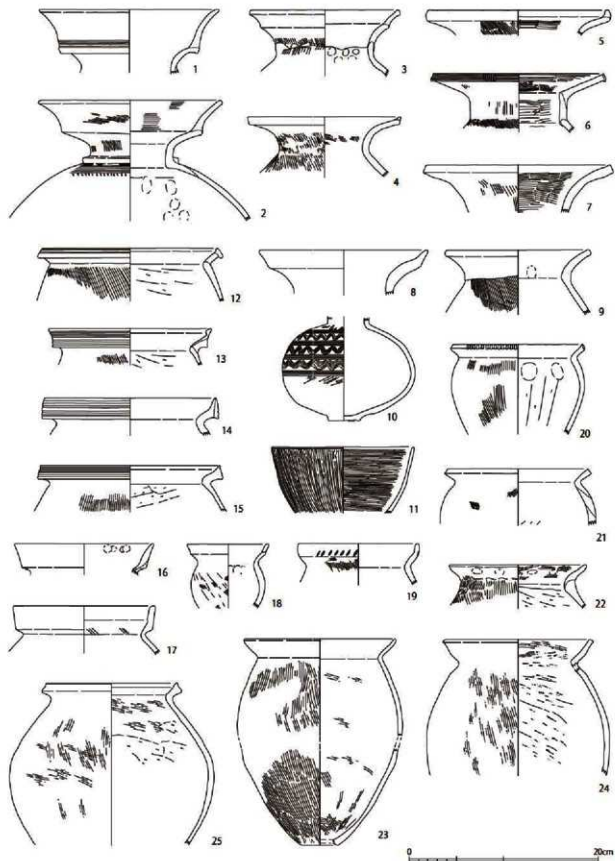
ST2出土土器は4点と少なく、いずれも破片であり良好な資料とはいえない(第216図14~17)。14はいわゆる近江系の受口状口縁をもつ細頸壺で備描列点文・波状文を施文する。時期はいずれも中期後葉である。

ST3からは多くの土器が出土している(第217~220図12)。広口壺は体部に備描直線文と波状文を交互に施文するものが目立つ(第217図)。4は頸部に凹線文が施文されている。8は焼成後穿孔がみられる底部である。縦長の体部をもつ大型壺も複数出土している(第218図1・4)。4は頸部にハケメ原体による圧痕文突帯を回らせ、底部に焼成後穿孔がみられる。11は台付の鉢で紐孔がある。

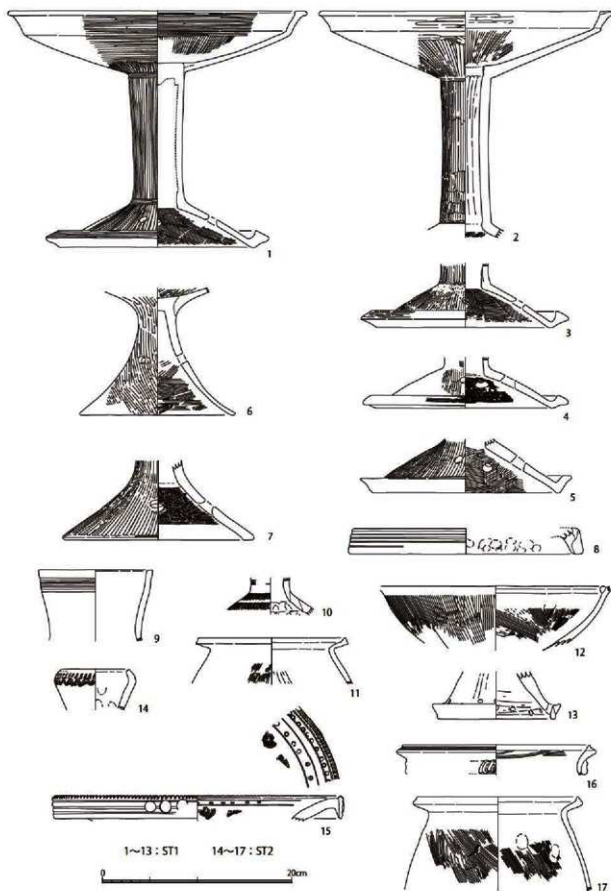
ST3の壺では口縁端部に刻目を入れるものが主体となっている(第219図1~4)。それ以外の壺で



第214图 ST 1出土土器实测图(縮尺1/4)



第215図 ST1出土土器実測図(縮尺1/4)



第216図 ST1・2出土土器実測図(縮尺1/4)